滿洲日報
四月十五日發行
發行人 鈴木昇　編輯人 橋本喜代治　印刷人 本村武盛
大連市東公園町三十一番地 發行所 株式會社滿洲日報社

北支那政權獨立化す
わが國の北支投資をも許す
南昌會議黃氏に一任

【上海特電十四日發】確聞するに南昌會議の結果は黃郛氏を首班とする北支政務整理委員會の權限を擴大し、北支に於ける一切の問題は自由裁決を許されることゝなつた

一、北支某問題に關しては一切の解決權を黃郛氏に一任
一、北支の平和繁榮のため行はれる交渉の權限を許す
一、北支の財政經濟の改善、支那に利益ある一切の外國の投資（日本を意味す）を許す

等の原則を決定し北支に於ける日支問題は全く中央より獨立し北支は實質的に獨立政權となつたといはれる（寫眞は黃郛氏）

黃郛氏赴寧

【上海十四日發國通】支那側報道に依れば南昌會議に於ける對日問題に關しては汪精衛、黃郛兩氏間に意見の一致を見黃氏は十四日飛行機又は雨天なれば軍艦中山號で南京に赴くと

代表を廣東に派遣
西南派の諒解を求む
北支問題で國府發表

【上海特電十四日發】南昌會議に出席した汪精衛氏は十四日午後南京に歸任、直に關係要人を招集して北支問題解決案の協議を遂げた、しかして西南派の反對に對し諒解を求めるため南京代表を廣東へ派遣するに決した、國民政府當局は北支問題に關し次の如く發表した

問題は重大である、日本側の要求たる通車、通郵問題を要求通り解決することは滿洲國承認の前提となるのみならず直接交渉をなせば自繩自縛となり國際的同情を失ふことゝなるを以て日本の要求は斷じて拒絶する、日本が北支を侵略せんとせば不可能でないが國際關係と自國の國內關係を考慮してゐるから容易に實行するには至らない

と強硬な而も樂觀的意見を述べてゐる、尙有吉公使は十五日南京着汪精衛、黃郛氏等と會見をなすが同公使今回の入京は歸朝に先立ち儀禮的挨拶のためと發表した

通車問題を先づ解決

【南京十五日發國通】南昌會議を終へた汪精衛氏は十四日午後三時軍艦中山號にて着京、直に中央黨部に林森、居正、羅文幹等在京要人三十餘名を招集して南昌會議の結果を報告した後討議を行つた尙中國側要人の談によると南昌會議の結果當局は華北の現狀を維持する爲め軍、政、黨三方面の合作を促す筈で通車、通郵問題は後者が萬國郵便條約に關係があるので中國側は兩者を全然別個のものとして先づ通車問題の解決に當る方針を決定したと

デマは全く虛構
わが外務當局は語る

【東京十四日發國通】最近北支那方面には日本が秘密裡に種々の軍事調査を爲しつゝありとの虛構の宣傳が盛んとなり支那紙は勿論上海英字新聞其他歐米の新聞にも之等が眞しやかに掲載され日本に對し疑惑を持つてゐる向もあるので我外務省としては事情取調中だつたが右は全く虛構なる事判明した卽ち北支方面の宣傳は

一、百名の日本將校が參謀本部派遣北平公使館附武官と協議を重ね札哈爾、山西、河北、陝西方面に赴いた
一、河北省の馬蘭峪に飛行場を構築約十臺の軍用飛行機を駐屯せしめてゐる
一、若し支那が滿洲國との間の郵便鐵道につき○○の要求を拒絶せんか重大なる事件發生すべし

等々の內容であるが右につき我外務當局は十四日左の如き當局談を爲した

參謀本部から多數の將校が渡支し察哈爾其他の方面に赴いた事實はないが天津、北平方面に日本人の赴く者が眼につくのは春先きの恒例の事だ、特に熱河に在る關東軍が交代したので交代兵が北平見物に出かけたものがあるので大袈裟に傳へられたものであらう、馬蘭峪の飛行場問題云々は全然嘘だ、察するに目下南昌會議で北支政權の大立物黃郛が終始南京政府と打合せしてゐるから北支の日本の脅威を大袈裟に報道して各人各派の要人が自己の立場を有利にする爲め利用してゐる事に基因してゐるのではあるまいか、何れにせよ斯かる捏造の排日的デマを爲すにおいては帝國政府としても何等か有効適切な處置を執る必要が起るだらう

紅白兩班走行圖（走破總距離五、二〇粁四）

滿洲鐵道早廻競走　十五日午前五時現在

	所要時間	走破粁數	實走粁數
紅班	四日一四時	一六五〇・六	二五四一・五
白班	四日六時五分	一七六四・三	二四七八・五

北安　訥河　チチハル　ハルビン　懷遠鎭　白城子　拉法　新京　吉林　圖們　鄭家屯　西安　朝陽川　四平街　南山屯　雄基　沙河　清津　奉天　撫順　北票　溝幇子　大虎山　朝陽　營口　大石橋　錦　金州　山海關　旅順　大連　城子疃　安東　白班　紅班

敎育行政權の移管
簡單に行かぬ
けふ歸連して　滿鐵八田副總裁談

中央政府と重要打合せの爲め滯京中の滿鐵八田副總裁は杉本秘書役野村秘書係を從へ十五日午前七時二十分入港のうすりい丸にて歸連したが船中往訪の記者團にサロンにおいて滿鐵現下の重要問題に就いて左の如く語る

附屬地行政就中敎育行政の移管問題が新聞紙上に今にも具體化するが如く傳へられてあるが決してそんな事はなくたゞ拓務大臣から座談的に滿洲における敎育行政を統一したいといふ話を聞いたに過ぎぬ、それに對して滿鐵側としては何等意思表示はしてゐない、從つて拓務省と滿鐵、關東廳と意見一致したとかそんな事は絕對にない、然し現在地方部長が上京してゐるが附屬地外における邦人子弟敎育に就いて色々新方針を決定しなければならないので外務省、拓務省と折衝を續けてゐるのだ、これは九年度においては附屬地外の敎育は費用を國庫から支出して滿鐵がやることに暫定してゐるが、十年度からはどうなるか決つてゐないので、この點に寧ろ我々は關心を有してゐる、滿洲の敎育行政の問題にしろ廣汎な地方行政と關聯して考慮すべきでそれには中央政府の根本國策方針が決定しなければ出來ることでなく我々には未だ根本方針なるものを示されてゐないから何とも足を踏み出す筈がないではないか

◇

滿鐵の改組問題に就いては鐵道關係の統一が頻りに唱へられてゐるが、さう簡單に實現は難しい、未だ我々において具體的に考へてない、問題が事務的のみの見地から出來ないことで色々政治的關係を考へなければならないので種々の困難があるのだそれと同じことで經濟調査會と計畫部との統制も新情勢に應じて考へてゐる、商事會社設立の問題も愼重研究中だ、尤も滿鐵の改組に就いては中央關係省でも充分研究を行つてゐる

◇

佐原觀光局長の滿鐵入社は目下話を進めてゐるから實現をみるかと思ふが鐵道省池田建設局長の滿鐵入社の噂は事實無根だ、なほ鐵道關係で滿鐵で人を要求してゐることは事實だ、數日中に新京に行く

林陸相の心境に變化
十五日中に留否決せん

【東京十五日發國通】閑院參謀總長宮殿下から有難き御言葉を拜した林陸相は軍の內外の情勢がその留任を切望しており特に眞崎敎育總監が極力勸說に努めた結果心境にも相當變化を來たした模樣で陸軍部內ではこの陸軍總意の慰留に對して林陸相は必ず飜意するであらうとの期待をかけ樂觀する向が多い、何れにするも陸相の留否は十五日を以て最後の決定を見るものとして注目されてゐる

總長宮殿下より御懇篤な御言葉
陸相恐懼、宮邸を退出

【東京十五日發國通】林陸相辭任問題勃發のため御豫定を變更遊ばされ急に御歸京の閑院參謀總長宮殿下には十四日午後九時二十分東京驛御着御歸邸遊ばされるや直に林陸相を御召しになつたので林陸相は九時四十五分閑院宮邸に伺候殿下に拜謁仰付けられ陸相より實弟白上佑吉氏の有罪の判決ありたるため綱紀問題に關して兎角の噂ある際であるから自分は身を以てその範を示したいとの信念より辭表を提出した旨並に參謀總長宮殿下御旅行中に辭表を提出御旅行の御豫定を御變更遊ばされるに至つたに就ての御詫びを言上した處これに對し殿下より御懇篤なる御言葉を賜つたので陸相は恐懼して十時二十五分宮邸を退出した

總長宮殿下　眞崎總監御召

【東京十五日發國通】眞崎總監は御召しにより十五日午前九時二十分閑院宮邸に伺候、總長宮殿下に拜謁仰付けられ殿下より林陸相辭表提出に關し御下問あらせられたので總監は謹みて陸相が辭表を提出するに至つた事情並びにこれに對する自己の意見及び軍部の意向について詳細言上、更に今朝陸相と會見現在に於ける心境を聽取せる顛末を申上げたるに殿下には眞崎總監に對し同總監より改めて陸相に飜意を懇請するやうにとの御沙汰を拜したので眞崎總監は恩命を畏み九時四十五分宮邸を退下し再び陸相官邸に林陸相を訪問、宮殿下の有難き御意向を報告し更に陸相の飜意を要望し種々重要打合せを遂げた

林陸相留任

【東京十五日發國通至急報】三長官會議で林陸相は遂に飜意留任に決定した

若山部隊長
けふ新京に到着
滿洲皇帝侍從御差遣

【新京特電十五日發】滿洲警備の重大任務を負うた若山中將は十四日午後四時半新京發京圖線列車で加藤大佐、州波、田中兩少佐、佐々木少佐、古野一等主計正、鷲津一等軍醫正、西城一等軍醫正、黑木法務官等司令部幕僚を從へ到着した

驛頭には特に滿洲國皇帝陛下の聖旨を奉じて侍從武官石丸中將が出迎へた外、參謀長西尾中將以下關東軍各課長及び司令部員各學校生徒、在鄉軍人等、婦人團を初め日滿要人驛頭を埋める歡迎ぶりで西尾關東軍參謀長との握手及び石丸中將の聖旨傳達は迎へられた者も迎へた者も感激そのものであつた

驛貴賓室において出迎へ者の挨拶を受けた若山本部隊長一行は關東軍差廻しの自動車にて新京神社に參拜、着任を奉告後滿洲屋旅館に長途の疲れを休めたが十五日菱刈關東軍司令官に着任報告を行ひ任地へ赴任の命令を受け一時半より在京記者團と會見の筈である

ばいかる丸

十六日午前七時大連港外着豫定

人事

▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）十五日午前七時二十分入港のうすりい丸にて歸連
▲杉本重道氏（同秘書役）同上
▲岩井勘六少將（大連在鄉軍人聯合分會長）同上
▲深澤暹氏（元吉林總領事）同上來連
▲加藤德雄氏（日淸製粉重役）同
▲中谷保氏（安全自動社社長）同
▲坪井俊三氏（山下汽船重役）同
▲蓑田靜夫氏（日本漁網重役）同
▲戸田德夫氏（滿洲醫大敎授）同上歸滿
▲竹森愷男氏（鐵路總局貨物係主任）同上歸滿
▲遠藤讓氏（伊藤忠大連支店長）同上
▲田中知平氏（泰東洋行主）同上
▲關安成氏（關東廳警部）十五日午前七時二十分着列車にて歸連
▲河本大作氏（滿鐵理事）同上
▲大內成美氏（大連市會議長）同

蛇角

林陸相心境の變化？事實とすれば望ましき變化である。

◇

序に齋藤首相も心境の變化を來し總退却の準備をするがよい。

◇

この希望、矛盾のやうであるが決して矛盾でない。

◇

憤然不參加かと思つたら欣然參加とは驚いた。

◇

日本體協態あない、滿洲國體協を見殺しにする氣か。

◇

白班打通線へ、紅班瀋海線へ、競走ます〳〵興味を加ふ。

◇

春光の下、競ひ立つ韋駄天四十名、勇まし〳〵。

滿洲鉄道早廻り競走
紅班大英斷を以て豫定ダイヤを變更
紅白東西兩線に分る

【奉天特電十五日發】こゝ一兩日を大體豫定通りに走つて來た早廻り競走も十五日紅班の豫定變更による瀋海線入りによつて斷然再び前途の豫測を許さないことゝなつた、而して紅班の豫定變更に關しては紅班相談役はこれを否定してゐるが、こゝ一兩日來の會議と河村選手に發せられたる十日夜の緊急指令電報から察して疑ひのない事實でその紅班の思ひきつた變更事情は左の理由にありと觀測されてゐる卽ち

スタート以來の紅白兩班の足どりによつて兩班相談役とも出發日に至つて大體對手方のコースの豫測が可能だつた、その結果大體十七日頃以後は兩班ともに北滿、北鮮を同コースによつて走るの決戰が明かになつて來た然るに紅班としては白班がなほ撫順線を殘すとは言へ同コースを走るときは出發當時に發された約八時間のハンデキャップを取返すことは殆ど不可能でありこゝに大英斷をもつて急遽新コースの變更に至つたものと見るべく

殊に紅班としては白班とは全然逆な滿鐵線を中心として東から西に廻り滿洲早廻り線の新コース開拓を目指すもので同コースとしてのベストが紅班によつて樹立されるところに本競走の興味を一層增大してをり紅班相談役又本コースによつて必勝を期してゐる

紅白兩班の選手無言のすれ違ひ
十六日中紅班吉林着か

【奉天特電十五日發】紅班河村選手は十四日午後北票線を終つて錦州へ乘り換へ午後十一時五分發の四二列車に乘車平山（惣）紅班相談役も同乘して道を奉天に向つてこの車中作戰本部からの機密電報を受取つて緊張裡に十五日午前五時五十五分奉天驛に着いたが連日の苦鬪を物語る髯面を現しこゝに出迎への平山（眞）相談役からコースの再指令を受け同平山相談役と何事か耳打ちを行ひその儘同列車で走破を續け秋山支社長等の見送り裡に豫定より十分遲延し奉吉線に入つた

紅軍が十五六の兩日中に奉吉線を走破することはこれで明かである、待たれるコースはそれ以後だ、なほこの日大虎山一つ手前の驛唐家窩舖（午前二時三十分頃）驛では奉山線を引返した紅班河村選手と大虎山に向ふ白班吉田選手がすれ違つてゐるが深夜の而も對手方のコースを知らぬ兩選手は遂に言葉を交はすことが出來なかつた

瀋海線に驀進す
河村紅班選手
十五日奉天にて

三日三夜の徹宵走行の後十四日一日かゝつて朝陽北票間突破を完走した記者は錦縣午後十一時五分發の四十二列車に乘り奉天に引返す途中疲れのため報信紙に向つてペンをとつたまゝ睡魔に襲はれ遂に通信することを得ず十五日朝六時に奉天驛に到着した記者は今此處に落付く暇なく直に瀋海線に向つて行動を開始することゝなつた

白班大鄭線へ

【奉天特電十五日發】紅班のコース變更により鐵道早廻り競走はます〳〵佳境に入つて來たが十四日午後四時五十分安東を出發した白班吉田選手は元氣に旅を續け午後十時五十分奉天驛頭に秋山本社支社長等の出迎へを受け僅か五十分間の聯絡期間に鐵田驛長の通過サインを受け直に同五十五分奉天發山海關行の四一列車に乘換へ白班は再度の奉山入を行つた、而して同選手は午前二時四十分大虎山着安らかな眠りを取る暇もなく同驛から大鄭線に乘換へ大虎山午前七時發の二九八列車で通遼に向つて一路北へのコースをとつた

生活の虹（102）
菊池寛作　志村立美畫

新しき同情（四）

誰であらう。綾子は、手紙の上に、そつとハンド・バッグをのせて、かくすと、キッと身構へて、足音の主を待つた。

そこの襖を、ガラリと開けたのは、意外にも、村山であつた。

彼は、息を彈ませて、しかし、其處に綾子を見出した瞬間、うれしさうな表情にたちまちかはつて、づか〳〵と部屋の中には入つて來ると、

「あゝ、安心、安心。あのまゝ何處かへ貴女が行つてしまはれたかと、僕は、隨分心配しましたよ」と、云ひながら、綾子の眞正面に、そのまゝペタリとすわつてしまつた。

綾子は、村山の興奮が、何故だか解らなかつた。彼女は、默つて村山をみつめてゐた。

村山は、坐つてしまふと、かへつて落着きを失ひ、顏を赤くして、次の言葉は、なかなか云ひ出せない風情であつた。

「御心配をおかけして、すみません。でも、私別に何も致しませんから、どうぞ、おひきとり下さいませな。また、典子さんでも、歸つて見えると、どんなことをおつしやるか解りません」

と、綾子は、村山の自分に抱いてゐる好意を、或程度に感じながら、さう云つた。

凛然と、此の家のものは、みな敵にまはしたやうな、綾子の言葉に、村山は、ちよつと鼻白みながら、しかし、そこは外交官と云ふ職業柄の、ものやはらかさで、

「よく分りましたが、その前に、一言だけ申上げ度いのです。邦男君も、あのまゝ、貴女がもとの家へ歸られたのではないかと、案じてゐられました。僕も、貴女は邦男君の妹として、此處に居て欲しい一人なのです。典子さんの無禮には、僕も、憤慨し、女性としてのあの人の性格を輕蔑したくなりました」

村山は、赤くなつた。そして、表情が、固くなり、語調がせまつた。彼は、綾子にしつかりと眼を置き、また、せはしなく視線をそらせたりしながら、

「御存知かも知れませんが、大體僕は、典子さんの許婚のやうになつてゐます。僕は……邦男君が、貴女を愛人のやうに、好いてゐられた時分僕も、貴女を一度見た丈で隨分貴女と云ふ、淸純な美しい方を、推奬したものです。それが計らずも、貴女が、邦男君の妹だと知つた時、僕は、心からうれしかつたのです。貴女が急に僕に近い人のやうに思はれて來たからです。僕は、典子さんに、最後の承諾をまだ與へてないことが、喜ばしくなつたのです」

ゆるがせにできない空氣になつてしまつた。綾子は驚きながら、一時、己れの興奮を忘れて、村山の言葉に耳をかたむけるのだつた。

「しかし、それだからと云つて、このやうなことは、人に告ぐべきことではないし、僕は、典子さんのあゝした態度を見るにつけ、これからの荊棘にみちた貴女の生活を思ひ、及ばずながら、貴女を護る騎士になつて、貴女の幸福のために、陰ながら、お力添へをしようと、思つてゐるのです」

彼の言は眞實であつた。彼の唇のあたりは時々、心をあからさまに云ふ恥かしさに震へ、額は、眞赤に血の色を浮べてゐた。

（明治卅八年十二月十五日第三種郵便物認可）

四月十五日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

北支那政權獨立化す
わが國の北支投資をも許す
南昌會議黄氏に一任

【上海特電十四日發】確聞するに南昌會議の結果は黄郛氏を首班とする北支政務整理委員會の權限を擴大し、北支に於ける一切の問題は自由裁決を許されることゝなつた

一、北支某問題に關しては一切の解決權を黄郛氏に一任
一、北支の平和繁榮のため行はれる交渉の權限を許す
一、支那に利益ある一切の外國の投資（日本を意味す）を許す
一、北支の財政經濟の改善、等の原則を決定し北支に於ける日支問題は全く中央より獨立し北支は實質的に獨立政權となつたといはれる（寫眞は黄郛氏）

人三十餘名を招集して南昌會議の結果を報告した後討議を行つた尚中國側要人の談によると南昌會議の結果當局は華北の現狀を維持する爲め軍、政、黨三方面の合作を促す等で通車、通郵問題は後者が萬國郵便條約に關係があるので中國側は兩者を全然別個のものとして先づ通車問題の解決に當る方針を決定したと

爲した
參謀本部から多數の將校が渡支し察哈爾其他の方面に赴いた事實はないが天津、北平方面に日本人の赴く者が眼につくのは春先きの恒例の事だ、特に熱河に在る關東軍が交代したので交代兵が北平見物に出かけたものがあるので大袈裟に傳へられたものであらう、馬蘭峪の飛行場問題云々は全然嘘だ、察するに目下南昌會議で北支政權の大立物黄郛が終始南京政府と打合せし

黄郛氏赴寧

【上海十四日發國通】支那側報道に依れば南昌會議に於ける對日問題に關しては汪精衞、黄郛兩氏間に意見の一致を見黄氏は十四日飛行機又は雨天なれば軍艦中山號で南京に赴くと

代表を廣東に派遣
西南派の諒解を求む
北支問題で國府發表

【上海特電十四日發】南昌會議に出席した汪精衞氏は十四日午後南京に歸任、直に關係要人を招集して北支問題解決案の協議を遂げた、しかして西南派の反對に對し諒解を求めるため南京代表を廣東へ派遣するに決した、國民政府當局は北支問題に關し次の如く發表した

問題は重大である、日本側の要求たる通車、通郵問題を要求通り解決することは滿洲國承認の前提となるのみならず直接交渉をなせば自繩自縛となり國際的同情を失ふことゝなるを以て日本の要求は斷じて拒絶する、日本が北支を侵略せんとせば不可能でないが國際關係と自國の國内關係を考慮してゐるから容易に實行するには至らない

通車問題を先づ解決

【南京十五日發國通】南昌會議を終へた汪精衞氏は十四日午後三時軍艦中山號にて着京、直に中央黨部に林森、居正、羅文幹等在京要人と強硬な面も樂觀的意見を述べてゐる、尚有吉公使は十五日南京着汪精衞、黄郛氏等と會見をなすが同公使今回の入京は歸朝に先立ち儀禮的挨拶のためと發表した

デマは全く虚構
わが外務當局は語る

【東京十四日發國通】最近北支那方面には日本が秘密裡に種々の軍事調査を爲しつゝありとの虚構の宣傳が盛んとなり支那紙は勿論上海英字新聞其他歐米の新聞にも之等が眞しやかに掲載され日本に對し疑惑を持つてゐる向もあるので我外務省としては事情取調中だつたが右は全く虚構なる事判明した卽ち北支方面の宣傳は

一、百名の日本將校が參謀本部派遣北平公使館附武官と協議を重ね察哈爾、山西、河北、陝西方面に赴いた
一、河北省の馬蘭峪に飛行場を構築約十臺の軍用飛行機を駐屯せしめてゐる
一、若し支那が滿洲國との間の郵便鐵道につき○○の要求を拒絶せんか重大なる事件發生すべし

等々の内容であるが右につき我外務當局は十四日左の如き當局談を

滿洲鐵道早廻競走
紅白兩班走行圖
（走破總距離五、二〇粁四）

十五日午前五時現在

	所要時間	走破粁數	實走粁數
紅班	四日一四時	一六五〇・六	二五四一・五
白班	四日六時五分	一七六四・三	二四七八・五

林陸相の心境に變化
十五日中に留否決せん

【東京十五日發國通】閑院參謀總長宮殿下から有難き御言葉を拜した林陸相は軍の内外の情勢がその留任を切望しており特に眞崎教育總監が極力勸説に努めた結果心境にも相當變化を來たした模樣で陸軍部内ではこの陸軍總意の慰留に對して林陸相は必ず飜意するであらうとの期待をかけ樂觀する向が多い、何れにするも陸相の留否は十五日を以て最後の決定を見るものとして注目されてゐる

總長宮殿下より御懇篤な御言葉
陸相恐懼、宮邸を退出

【東京十五日發國通】林陸相辭任問題勃發のため御豫定を變更遊ばされ急に御歸京の閑院參謀總長宮殿下には十四日午後九時二十分東京驛御着御歸邸遊ばされるや直に林陸相を御召しになつたので林陸相は九時四十五分閑院宮邸に伺候殿下に拜謁仰付けられ陸相より實弟白上佑吉氏の有罪の判決ありたるため綱紀問題に關して兎角の噂ある際であるから自分は身を以てその範を示したいとの信念より辭表を提出した旨並に參謀總長殿下御旅行中に辭表を提出御旅行の御豫定を御變更遊ばされるに至つたに就ての御詫びを言上した處これに對し殿下より御懇篤なる御言葉を賜つたので陸相は恐懼して十時二十五分宮邸を退出した

總長宮殿下
眞崎總監御召

【東京十五日發國通】眞崎總監は御召しにより十五日午前九時二十分閑院宮邸に伺候、總長宮殿下に拜謁仰付けられ殿下より林陸相辭表提出に關し御下問あらせられたので總監は謹みて陸相が辭表を提出するに至つた事情並びにこれに對する自己の意見及び軍部の意向について詳細言上、更に今朝陸相と會見現在に於ける心境を聽取せる顛末を申上げたるに殿下には眞崎總監に對し同總監より改めて陸相に飜意を懇請するやうにとの御沙汰を拜したので眞崎總監は恩命を畏み九時四十五分宮邸を退下し再び陸相官邸に林陸相を訪問、宮殿下の有難き御意向を報告し更に陸相の飜意を要望し種々重要打合せを遂げた

林陸相留任

【東京十五日發國通至急報】三長官會議で林陸相は遂に飜意留任に決定した

若山部隊長
けふ新京に到着
滿洲皇帝侍從御差遣

【新京特電十五日發】滿洲警備の一重大任務を負うた若山中將は十四日午後四時半新京驛着列車で加藤大佐、州波、田中兩少佐、佐々木少佐、古野一等主計正、鷲津一等軍醫正、西城一等軍醫正、黒木法務官等司令部幕僚を從へ到着した

驛頭には特に滿洲國皇帝陛下の聖旨を奉じて侍從武官石丸中將が出迎へた外、參謀長西尾中將以下關東軍各課長及び司令部員各學校生徒、在鄕軍人等、婦人團を初め日滿要人驛頭を埋める歡迎ぶりで西尾關東軍參謀長との握手及び石丸中將の聖旨傳達は迎へられた者も迎へた者も感激そのものであつた

驛貴賓室において出迎へ者の挨拶を受けた若山本部隊長一行は關東軍差廻しの自動車にて新京神社に參拜、着任を奉告後滿洲屋旅館に長途の疲れを休めたが十五日菱刈關東軍司令官に着任報告を行ひ任地へ赴任の命令を受け一時半より在京記者團と會見の筈である

教育行政權の移管
簡單に行かぬ
けふ歸連して 滿鐵八田副總裁談

中央政府と重要打合せの爲め滯京中の滿鐵八田副總裁は杉本秘書役野村秘書係を從へ十五日午前七時二十分入港のうすりい丸にて歸連したが船中往訪の記者團にサロンにおいて滿鐵現下の重要問題に就いて左の如く語る

附屬地行政就中教育行政の移管問題が新聞紙上に今にも具體化するが如く傳へられてゐるが決してそんな事はなくたゞ拓務大臣から座談的に滿洲における教育行政を統一したいといふ話を聞いたに過ぎぬ、それに對して滿鐵側としては何等意思表示はしてゐない、從つて拓務省と滿鐵、關東廳と意見一致したとかそんな事は絶對にない、然し現在地方部長が上京してゐるが附屬地外における邦人子弟教育に就いて色々新方針を決定しなければならないので外務省、拓務省と折衝を續けてゐるのだ、これは九年度においては附屬地外の教育は費用を國庫から支出して滿鐵がやることに暫定してゐるが、十年度からはどうなるか決つてゐないので、この點に寧ろ我々は關心を有してゐる、滿洲の教育行政の問題にしろ廣汎な地方行政と關聯して考慮すべきでそれには中央政府の根本國策方針が決定しなければ出來ることでなく我々には未だ根本方針なるものを示されてゐないから何とも足を踏み出す筈がないではないか

◇

滿鐵の改組問題に就いては鐵道關係の統一が頻りに唱へられてゐるが、さう簡單に實現は難しい、未だ我々において具體的に考へてない、問題が事務的のみの見地から出來ないことで色々政治的關係を考へなければならないので種々の困難があるのだそれと同じことで經濟調査會と計畫部との統制も新情勢に應じて考へてゐる、商事會社設立の問題も愼重研究中だ、尤も滿鐵の改組に就いては中央關係省でも充分研究を行つてゐる

◇

佐原觀光局長の滿鐵入社は目下話を進めてゐるから實現をみるかと思ふが鐵道省池田建設局長の滿鐵入社の噂は事實無根だ、なほ鐵道關係で滿鐵で人を要求してゐることは事實だ、數日中に新京に行く

てゐるから北支の日本の脅威を大袈裟に報道して各人各派の要人が自己の立場を有利にする爲め捏造してゐる事に基因してゐるのではあるまいか、何れにせよ斯かる捏造の排日的デマな爲すに於ては國民政府としても何等か有効適切な處置を執る必要が起るだらう

人事

▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）十五日

はいかる丸 十六日午前七時大連港外着豫定

滿洲鉄道早廻り競走

紅班大英斷を以て豫定ダイヤを變更
紅白東西兩線に分る

【奉天特電十五日發】こゝ一兩日大體豫定通りに走つて來た早廻り競走も十五日紅班の豫定變更による瀋海線入りによつて俄然再び前途の豫測を許さないこととなつた、而して紅班の豫定變更に關しては紅班相談役はこれを否定してゐるが、こゝ一兩日來の會議と河村選手に發せられたる十日夜の緊急指令電報から察して疑ひのない事實でその紅班の思ひきつた變更事情は左の理由にありと觀測されてゐる卽ち

スタート以來の紅白兩班の足どりによつて兩班相談役とも出發日に至つて大體對手方のコースの豫測が可能だつた、その結果

大體十七日頃以後は兩班ともに北滿、北鮮を同コースによつて走るの決戰が明かになつて來た然るに紅班としては白班がなほ撫順線を殘すとは言へ同コースを走るときは出發當時に發された約八時間のハンデキャップを取返すことは殆ど不可能でありこゝに大英斷をもつて急遽新コースの變更に至つたものと見るべく

殊に紅班としては白班とは全然逆な瀋海線を中心として東から西に廻り滿洲早廻り線の新コース開拓を目指すもので同コースとしてのベストが紅班によつて樹立されるところに本競走の興味を一層增大してなり紅班相談役又本コースによつて必勝を期してゐる

瀋海線に驀進す
河村紅班選手
十五日奉天にて

三日三夜の徹宵走行の後十四日日かゝつて朝陽北票間突破を完走した記者は錦縣午後十一時五分發の四十二列車に乘り奉天に引返す途中疲れのため通信紙に向つてペンをとつたまゝ睡魔に襲はれ遂に通信することを得ず十五日朝六時に奉天驛に到着した記者は今此處に落付く暇なく直に瀋海線に向つて行動を開始することゝなつた

州へ乘り換へ午後十一時五分發の四二列車に乘車平山（惣）紅班相談役も同乘して道を奉天に向つてとり車中作戰本部からの機密電報を受取つて緊張裡に十五日午前五時五十五分奉天驛に着いたが連日の苦鬪を物語る顏面を現しこゝに出迎への平山（眞）相談役からコースの再指令を受け同平山相談役と何事か耳打ちを行ひその儘同列車で走破を續け秋山支社長等の見送り裡に豫定より十分遲延し奉吉線に入つた

紅軍が十五六の兩日中に奉吉線を走破することはこれで明かである、待たれるコースはそれ以後だ、なほこの日大虎山一つ手前の驛唐家窩舖（午前二時三十分頃）驛では奉山線を引返した紅班河村選手と大虎山に向ふ白班吉田選手がすれ違つてゐるが深夜の而も對手方のコースを知らぬ兩選手は遂に言葉を交はすことが出來なかつた

紅白兩班の選手無言のすれ違ひ
十六日中紅班吉林着か

【奉天特電十五日發】紅班河村選手は十四日午後北票から鐵路を

白班大鄭線へ

【奉天特電十五日發】紅班のコース變更により滿洲早廻り競走はま

蛇角

◇林陸相心境の變化？事實とすれば望ましき變化である。
◇序に齋藤首相も心境の變化を來し總退却の準備をするがよい。
◇この希望、矛盾のやうであるが決して矛盾でない。
◇憤然不參加かと思つたら欣然參加とは驚いた。
◇日本體協態度あない、滿洲國體協を見殺しにする氣か。
◇白班打通線へ、紅班瀋海線へ、競走ますます興味を加ふ。
◇春光の下、競ひ立つ韋駄天四十名、勇ましく。

生活の虹（102）
菊池寛 作
志村立美 畫

滿洲日報
四月十五日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 村武盛
發行所 大連市東公園町卅一番地 株式會社滿洲日報社

黄郛氏赴寧

【上海十四日發國通】支那側報道に依れば南昌會議に於ける對日問題に關しては汪精衛、黄郛兩氏間に意見の一致を見黄氏は十四日飛行機又は雨天なれば軍艦中山號で南京に赴くと

北支那政權獨立化す
わが國の北支投資をも許す
南昌會議黄氏に一任

【上海特電十四日發】確聞するに南昌會議の結果は黄郛氏を首班とする北支政務整理委員會の權限を擴大し、北支に於ける一切の問題は自由裁決を許されることゝなつた

一、北支案問題に關しては一切の解決權を黄郛氏に一任
一、北支の平和繁榮のため行はれる交渉の權限を許す
一、北支の財政經濟の改善、支那に利益ある一切の外國の投資(日本を意味す)を許す

等の原則を決定し北支に於ける日支問題は全く中央より獨立し北支は實質的に獨立政權となつたといはれる(寫眞は黄郛氏)

代表を廣東に派遣
西南派の諒解を求む
北支問題で國府發表

【上海特電十四日發】南昌會議に出席した汪精衛氏は十四日午後南京に歸任、直に關係要人を招集して北支問題解決案の協議を遂げた、しかして西南派の反對に對し諒解を求めるため南京代表を廣東へ派遣するに決した、國民政府當局は北支問題に關し次の如く發表した

問題は重大である、日本側の要求たる通車、通郵問題を要求通り解決することは滿洲國承認の前提となるのみならず直接交渉をなせば自繩自縛となり國際的同情を失ふことゝなるを以て日本の要求は斷じて拒絶する、日本が北支を侵略せんとせば不可能でないが國際關係と自國の國內關係を考慮してゐるから容易に實行するには至らない

と強硬な而も樂觀的意見を述べてゐる、尚有吉公使は十五日南京着汪精衛、黄郛氏等と會見をなすが同公使今回の入京は歸朝に先立ち儀禮的挨拶のためと發表した

通車問題を先づ解決

【南京十五日發國通】南昌會議を終へた汪精衛氏は十四日午後三時軍艦中山號にて着京、直に中央黨部に林森、居正、羅文幹等在京要人三十餘名を招集して南昌會議の結果を報告した後討議を行つた尚中國側要人の談によると南昌會議の結果當局は華北の現狀を維持する爲め軍、政、黨三方面の合作を促す筈で通車、通郵問題は後者が萬國郵便條約に關係があるので中國側は兩者を全然別個のものとして先づ通車問題の解決に當る方針を決定したと

デマは全く虚構
わが外務當局は語る

【東京十四日發國通】最近北支那方面には日本が秘密裡に種々の軍事調査を爲しつゝありとの虚構の宣傳が盛んとなり支那紙は勿論上海英字新聞其他歐米の新聞にも之等が眞しやかに掲載され日本に對し疑惑を持つてゐる向もあるので我外務省としては事情取調中だつたが右は全く虚構なる事判明した卽ち北支方面の宣傳は

一、百名の日本將校が參謀本部派遣北平公使館附武官と協議を重ね札哈爾、山西、河北、陝西方面に赴いた
一、河北省の馬蘭峪に飛行場を構築約十臺の軍用飛行機を駐屯せしめてゐる
一、若し支那が滿洲國との間の郵便鐵道につき○○の要求を拒絶せんか重大なる事件發生すべし

等々の內容であるが右につき我外務當局は十四日左の如き當局談を爲した

參謀本部から多數の將校が渡支し察哈爾其他の方面に赴いた事實はないが天津、北平方面に日本人の赴く者が眼につくのは春先きの恒例の事だ、特に熱河に在る關東軍が交代したので交代兵が北平見物に出かけたものがあるので大袈裟に傳へられたものであらう、馬蘭峪の飛行場問題云々は全然嘘だ、察するに目下南昌會議で北支政權の大立物黄郛が終始南京政府と打合せしてゐるから北支の日本の脅威を大袈裟に報道して各人各派の要人が自己の立場を有利にする爲め捏造してゐる事に基因してゐるのではあるまいか、何れにせよ斯かる捏造の排日的デマを爲すに於ては帝國政府としても何等か有効適切な處置を執る必要が起るだらう

滿洲鐵道早廻競走 紅白兩班走行圖
(走破總距離 五、二二〇粁四)

十五日午前五時現在	所要時間	走破粁數	實走粁數
紅班	四日一四時	一六五〇・六	二五四一・五
白班	四日六時五分	一七六四・三	二四七八・五

北安 チチハル ハルビン 白城子 鄭家屯 新京 吉林 拉法 圖們 朝陽川 雄基 西安 四平街 沙河 淸津 奉天 撫順 北票 溝幫子 大虎山 朝陽 錦 營口 大石橋 金州 山海關 旅順 大連 安東 紅班 白班

教育行政權の移管
簡單に行かぬ
けふ歸連して 滿鐵八田副總裁談

中央政府と重要打合せの爲め滯京中の滿鐵八田副總裁は杉本秘書役野村秘書係を從へ十五日午前七時二十分入港のうすりい丸にて歸連したが船中往訪の記者團にサロンにおいて滿鐵現下の重要問題に就いて左の如く語る

附屬地行政就中教育行政の移管問題が新聞紙上に今にも具體化するが如く傳へられてゐるが決してそんな事はなくたゞ拓務大臣から座談的に滿洲における教育行政を統一したいといふ話を聞いたに過ぎぬ、それに對して滿鐵側としては何等意思表示はしてゐない、從つて拓務省と滿鐵、關東廳と意見一致したとかそんな事は絶對にない、然し現在地方部長が上京してゐるが附屬地外における邦人子弟教育に就いて色々新方針を決定しなければならないので外務省、拓務省と折衝を續けてゐるのだ、これは九年度においては附屬地外の教育は費用を國庫から支出して滿鐵がやることに暫定してゐるが、十年度からはどうなるか決つてゐないので、この點に寧ろ我々は關心を有してゐる、滿洲の教育行政の問題にしろ廣汎な地方行政と關聯して考慮すべきでそれには中央政府の根本國策方針が決定しなければ出來ることでなく我々には未だ根本方針なるものを示されてゐないから何とも足を踏み出す筈がないではないか

◇

滿鐵の改組問題に就いては鐵道關係の統一が頻りに唱へられてゐるが、さう簡單に實現は難しい、未だ我々において具體的に考へてない、問題が事務的のみの見地から出來ないことで色々政治的關係を考へなければならないので種々の困難があるのだそれと同じことで經濟調査會と計畫部との統制も新情勢に應じて考へてゐる、商事會社設立の問題も愼重研究中だ、尤も滿鐵の改組に就いては中央關係省でも充分研究を行つてゐる

◇

佐原觀光局長の滿鐵入社は目下話を進めてゐるから實現をみるかと思ふが鐵道省池田建設局長の滿鐵入社の噂は事實無根だ、なほ鐵道關係で滿鐵で人を要求してゐることは事實だ、數日中に新京に行く

林陸相の心境に變化
十五日中に留否決せん

【東京十五日發國通】閑院參謀總長宮殿下から有難き御言葉を拜した林陸相は軍の內外の情勢がその留任を切望しており特に眞崎教育總監が極力勸說に努めた結果心境にも相當變化を來たした模樣で陸軍部內ではこの陸軍總意の慰留に對して林陸相は必ず飜意するであらうとの期待をかけ樂觀する向が多い、何れにするも陸相の留否は十五日を以て最後の決定を見るものとして注目されてゐる

總長宮殿下より
御懇篤な御言葉
陸相恐懼、宮邸を退出

【東京十五日發國通】林陸相辭任問題勃發のため御豫定を變更遊ばされ急に御歸京の閑院參謀總長宮殿下には十四日午後九時二十分東京驛御着御歸邸遊ばされるや直に林陸相を御召しになつたので林陸相は九時四十五分閑院宮邸に伺候殿下に拜謁仰付けられ陸相より實弟白上佑吉氏の有罪の判決ありたるため綱紀問題に關して兎角の噂ある際であるから自分は身を以てその範を示したいとの信念より辭表を提出した旨並に參謀總長宮殿下御旅行中に辭表を提出御旅行の御豫定を御變更遊ばされるに至つたに就ての御詫びを言上した處これに對し殿下より御懇篤なる御言葉を賜つたので陸相は恐懼して十時二十五分宮邸を退出した

總長宮殿下 眞崎總監御召

【東京十五日發國通】眞崎總監は御召しにより十五日午前九時二十分閑院宮邸に伺候、總長宮殿下に拜謁仰付けられ殿下より林陸相辭表提出に關し御下問あらせられたので總監は謹みて陸相が辭表を提出するに至つた事情並びにこれに對する自己の意見及び軍部の意向について詳細言上、更に今朝陸相と會見現在に於ける心境を聽取せる顛末を申上げたるに殿下には眞崎總監に對し同總監より改めて陸相に飜意を懇請するやうにとの御沙汰を拜したので眞崎總監は恩命を畏み九時四十五分宮邸を退下し再び陸相官邸に林陸相を訪問、宮殿下の有難き御意向を報告し更に陸相の飜意を要望し種々重要打合せを遂げた

林陸相留任

【東京十五日發國通至急報】三長官會議で林陸相は遂に飜意留任に決定した

滿洲鉄道早廻り競走
紅班大英斷を以て
豫定ダイヤを變更
紅白東西兩線に分る

【奉天特電十五日發】こゝ一兩日は大體豫定通りに走つて來た早廻り競走も十五日紅班の豫定變更による瀋海線入りによつて俄然再び前途の豫測を許さないこととなつた、而して紅班の豫定變更に關しては紅班相談役はこれを否定してゐるが、こゝ一兩日來の會議と河村選手に發せられたる十日夜の驟急指令電報から察して疑ひのない事實でその紅班の思ひきつた變更事情は左の理由にありと觀測されてゐる卽ち

スタート以來の紅白兩班の足どりによつて兩班相談役とも出發日に至つて大體對手方のコースの豫測が可能だつた、その結果大體十七日頃以後は兩班ともに北滿、北鮮を同コースによつて來走るの決戰が明かになつて來た然るに紅班としては白班がなほ撫順線を殘すとは言へ同コースを走るときは出發當時に殘された約八時間のハンデキャップを取返すことは殆ど不可能でありこゝに大英斷をもつて急遽新コースの變更に至つたものと見るべく

殊に紅班としては白班とは全然逆な瀋鐵線を中心として東から西に廻り滿洲早廻り線の新コース開拓を目指すもので同コースとしてのベストが紅班によつて樹立されるところに本競走の興味を一層增大してをり紅班相談役又本コースによつて必勝を期してゐる

紅白兩班の選手
無言のすれ違ひ
十六日中紅班吉林着か

【奉天特電十五日發】紅班河村選手は十四日午後北票線を經つて錦州へ乘り換へ午後十一時五分發の四二列車に乘車平山(惣)紅班相談役も同乘して道を奉天に向つてをり車中作戰本部からの機密電報を受取つて緊張裡に十五日午前五時五十五分奉天驛に着いたが連日の苦鬪を物語る髯面を現しこゝに出迎への平山(貞)相談役からコースの再指令を受け同平山相談役と何事か耳打ちを行ひその儘同列車で走破を續け秋山支社長等の見送り裡に豫定より十分遲延し奉吉線に入つた

紅軍が十五六の兩日中に奉吉線を走破することはこれで明かである、待たれるコースはそれ以後だ、なほこの日大虎山一つ手前の驛唐家窩舖(午前二時三十分頃)驛では奉山線を引返した白班吉田選手がすれ違つてゐるが深夜の而も對手方のコースを知らぬ兩選手は遂に言葉を交はすことが出來なかつた

瀋海線に驀進す
十五日奉天にて 河村紅班選手

三日二夜の徹宵走行の後十四日一日かゝつて朝陽北票間突破を完走した記者は錦縣午後十一時五分發の四十二列車に乘り奉天に引返す途中疲れのため賴信紙に向つてペンをとつたまゝ睡魔に襲はれ遂に通信することを得ず十五日朝六時に奉天驛に到着した記者は今此處に落付く暇なく直に瀋海線に向つて行動を開始することゝなつた

白班大鄭線へ

【奉天特電十五日發】紅班のコース變更により滿洲早廻り競走はますく〳〵佳境に入つて來たが十四日午後四時五十分安東を出發した白班吉田選手は元氣に旅を續け午後十時五十分奉天驛頭に秋山本社支社長等の出迎へを受け僅か五十分間の聯絡期間に鎌田驛長の通過サインを受け直に同五十五分奉天發山海關行の四二列車に乘換へ白班は再度の奉山入を行つた、而して同選手は午前二時四十分大虎山着安らかな眠りを取る暇もなく同驛から大鄭線に乘換へ大虎山午前七時發の二九八列車で通遼に向つて一路北へのコースをとつた

若山部隊長
けふ新京に到着
滿洲皇帝侍從御差遣

【新京特電十五日發】滿洲警備の一重大任務を負うた若山中將は十四日午後四時半新京着京圖線總務車で加藤大佐、州波、田中兩少佐、佐々木少佐、吉野一等主計正、驚津一等軍醫正、西城一等軍醫正、鈴木法務官等司令部幕僚を從へ到着した

驛頭には特に滿洲國皇帝陛下の聖旨を奉じて侍從武官石丸中將が出迎へた外、參謀長西尾中將以下關東軍各課長及び司令部員各學校生徒、在鄕軍人等、婦人團を初め日滿要人驛頭を埋める歡迎ぶりで西尾關東軍參謀長との握手及び石丸中將の聖旨傳達は迎へられた者も迎へた者も感激そのものであつた

驛貴賓室において出迎へ者の挨拶を受けた若山本部隊長一行は關東軍差廻しの自動車にて新京神社に參拜、着任を奉告後滿洲屋旅館に長途の疲れを休めたが十五日菱刈關東軍司令官に着任報告を行ひ任地へ赴任の命令を受け一時半より在京記者團と會見の筈である

人事

▲八田嘉明氏(滿鐵副總裁)十五日午前七時二十分入港のうすりい丸にて歸連
▲杉本重道氏(同秘書役)同上
▲岩井勘六少將(大連在鄕軍人聯合分會長)同上
▲深澤暹氏(元吉林總領事)同上來連
▲加藤德雄氏(日清製粉重役)同上來連
▲中谷保氏(安全自動社社長)同
▲坪井俊三氏(山下汽船重役)同
▲簑田繁夫氏(日本漁網重役)同
▲戸田德夫氏(滿洲醫大教授)同上歸滿
▲竹森愷男氏(鐵路總局貨物係主任)同上歸滿
▲遠藤謙氏(伊藤忠大連支店長)同上
▲田中知平氏(泰東洋行主)同上
▲關安成氏(關東廳警部)十五日午前七時二十分着列車にて歸連
▲河本大作氏(滿鐵理事)同上
▲大內成美氏(大連市會議長)同

はいかる丸

十六日午前七時大連港外着豫定

蛇角

◇林陸相心境の變化?事實とすれば望ましき變化である。
◇序に齋藤首相も心境の變化を來し總退却の準備をするがよい。
◇この希望、矛盾のやうであるが決して矛盾でない。
◇憤然不參加かと思つたら欣然參加とは驚いた。
◇日本體協態あない、滿洲國體協を見殺しにする氣か。
◇白班打通線へ、紅班瀋海線へ、競走ます〳〵興味を加ふ。
◇春光の下、競ひ立つ韋駄天四十名、勇まし〳〵。

生活の虹 (102)
菊池寛作 志村立美畫

新しき同情(四)

誰であらう。綾子は、手紙の上に、そのハンド・バッグをのせて、かくすと、キッと身構へて、足音の主を待つた。

そこの襖を、ガラリと開けたのは、意外にも、村山であつた。

彼は、息を彈ませて、しかし、其處に綾子を見出した瞬間、うれしさうな表情にたちまちかはつて、づか〳〵と部屋の中には入つて來ると、

「あゝ、安心、安心。あのまゝ何處かへ貴女が行つてしまはれたかと、僕は、隨分心配しましたよ」

と、云ひながら、綾子の眞正面に、そのまゝペタリとすわつてしまつた。

綾子は、村山の興奮が、何故だか解らなかつた。彼女は、默つて村山をみつめてゐた。

村山は、坐つてしまふと、かへつて落着きを失ひ、顏を赤くして、次の言葉は、なかなか云ひ出せない風情であつた。

「御心配をおかけして、すみません。でも、私別に何も致しませんから、どうぞ、おひきとり下さいませな。また、典子さんでも、歸つて見えると、どんなことおつしやるか解りません」

と、綾子は、村山の自分に抱いてゐる好意を、或程度に感じながら、さう云つた。

凜然と、此の家のものは、みな敵にまはしたやうな、綾子の言葉に、村山は、ちよつと鼻白みながら、しかし、そこは外交官と云ふ職業柄の、ものやはらかさで、

「よく分りましたが、その前に、一言だけ申上げ度いのです。邦男君も、あのまゝ、貴女がもとの家へ歸られたのではないかと、案じてゐられました。僕も、貴女は邦男君の妹として、此處に居て欲しい一人なのです。典子さんの無禮には、僕も、憤慨し、女性としてのあの人の性格を輕蔑したくなりました」

村山は、赤くなつた。そして、表情が、固くなり、語調がせまつた。彼は、綾子にしつかりと眼を置き、また、せはしなく視線をそらせたりしながら、

「御存知かも知れませんが、大體僕は、典子さんの許婚のやうになつてゐます。僕は……邦男君が、貴女を愛人のやうに、好いてゐられた時分僕も、貴女を一度見に丈で隨分貴女と云ふ、淸純な美しい方を、推奬したものです。それが計らずも、貴女が、邦男君の妹だと知つた時、僕は、心からうれしかつたのです。貴女が急に僕に近い人のやうに思はれて來たからです。僕は、典子さんに、最後の承諾をまだ與へてないことが、喜ばしくなつたのです」

ゆるがせにできない空氣になつてしまつた。綾子は驚きながら、一時、己れの興奮を忘れて、村山の言葉に耳をかたむけるのだつた。

「しかし、それだからと云つて、このやうなことは、人に告ぐべきことではないと、僕は、典子さんのあゝした態度を見るにつけ、これからの寂寞にみちた貴女の生活を思ひ、及ばずながら、貴女を護る騎士になつて、貴女の幸福のために、陰ながら、お力添へをしようと、思つてゐるのです」

彼の言は誠實であつた。彼の唇のあたりは時々、心をあからさまに云ふ恥かしさに震へ、顏は、眞赤に血の色を浮べてゐた。

陽光と拍手浴びて 勇躍スタートを切る

春の街頭を走る健兒四十名

けふ本社主催 フル・マラソン

全市の殺人的人氣を集める本社主催の第八回本社前祭大廣間往復、フル・マラソンは快晴に惠まれた十五日午後一時を期して擧行された、馳せ參ずるもの最年長者五十七歳の宗像金吾氏、最年少者十七歳の黒川少年等總計四十名、選手一同は定刻より集まつた應援團の人々の聲援を受けて時の來るを待つ、午後零時五十分、高橋召集員の召集に應じ選手一同ユニフォームに身を固めスタートラインにつき前年度一部優勝者志水選手より滿鐵社長盃及び二部優勝者百東選手(代理)より關東長官優勝旗を返還し村田本社々長は

日本民族は物事に永續しない性質を持つ、瞬間的なものを好む傾向がある、これに耐へる精神を養ふにはマラソンの右に出るものはないと思ふ、どうぞ選手諸君は日頃の練習の眞價を充分に發揮せられて戰はれんことを望む

と開會の辭を述べ續いて山岡審判長のレースに關する注意後正一時小數賀出發員の號砲を合圖として四十名(志水選手は足部負傷のため不參加)の選手は雲集せる人々の拍手と聲援に送られ、一路祭大廣間引返し點を目指して勇躍姿を消した

優勝楯授與式

本年度より新たに授與される宗像氏優勝楯の本社への贈呈式は十五日午後零時三十分より本社前に於いて林田體協主事以下運動關係者參列の上擧行、寄贈者宗像金吾氏より村田本社長に二個の優勝楯を贈呈し本社々長は感謝の辭を述べるところあつた

岩井少將歸連

大連在鄕軍人聯合分會長岩井勘六少將は軍人會館落成式出席の爲め上京中のところ十五日入港のうすりい丸にて歸連したが船中語る

軍人會館の落成式と全國在鄕軍人聯合分會長大會出席の爲め上京した、この大會の席上で例の宮脇代議士の失言問題に就き在鄕軍人としての決議を行つたのだ氏が結局宮脇代議士には會へずそのまゝだ、今內地においても在鄕軍人は思想善導の中心勢力として積極的に働きかけてゐるが、これは決して右翼運動を意味するのでなく飽くまで國民中庸の指導精神を以てやつてゐるので非難されるやうなことはない

寫眞說明　上、優勝楯授與式　下、選手出發の刹那

サンマー・タイム 今年こそ實現か

具體案の成製を急ぐ社員會

日出が早く日沒がおそい夏の間にサンマー・タイムを實施しやうとの計畫は滿洲に於いて久しいもので未だに實現しないが、今年こそは實行されそうな形勢となつた、即ち滿鐵社員會では過日の役員會に於いて本問題を取り上げて討論した結果從來現場關係からあまり乘氣でなかつた鐵道部側も不贊成者なくもし滿鐵全體として實行するならば大勢順應に否かならざることを示したので急速に具體案を成製することに決定した、滿鐵では撫順炭礦が早くから炭礦だけでサンマー・タイムを施行し、四月一日より九月三十日まで七時始業、二時終業として好成績を收めて居るので昨年度はこれを全滿鐵に及ぼすべく人事課で立案し重役會議に提出したが否決されたものだが、今年社員會が贊成してこの人事課案をバツクすれば實現は容易であらうと豫想されてゐる、尤も現在サンマー・タイムと稱されてゐるものには

一、大連商工會議所が唱道して居る五月一日より九月三十日に至る五箇月間、全滿一齊に時計を一時間早めるといふ眞のサンマー・タイム

二、夏期間だけ特に事務の始業及び終業を早める

といふ二つがあり、十日の社員會役員會に於いても兩案の可否が論議されたが第一案は全滿的に實行容易でなく、たとひ實行し得ても鮮鐵や國鐵の連絡等に支障を來すので至難と見られ、結局第二案が有望となつて居る、しかして第二案中に於ても

一、撫順炭礦のごとき方法によらんとするもの

二、四月は八時半、五月は八時、六、七、八月は七時、九月は八時と始業時間に段階を設けるもの

三、五月から九月末まで七時始業と中食拔で零時半終業とするもの

など色々の方法があげられて居りいづれの方法によるかは來週の社員會役員會までに決定する筈

美髮美容術の講演會

けふ大連署で

「女髮結」も美髮美容師といふに呼稱が變つて近く關東州に內地同樣の試驗制度が實施されようとしてゐるがこれが規則の改正を控へて大連美髮美容同業組合では大いに技術向上を圖らうとしてゐる矢先、東京の日本美髮美容女學校々長森島藤一郎氏が滿洲視察に來連したのを絶好のチャンスとし十五日午前十時から森島氏を招聘、大連署講堂で講演會を開催した、來聽者は大連市內百五十名の美容術師とそのお弟子さん達で春にふさはしい着飾つた婦人が大部分を占め森島氏の現代美容術に關する講演に耳を傾けた(寫眞は會場と森島氏)

滿洲軍用犬協會 關東州支部發會式

けふ盛に擧行さる

滿洲軍用犬協會關東州支部の發會式は十五日午前十一時鎭山要塞司令官、御影池大連民政署長、田中關東廳農林課長、小川市長、高柳將軍、若月市會副議長、張本政氏等を初め官民來賓並に會員三百名出席して常盤小學校講堂にて開催、小野頭高塚委員の開會宣言あり、小林委員の經過報告ありたるのち若月委員より左の如く支部長(御影池民政署長)のほか幹事、常任幹事(◎印)を發表

▲大連(石井金吾、◎伊藤正綱、若月太郎、吉田嘉平、◎高塚源一、◎辻慶太郎、黒髮善平、小林五郎、平岡與平治)▲旅順(岩朝庄作、◎神崎孫助、竹中延太郎、大楠次郎平)▲金州(加世田彌二郎、浦江八百顯)

次で御影池支部長の挨拶、高柳會長の式辭終つて鎭山要塞司令官、田中農林課長(內務局長代理)小川市長、張本政氏、根橋滿鐵計畫部長(總裁代理)らの來賓祝辭および祝電披露あつて閉會、引續き祝賀宴に入り松岡旭芳女史の「板倉少佐と三忠犬」の琵琶演奏あり、午後一時半より軍用犬の訓練實演行はれ盛會であつた

飛んだ異國情調

春のミナト・犯罪小品

東京生れ竹內長賴(二七)と香川縣生れ吉方勇(二四)は船中で懇意となり十二日入港の香港丸で仲良く上陸し市內吉野町五名古屋旅館に合宿した、その夜二人は異國情緒を味はうと支那遊廓やカフエーを飲み廻り、最後に美濃町待合松家に登樓、藝妓小梶、小つやの二人を揚げて散財しいざ消る段になると互に懷を當てにしてゐたので二人共懷中は無一文、そこで竹內は待合の女中を附馬にして名古屋旅館に取つて返し吉方の鞄を破つて三十餘圓を取り出し遊興費として女中に支拂ひ更に六十餘圓を盜み其夜は何喰はぬ顏で松家へ戻つて泊り翌朝一番列車で奥地へ逃走した、一方吉方は一夜甘き夢に浸つて翌朝十時ごろ名古屋旅館に歸つて見ると鞄の中の百餘圓が消えて無くなつてゐるのに氣付き醉ち醉が醒めて大連署に屆出た、同署司法係では奉天、新京方面に手配し目下竹內の行方を嚴探中である

裏の裏

腕利き新聞記者が、事件の裏の裏や、苦心談、珍談、奇談をキング五月號に發表したが、人が人、話が話だけに、實に面白い。

娘十六 毒を呷いで 昏睡狀態

春花を待たで十六娘の自殺未遂―十四日午前十一時二十分ごろ市內黒礁屯七四二三番地の二樋口雄智氏方で同氏姪小瀧原あき子(一六)さんが、奥六疊の寢室で苦悶してゐるのを家人が發見、傍らにアダリンの喫み殘りが置いてあるので直に眞金町六番地梅森醫師を招き應急手當を施した、生命には別條ない模樣であるが未だに昏睡狀態を續けてゐる

あき子さんは日頃快活な方で毎日家事の手傳ひをしてゐたものであるが遺書らしきものなく覺悟の自殺と目せられる點は何一つ發見されないが、前日國元鳥取縣の姉から來た手紙を讀み感泣してゐた點などより何か家庭上の事情に擊たれ少女心に小さい胸を傷め一時の出來心に服藥したものではないかと見られてゐる

二驅逐艦觸衝

【東京十五日發國通】海軍省發表＝今十五日午前一時種子ケ島南西の海上に於いて聯合艦隊の夜間襲擊訓練に參加せる驅逐艦[illegible]風は僚艦澤風に觸衝し[illegible]風には相當の損傷ありしも兩艦共人員に異狀なく何れも佐世保に廻航中である

天気予報

北西の風晴一時曇

滿潮(午前十一時三十五分 午後十一時五十分)

干潮(午前五時十分 午後六時)

各地溫度(十五日午前十一時)

大連十三度　奉天十二度　旅順十度　新京十一度　營口十度　新義州八度

大會參加に決定

日本體協から比島、滿洲國へ通告

囂々たる非難起る

【東京特電十五日發】滿洲國參加問題に關聯して極東大會に對する態度を決定しかねた日本體協は十五日朝に至り遂に大會參加の決定をなした、これは體協の村陽太郎氏がスポーツ精神と國際關係をしきりに唱へて體協の不參加論者を說き伏せた結果であつて、これと同時にフイリッピンに回答を發し滿洲國體協へも通告したが國際協調の精神を誤解し侮辱されたフイリッピンへ頗る懇懃の態度で滿腔の敬意を表し滿洲國へは支那のフイリッピンとの提携が極東大會の基礎であるからしばらく隱忍せよと通告したことは明かに滿洲國に對する侮辱であつてスポーツの名による我が國策の無視誤認であると非難され殊に上海會議のごときは結局日滿兩國の面目を失墜した歸結となつた事を憤慨するものが多い

【東京十五日發國通】極東大會參加か不參加かの最後態度を決定する體協全體會議は十四日午後八時半より丸の內中央亭で開催豫想された如く議論沸騰波瀾を極めたが嘉納名譽會長を始め午後十時半出席せる平沼副會長更に鄕名譽主事或は杉村顧問等有力者連の大會參加說は漸く全員を動かし十五日午前零時に至つて遂に第十回極東大會に日本は參加し而して堂々大會改造問題を提出すべしと決定十五日午前二時別項の如きステートメント及び比島に對する回答文を發表して散會した

體協の重大な誤謬

【東京特電十五日發】日本體協よりの通告に對し滿洲國體協の在京代表はかねてこれを豫期したので寧ろに第二段の對策について研究中であるが、日本體協が滿洲國との親善よりも支那、フイリッピンとの友誼を重しとした重大なる誤謬はこれを單にスポーツ限りのもののみ見る事は不可能であつて日滿兩國の關係及び滿洲國統治の上に重大なる影響あるものとし、この際滿洲國政府及び日本在滿機關首腦部より日本政府に對して何らかの發動が行はれるものと豫期しつゝある

比島體協への回答全文

【東京十五日發國通】比島への回答全文左の如し

四月十四日附貴電を謝す、大日本體育協會の多年貴協會と協力して極東選手權競技大會の爲め盡力し來りたるは之により極東に於けるスポーツ精神の向上及びアジア諸民族青年間の親交に資せんが爲めなり、從つて大會に關する諸問題を處理するに當り本協會は常に明朗、謙讓及び友愛の精神を以て善處せんことを期す、滿洲國體育協會の比島大會參加問題についても此の精神より熱心に我が所懸を闡陳したるにも拘はらず我が眞意が未だ充分に徹底するに至らざりしは遺憾なり、然れども本協會は極東問題に對する比島協會の困難なる立場に對しては當初より充分の諒解と同情とを有するものにして殊に貴電により貴協會がたゞ極東諸國のスポーツマンシップ助長を望む熱心なる誘導を以て本問題の解決に當らんとせらるゝに對しては誠腔の敬意を表せんとす、よつて本協會は極東大會に對する前記本協會の信義及び友情並びに滿洲國體育協會參加問題の解決に對する貴協會の誠意ある言明に鑑み滿洲國體育協會參加問題に關連せる憲法問題を大會中に改正せんとする事を承諾し且つ欣然今回の大會に參加すべきを決し之を貴協會に通告するを喜ぶ

一方日本體協は滿洲國に對しては我責任の大なるを思ひ此の際一層自重し誠意と忍耐とを以て問題解決に當る旨の文書を手交した

體協の聲明書

【東京十五日發國通】平沼副會長の名を以て發表された體協側ステートメント大要左の如し

大日本體育協會が滿洲國體育協會の極東大會參加要求を極力後援し來りたるは全くスポーツの本質と極東競技大會の精神に基くものにして競技參加の實力ありて又之を希望するものを無碍に斥くべからざるのみならず之に對し欣然參加を應諾すべきは明朗公正なるべきスポーツマンの精神上當然のことに屬す、然るに會議の經過及び結果は遺憾乍ら形式的不備なる現行憲法の規定を中心として論議を上下するに過ぎざる感あり、吾人をして甚だしく絶望せしめたる所以なり、然るに今第十回極東選手權競技大會の主催たる比島體協よりの公電によれば一切の政治的考慮を捨て其の精神と趣意に於て必ずしも本協會の態度と主張とに背馳せずたゞ其の立場上立論の方法につき些か異なるものあるのみなるを知り其の信義と好意に酬ゆるの必要を痛感したり、本競技會は滿洲國體育協會の素志貫徹の爲には本協會が競技大會の柱石たるの地位を保持し飽くまで隣邦諸協會の說得に努むるの一途あるを思ひ殊に今回の競技大會より新たに加はる佛領印度支那及び蘭領印度兩國に對しても我等は情誼と信念を表明するの義務を感じ玆に豫定通りマニラ競技大會に參加するものなり

屈辱外交の典型

岡部平太氏憤慨して語る

【東京特電十五日發】右に關し岡部平太氏は語る

日本體協がスポーツ精神と國際友誼とかいふ理由の下に遂に極東大會參加を決定したことは實に心外であり屈辱外交の典型をこゝにみる感がある、上海に於てあれだけ侮辱されながら支那、フイリッピンとの友誼のためにおめ〳〵と參加して對滿洲國との友誼をどうする積りであるか、事こゝに至つた滿洲國體協は最早日本體協と完全に絶緣し全體的に闘ふ外はない、日本體協は三月二日の會見及び十日竹越、滝谷兩代表が滿洲國參加その間に若し滿洲國參加の目的が達せられなければ日本は直ちに脱退して滿洲國と一致の行動をとると公文書で誓約してゐるこの誓約を無視して今一方的に參加の態度を決して滿洲國に通告するとは何事か殊に體協は山本博士に全權を委任しておきながらその歸京を待たずにこの態度を決したことも奇怪至極であつてかくの如くわが國策に反した行動をとる體協に對し政府が國費を與へて參加を奬勵するといふことは結局行はるべきことではないと思ふ

中心團體の努力を望む

滿洲體協 林田主事談

右に關し林田滿洲體協主事は語る

大日本體育協會が極東大會に參加する事に決定したといふ事は信じたくない電報で山本博士が歸京後に決定さるべきものと思ふ、マニラの會議や上海の會議の模樣を當事者たる山本博士から聞かずに唯電報の往復のみに依つて決する事は其間に誤解があつたりする恐れがある、吾々滿洲に居る者としては特に滿洲國との關係も濃厚なので友情として滿洲國の參加が不能になつた場合は日本選手の參加を止めて貰ひたいと思ふ、此の電報に依つて極東大會に滿洲國參加問題が終末を告げたとは考へられない、日本の中心勢力を爲す陸上聯盟では、十六日に全國の代議員會が開かれるから此の席上で勿論此の問題が論議される事であらうし之に依つて陸上聯盟の態度は決するものと思ふが吾々は飽く迄滿洲國の參加が實現するやうに中心團體の努力を希望して居る

滿洲體協から村上代表上京

日本體協では別項の如く極東オリンピック大會參加に決定したが協會の中心勢力たる日本陸上競技聯盟では十三、十四兩日理事會を開催、更に十六日全國加盟團體の代議員を招集の上代議委員會を開催し同問題の經過を報告することゝなつたが滿洲體育協會では十五日朝出發の飛行機で滿洲陸聯理事村上國平氏を代表として急遽上京せしめた、なほ滿洲體協は極東オリンピック大會への選手派遣は絶對反對であるが來るべき大會には日本體協より代表を派遣し憲法改正を行ひ滿洲國參加の實現を期すべきことを主張する模樣である

滿洲國兩代表 はとで歸京す

滿洲國代表小川增雄、久保田完三兩氏は十五日午前九時發はとで歸京した

新講談

丹下左膳 (76)

林不忘作　小田富彌畫

水滴々(一)

左膳は、たゞ一直線に陷ちたやうな氣がしたが。

穴は垂直ではなかつた。

直徑三尺ほどの幅に、急な勾配をもつてすうつとこの地底のあなぐらへ通じてゐるのである。

察するところ、この地下室は、地上の穴から斜に入り込んで、丁度あの、路傍を流れる三方子川の眞下に當つてゐるらしい。

左手に濡れ燕を突いて起き上がつた左膳、したゝか腰を打つたらしく、抜けるやうに痛い。

「イヤ、不覺……」

苦笑しながら、掘りたての土軟かな床へ、刀を突き刺し、ひだり手で腰のあたりを擦らうとした時……今あの、タ、丹下左膳ではないか、久しぶりだナ、その後は御無沙汰、と言ふ聲がしたのだ。

「誰だッ?」

左膳、濡れ燕を構へるが早いか壁に飛びのいて、眼を凝らした。

地の底……。

幾丈とも知れない地下で、地上からの穴は急勾配なのだから、闇のなかに、何處やら微に外光が漂つてゐるに過ぎない。

が、聲をかけた人は、この暗黒に慣れてゐるらしく、

「キ、貴殿も足を踏み外したのか、ハ、、、、やられたな」

さいふ聲は、伊賀の暴れん坊、柳生源三郎である。

左膳もそれと氣付いて、

「源三ぢやアねえか。お前はこの司馬寮の火事で、燒け死んだと聞いたが、さては、こゝは冥府と見える。してみると、おれもあの世へ來たのかな」

薄く笑つて、左膳、聲のするはうを透かして見ると、柳生源三郎のほの白い顔が、その四疊半ほどの眞ん中にキチンと端坐してゐるのが、彼の一眼にもうつすらと見えて來た。

「イヤ、源三、お前は計られて、このおとし穴へ落ち込んだのだらうが、おれは、時のはずみで陷ちたのだ」

左膳はさう言つて、源三郎の前にドッカと胡坐。

顔をもつて不思議な運命に結ばれる二人。

この思ひがけない地底で、再び顔を合はせたのだ。

「何から話してよいやら……」

と源三郎も、心から懷しさうである。

左膳が、つゞけた。

「この罠は、火事にまぎれてお前を落し込むために、こしらへたものに相違ねえ。お前は見事、それに掛つたわけだが、丹波のやつたこの仕事を、おれの相手の伊賀侍が知る筈はねえのだから、おれは勝手に陷ちたやうなもので——しかし、驚いた。だが、おかげでかうして、死んだと思つた伊賀の暴れん坊に廻り逢つたのは左膳、こんな安心したことはねえ。是も今おれの手に入つてゐる、こけ猿の茶壺の手引きにちげえねえのだ」

悠然と笑ふ左膳の片手を、源三郎、喜びと驚きにギユッと握り締めて、

「ナニ、こけ猿はいま貴公の手にある?」

「ウム、開きかけた壺をそのまゝに、貴様の兇變を聞いたので、飛んで來たまでゝはいゝが、おれもそのお供をして此の始末よ、あはゝゝゝ」

二人は、フッと話を切つた。

どこやら闇のなかに、ボタリ! ボタリと、水の滴る音がする……

日活本社が直接滿鮮臺に配給
係主任に伊藤氏榮轉

日活映畫の滿洲上映は從來臺灣、朝鮮並びに支那と共に關西支店の管轄に屬し、滿洲は關西支店より派遣されてゐる伊藤滿洲出張所長が配給その他の件に當つてゐたが今回日活重役會議の結果滿洲、朝鮮、臺灣並びに支那の配給事務は東京本社に於て行はれることゝなつた、卽ち從來關西支店では滿洲朝鮮、臺灣並びに支那の配給を統率する機關を新設すべく計畫中であつたが、東京に於ける重役會議はこの機關を第五部として本社に置き、右新設第五部主任には現滿洲出張所長を拔擢任命し、來る五月一日より事務取扱ひを開始することになつたものである、尚現在東京支社に於て扱ふ封切プリントは普通作品にて五本とのことであるが、伊藤氏は更に一本ふやして第五部配給用となし、滿洲より朝鮮、臺灣の順で上映する様赴任と同時に本社幹部に交渉すると語つてゐるが、右第五部用プリント增加が實現するならば、日活映畫の大連始め滿洲各地上映は現在よりも一層早くなり、內地と殆ご同時に封切られることとならう

伊藤氏後任は濱田一郎氏

別項の如く日活の滿洲配給が五月一日より東京本社直接となり、その係り主任として伊藤滿洲出張所長が榮轉することゝなつたが、伊藤氏の後任は最近まで東京の日活直營館本所映畫館支配人であつた濱田一郎氏と決定、十四日神戸出帆の定期船で赴任の途についた、尚伊藤氏は後任者の着任を待つて事務引繼後五月一日の事務開始までには東京に赴く豫定である

女優さんの卵
下加茂撮影所で採用者二名發表

松竹京都撮影所では井上所長自ら先頭に立ち全國から女優の卵を探し三名を決定したが、最近正式に左の二名を發表した

八代輝子　本名西川光、二十歳、父は辯護士であるが嘗つて朝鮮に判事たりし頃京城で生る熊本縣八代高女出身、水木流の舞踊に長ず、故守田勘彌の藝風批評等一家見を有つ、娘役

堀江清子　純大阪兒、十九歳プール高女卒、ヴアイオリストを父に有つだけ音樂殊にピアノが上手、將來聲樂家として立つべく研究中を轉じたもの、ソプラノは既に一家を成す、本人の希望はヴアンプだが當分娘役

酒井米子一行本夜より開演

酒井米子、葛木香一、光岡龍三郎久米譲一行の實演隊はいよ〳〵本夜より大劇で開演するが、お目見得狂言は左の如くである

▲川村花菱作「唐人お吉」五場
▲江島弘作「嫁と姑」一場
▲行友李風作「江戸節お駒」八場

會議は踊る
協和會館及び日活館上映
ウーフア日本版紹介

獨逸ウーフアーの一九三二年度超特作映畫で、今回大連に上映されるものは東亞商事の提供全發聲日本版、監督はエリック・シャレル撮影はカール・ホフマン、主演はリリアン・ハーヴエー、ウイリー・フリッチ並びに久々にコンラッド・フアイトの共演である

時は一八一四年、維納の街、史上に名高き平和會議、智謀並びなきメッテルニヒ宰相に操られて心なく踊りを續ける列强の盟主たち…物語りは平和會議をバックとしてウインナの評判娘クリステルとアレキサンダー王との戀を描く、クリステルが身分違ひの戀の破滅をおそれてゐる時ナポレオン再起の噂が傳はる全歐にまきおこる恐ろしい嵐——會議は踊りつゞける

嘗てこれ程のオペレット映畫を見たことがない、觀客はこの映畫を見て監督エリック・シャレルの偉大さを痛切に感じさせられるだらう、小夜曲と狂騷曲が適當に交配されそこから生れ出てるロマンチズムは、見るものを完全に魅了する、更に場面構成の美しさと俳優指揮の巧さ、音樂と繪との二つが完全に合致してフイルムに收められたものがこの「會議は踊る」なのだ、部分的に見て場面構成の點では隨處に現れる移動のすばらしさに先づ驚かされる、特に町の酒場の場面とクリステルが別莊に馬車を走らす場面がいゝ、音樂では酒場から手袋屋への獨唱と合唱、別莊への獨唱と合唱、それにラスト・シーンだ、兎も角もシヤレルはオペレット映畫の巨匠として讃へられるべきだらう

俳優ではコンラッド・フアイトがメッテルニヒに扮し彼獨特の演技によつて斷然光つてゐる、ウイリー・フリッチのアレキサンダーとウラルスキーの二役もよく、リリアン・ハーヴエーのクリステルも前記二優に劣らず好ましい、だが矢張り各俳優の演技にもシヤレルの力が感じられる、獨立した特徵のある三俳優の演技がシヤレルの巧みな手腕によつて完全に纏められ更に一層の光りを放つてゐる

何人にも喜ばれる映畫だ、特に洋畫を見つけた人からは絶讃を得るだらう、問題はオペレット映畫であるだけに解說に特別の注意を拂つてほしい、峰一路の努力に期待する—S—

(寫眞中央がリリアン・ハーヴエーのクリステル)

十六日より封切・あの粹な、洒落な、明るい、そして今開いた花の香りのする桃色映畫……　チャーリー・ラッグルス氏主演　リリー・ダミタ孃……　●その夜●　ナポレオンの狂人が飛び出してお腹をよぢらせる爽快な笑劇!　エドマンド・ロウ氏・クロデット・コルベール孃主演　百米戀愛自由型　この二つの封切映畫を並べて極くあんちよくに笑つて頂きます　階下席三十錢　**常盤座**

十三日より五日間　W・Eオールトーキー　母の微笑　中田弘二・山路ふみ子・深水藤子・共演　P・C・Lオールサウンド版　澤村國太郎・市川百々之助共演　浅太郎赤城颪　喜卦谷君に訊け　料金　階下五十錢　階上七十錢　**日活館**

●十二日公開●　P・C・Lオールトーキー　河向ふの青春　メトロ社特作同發聲日本版　ローレンス・チベット主演　キューバの戀唄　ジョン・フオード監督日本版　ウオーレス・ビアリー主演　肉體　階下……四十錢　**帝國館**

月形龍之介・森靜子主演　天保水滸傳　歌川八重子・主演　荒木忍・鈴木勝彦　母三人　ミス・ダイナマイト　●十一日より　●豫告篇　三十錢　**映樂館**

九日より十五日迄上映　オール・サウンド版・十卷　大學の若旦那　藤井貢・水久保澄子・主演　逢初夢子・光川京子・助演　市川右太衛門・歌川絹枝の　秋葉の草三　特別上映　鄭特使來朝の實況　階下三十錢　**中央館**

十三日より　捨賣百兩笠　海江田譲二・木下双葉・日宮乙女　原作山本三八・監督吉村操　朗らかすぎて　佐久間妙子・小川國松共演　江藤新平　松林清三郎・久野あかれ主演

十三日より十五日まで　オール・サウンド版十卷　大學の若旦那　藤井貢・水久保澄子・主演　逢初夢子・光川京子・助演　市川右太衛門・歌川絹枝の、秋葉の草三　特別上映　鄭特使來朝の實況　料金二十錢　**第二松竹館**

ミツワ文庫

都會の子は腺病質 田舎の子は榮養不良

▽……二十歳頃には肺結核?

文部省の調べによると、全國の小學校兒童が九百五十萬人ある中、榮養不良、腺病質、體重不足等の虚弱兒童は九十萬人、即ち十人に一人の割合でありますが、特に都會の子供には腺病質が多く、又田舎の子供には榮養不良が多い。そこで之等の十四五歳の虚弱兒童達をレントゲンで檢査して見たら、大部分は肺門(肺臟の入口)を結核に冒されて居り、尚統計の上から見てその三分の一は二十歳頃に肺病で斃れるのだと云ふゾッとする樣な報告ですが、それを早く注意して最も適當な豫防手當をすれば、病菌に對する抵抗力が強くなり、肺結核にならないで濟むので、それにはヴイタミンAとDと燐・カルシウム・鐵、キナ、酵母等の綜合榮養料ミツワ肝油ドロップスを用ひて虚弱體質の根本的改造を計るのが一番だと云はれて居ります。

服み易き肝油製劑に就いて

醫學博士 原田退治氏

吾人の榮養には、從來から知られて居る蛋白質、含水炭素、脂肪、無機鹽類、水等の他にヴイタミンなる要素が絶對的に必要――換言すれば吾人の成長、生命維持、健康增進の爲めに絶對的に必要である事が、此二十數年前から闡明せられました。

而して此ヴイタミンなる要素にも、其後の研究によつてA、B、C、D、Eそれぞれ各異つた性質や働きを爲すものがある事が、次々に發見せられて來たのであります。

さて肝油が榮養劑として、昔から古き歷史を有する事實も、從つて即ちこのヴイタミン、特に其AとDとを多量に含有するが故である、といふ事も明かと成つた譯であります。

即ちこの肝油の有效成分のうちヴイタミンAは、人體の發育保健上に絶大の機能を發揮するものであります。つまり動物の成長に絶對的に必要なる要素であつて若し之を全く含有して居らぬ食餌でもつて、生長しつゝある動物を飼養すれば、其成長速度は次第に運れ、遂には成長は中止してしまひます。そして體重は漸次減少し、諸種の傳染性疾患に對する抵抗力は非常に減殺され、結果は色々の疾病を起こして遂には斃れてしまひます。

然も斯樣に榮養障害を起こして成長は停止し、諸種の疾病に罹り易く成つたものでも、再び之にヴイタミンA劑を適當量に供給しますと、此病的狀態は恢復して、成長は促進せられ健康は增進して、潑剌たる元氣に成ります。

又夜盲症、眼乾燥症等の原因も此ヴイタミンA缺乏が主因であり從つて之等のものにヴイタミンA劑を服用せしめますれば回復し得るものであります。

總て之等ヴイタミンAは肝油中に多量に含まれて居るのであります。

次に之も亦肝油中に多く含まれて居るヴイタミンDは、Aと同じく脂肪溶性ヴイタミンとも云はれて、特に彼の佝僂病の豫防、或ひは治療に效力を有し、其他の無機鹽類の新陳代謝障害や、齒牙及び骨骼の發育不良等を防止する榮養素であり、元來ヴイタミンAと共に存在する場合が多くあるのであります。

即ち肝油は前記の如き特色を有し、榮養の增補を目的とする強壯料として、一般に虚弱者等に對して甚だ賞用せられ居ります事は今更云ふ迄もありません。が然しただ其缺點とする所は油狀なるが爲め、又特殊の厭ふべき臭味あるがため仲々飲みにくき嫌ひあるばかりでは無く、兎角消化不良を來たし易きを以て、よく其效果を見るに至る迄連用し難き場合甚だ少なからざるを遺憾とします。

然るに茲にミツワ肝油ドロップスなるものあり、頗る美味にして服用は容易、大人は勿論小兒に至るも喜んで服用し得られる事實は他に斯くの如き肝油製品を見ないのであります。而も歐米藥用肝油に數十倍のヴイタミンA、Dを含むミツワ濃厚肝油を原料とせるものでありますから、從つて同樣ヴイタミンADを強大に含んで居る事を信じます。矢張河合藥學博士の創製品であります。

更に此ミツワ肝油ドロップスには燐、カルシウム、鐵、キナ及び酵母ヴイタミンB等をも加へて、所謂乳化したるものでありますから、消化や吸收も甚だ宜しく、故に榮養不良、發育不全、虚弱、結核性素質、腺病質の人、眼や齒や骨の惡い人、其他等々には勿論、尚より以上の健康を欲する人々には理想的肝油製劑と云つて、決して過言では無からうと考へます。

(家庭醫事新報第二〇四號より轉載)

鐵骨コンクリートの樣な

ガッシリした體格に子供を仕立てたい

學校の出來ない子、勉強する割合に成績の良くない子、顏色の冴えない人、元氣の無い人、精力の續かぬ人、疲れ易い人、感冒を引き易い人、御馳走を食べても肥らぬ人、近眼その他視力の弱い人、齒の惡い人等は總て體質に大きな缺陷があるのです。そうした弱い體になる原因は、或る肝要な榮養素が不足して居る爲に體の榮養が不釣合になるからで、早く其不足の榮養素を補へば

完全な體質に改める事が出來るのであります。處で右に述べた樣な體質の人には何が一番不足して居るのかと調べて見ると、それは各榮養素の新陳代謝を司るヴイタミンAとD及び骨や腦や肺、心臟等の組織の養分たる燐とカルシウムと鐵等が不足なので、之等のものは元來食物の中に含まれて居る筈なのが、近代人の食物には不幸にして其最も大切な榮養素が缺乏しつゝあるのです。それ故

肉類 野菜、果物とうまい物をいくら食してもヴイタミンAが無ければ體の養分と化する事は出來ず、又燐やカルシウムや鐵等は單にそれだけ體に入れたのでは何の效果も無く、ヴイタミンDがあれば始めて養分と化するのです。中にはカルシウム等は效かぬ樣に思つて居る人もありますが、それは用法を誤つて居るからで、最近外國の或る大學の研究では「血液中にカルシウムの豐富な時には

快活で樂天的で幸福な感情になり、反對にカルシウムの少い時は打ち沈んだ憂鬱な悲觀的な感情になる」と發表して居るのを見ても其重要さが解る筈です。つまり以上述べた各榮養素が一緒に働く時に始めて完全な榮養效果が現はれるので、此學理に基き河合藥學博士發明のヴイタミンAとDの含量最高(歐米藥用肝油の略五十倍)のミツワ濃厚肝油に、右の燐、カルシウム、鐵及び

胃腸を強壯にする規那、酵母ヴイタミンB等を乳化配劑してあるのが即ちミツワ肝油ドロップスでありますが、之は肝油其他の原料が完全緻密に乳化して居るので乳を飲むと同樣に消化吸收良く胃腸を害せず、その上美味しいお菓子になつて居るから子供は勿論誰でも悦んで食する理想的榮養劑(一粒は普通肝油四瓦相當)で、常に之を用ふればヴイタミンと他の榮養素との共同の工作によつて榮養が完全になり、體質の

缺陷が補はれ、各組織の機能が旺盛になり、抵抗力が強くなつて、感冒を引かぬ樣になり所謂蚤も喰はぬ頑健な體質に改造されると云はれ、多くの醫大家も推奬して居られます。

ミツワ肝油ドロップスは三十粒小罐入定價六十錢、五十粒入壹圓貳拾錢、百廿粒入貳圓貳拾錢、三百粒入四圓五拾錢で、全國有名藥店、百貨店及び和洋酒食料品店、雜貨店等にありますが、萬一品切れ等の節は賣捌元の東京日本橋區米澤町ミツワ石鹼本舖丸見屋商店藥品部へ注文せられたし(送料不要・郵券代用三圓以下可・東京市内は一罐一壜でも配達)

文獻說明書、及びミツワ肝油ドロップスの見本品、新聞名を記し御申込次第進呈

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價　一ヶ月金一圓二十錢　一部金五錢　郵稅金十五錢
廣告料　普通行金一圓三十錢　特別行金二圓六十錢　場所指定二割以上加算
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛

發行所　大連市東公園町卅一番地　株式會社滿洲日報社　振替口座大連六〇番

林陸相の留任により政局はひと先づ安定

政府、三大政策に邁進

【東京十五日發國通】林陸相の辭任問題に關し政府はその成行を極度に重視し殊にこの問題の歸趨が政局に影響を及ぼすことの内容を極力警戒すると共に辭表の取扱についても愼重を期し先づ陸軍側の意向決定を待つて善處する方針を持して來たが三長官會議の結果、林陸相が遂に意を飜へし留任するに至つたので漸く安堵の色を浮べてゐる、殊に林陸相に絶大な信用が集まつてゐるので同陸相が留任を見ることになつたのは政局を更に安定ならしめるもので政府は曩に決定した三大重要政策に向つて邁進せんことを期してゐる（寫眞は林陸相）

林陸相語る

【東京十五日發國通】留任に決した林陸相は語る

私は辭任に決し爾來謹愼中だつたが更に思ふ所あつて陸相として御奉公を繼續することに致しました、世間を騒がせたことに對しては誠に恐懼してゐます

齋藤首相談

【東京十五日發國通】陸相留任に關して齋藤首相は左の如く語つた

只今林陸相が來られて留任の意を明かにされた、寔に國家のためにも非常に喜ばしいことだと思ふ、今回の陸相の辭表の取扱ひに就ては明日にならなければ申し上げることは出來ない、併し明日宮中の御都合を伺つた上參內致す積りである

齋藤首相に留任報告

きのふ三長官會議結果

【東京十五日發國通】十四日午後御歸京遊ばされた閑院參謀總長宮殿下には御歸邸後直に林陸相を召され御懇諭遊ばされ更に十五日朝眞崎總監、植田次長を陸相官邸に赴かしめ陸相を御說諭あらせられたが林陸相の辭意依然堅固なるものある爲め愈々三長官會議を開き陸軍の正式意見を決定することゝなり、林陸相、閑院參謀總長宮殿下眞崎敎育總監の三長官會議は十五日午後一時より陸相官邸において開會、林陸相がこの際意を飜へし留任するやう懇留に努めた結果陸相は遂に飜意に決し一時四十分散會した、よつて林陸相は二時半齋藤首相を訪問、留任するに至つた事情を報告諒解を求めた

【東京十五日發國通】三長官會議に於て留任に決定した林陸相は十五日午後二時二十五分齋藤首相を四谷の私邸に訪問陸相より

自分は一身上の都合に依り辭表を提出し只管謹愼中でありました、世間をお騒がせしたことに就ては申譯ありません、然るに今日三長官會議に於いて閑院參謀總長宮殿下より御懇篤なる御言葉を賜り眞崎總監よりも極力留任を勸められたので遂に意を決し陸軍大臣としての御奉公を繼續することになりました、仍つて辭表は然るべく御取計ひを御願ひする

と述べ留任の次第を報告したるに對し、齋藤首相は

陸相の留任は國家皇軍の爲め實に慶賀に堪へない、今後とも宜しく御願ひする

と答へ種々懇談を遂げ同四十五分辭去した

首相參內經緯奏上

【東京十五日發國通】齋藤首相は十六日宮中の御都合を伺つた上宮中に參內、林陸相は一身上の都合により辭表を提出されたが陸軍一致の懇留によつて飜意留任された經緯を詳細に奏上、種々御下問に奉答、退下の後首相の手許にある辭表は直に林陸相に返戻する筈である

陸相問題では園公も憂慮

近衛公會見後語る

【興津十五日發國通】西園寺公を訪問した近衛文麿公は老公と會見後左の如く語つた

渡米のことに就て西園寺公にお話し申し上げた處老公は外國から日本の姿を見ることは誠に結構なことだが氣候が變るから餘

滿洲鉄道早廻り競走

西と東とに分れて兩選手初めて休養

今朝更に長驅北上

【奉天特電十五日發】鐵路總局内早廻り競走兩班作戰本部はレース始まつて以來初めての日曜と紅班コースの變更で一と息の態となり殊に兩班の走路は治安定まり運轉系統の自治布かれた總局の經營線をまつしぐらに走ることになつたため兩班相談役は總局內事故係に運轉故障を問合はす程で久しぶりに休養をとつた、奉吉線に入つた紅班河村選手は好晴に惠まれた鐵道をひた走りに午後一時三十分には梅河口着、豫定の如く西安線に乘換へて炭都西安に夕刻到着したが同選手は滿洲國の二大炭坑、北票、西安を訪れたことは奇しき因縁といふべきであらう、大虎山から大鄭線に入つた白班吉田選手は曾ては滿鐵の並行線として日支紛糾の一原因をつくつた線を感慨深く走破したが同選手また夕刻には通遼に着き期せずして兩班選手は不完全ながらも十五日夜は旅舍に疲れを休めることゝなり、十六日早朝には兩選手とも元氣を倍加、河村選手は西安線を下つて更に吉林に向ひ、吉田選手は四平街へさと見られてゐる、兩班の走破狀況左の如し

紅班（十五日午後五時現在）走破粁數一九一四、九

白班（十五日正午彰武驛までの現在）實走粁數二八〇七、八　走破粁數一八七六、一　實走粁數二五九〇、三

滿洲情景の只中こみあげる不安

十五日大虎山にて　吉田白班選手

安奉線を走破し午後十時五十五分奉天驛着サインを受けた後奉山線奉天大虎山間百三十三キロを征進すべく同五十五分山海關行列車に飛び乘る、闇が緞帳のやうに重く展がり行手は眞暗だ

時速　三十五キロ、列車は大陸的な走行を續ける、車窓遲送の何者もなく僅かに汽車の動揺につれてダイヤを撒き散らしたやうな星影が神秘的なまたゝきを續けてゐるのが見える、思ひ出したやうに停まる驛には、滿洲國の兵隊が銃劍付鐵砲を小脇に寒さうに立つてゐる、滿洲氣分の滿ちた列車內で東西南北をさへ語り得ぬ記者は流石に淋しく心もとなさが足下から這ひ上つて來るやうだ、新民で十二名の日本兵がドカドカと乘込んだ、何だか頼もしく感じて氣が強くなつた、安心したせいかごうもまぶたが仲良くなりたがつて仕方がない、隣席で

頭を　青く剃り上げた滿洲人が二名、大陸的な鼾聲をみせてゐるのが羨ましくなる、かくて列車は午前二時五十分大虎山驛に到着、驛長室に招かれ眞夜中の靜寂の中でペンを握る

重ねぐの光榮に感激して職に當る

新京にて若山本部隊長談

【新京特電十五日發】若山本部隊長は十五日夔州關東軍司令官に着任の申告後午後二時より軍司令官々邸にて在京記者團を引見大要左の如く新任の感想を語つた

滿洲は日露戰爭の時第二軍に從軍して出征したが南山の戰ひに不幸にも第一に負傷し、殘念ながら

內地　に歸還した、今より考へて十七年前一度來滿したことがあるが、想像の如き變化がないやうに思ふ、今回畏くも吾々は大元帥陛下より滿洲派遣の大命を承け、優渥なる御言葉を賜りたることは洵に光榮至極である、名古屋出發に際しては閑院宮殿下より有難きお言葉を頂戴仕り更に〇〇港においては畏くも侍從武官の御差遣を蒙り重ねぐの有難き御沙汰に將兵一同光榮に感激してゐる次第である駐滿の決心としては皇道を滿洲に布き

皇德　を披瀝して東洋平和の確立を計りなほ又滿洲國の治安維持に貢獻したい、考へてみるに滿洲國皇帝は天意をもつて皇位に卽かれ國礎ますぐ鞏固に今や治安は確立、產業は開發されて前途洋々たるものがあるがこの滿洲國に派遣された我々は光榮この上もなく殊に前駐滿廣瀨〇團の武勳赫々目出度凱旋するその後を承けて駐滿する我々はその責又重且つ大である、併し自分の部下は平素訓練もよく出來てゐるから或る程度までの自信は持つてゐる、この點部下も深く決心してゐるから今後皆さまの御後援と相俟つてますぐ成果を擧げたいと思ふ、幸ひ廣瀨〇團長とは同期生で

親密　の間柄であつたから忌憚なく事務の引繼ぎも出來ることゝ思ふ、我が第〇團も廣瀨〇團の如く完全な治安確保ができるものと思ふ、安心して一任されたい、滿洲は寒いと聞いてゐたので名古屋を出發する時厚着をして來たが來て見ると何だか滿洲の方が暖いやうな氣がしてチヨッキ一枚不用になつた

なほ若山本部隊は十六日午前八時新京發列車にて各幕僚とともにハルビンに向ひ懷しき同期生廣瀨〇團長と久方ぶりに會見し事務の引繼ぎを爲すこととなつた

殿下の御意思植田次長傳達

【東京十五日發國通】植田參謀次長は十五日午前九時四十五分閑院參謀總長宮殿下の御召しにより宮邸に伺候、殿下より眞崎敎育總監よりの御報告要旨を承はり同十時五分退出、同十時十分陸相官邸に林陸相を訪問、前に訪問してゐた眞崎敎育總監と共に全軍一致留任を要望してゐる實情並びに宮殿下の御意思を傳達懇留に努める所あつた

文相補充劇　幕合の騒ぎ

騒いでみんな立往生

◇…文相補充工作が停頓した。普通の內閣ならば、面目問題もあり、政治的責任上ゐたゝまらぬのであるが、そこは天下御免の變態さを示したのであるが、今度こそは全く手をやいて、本來のスローモーションで根氣よく時の力に解決を俟たうとする。これが現內閣の正眞正銘の地金であらう。

◇…明鏡を曇らしたとか、止水を攪拌したとか、文相に政黨出身者を入るべからずの建札をしろといはぬばかり、官僚及び一部の學者連が騒ぎ出した。齋藤首相及び其の唯一の幕僚長たる堀切善次郎君は之を天下の輿論なりと見て、現閣僚中より何人かを文部省に廻し、その後釜へ政友會から入れる計畫を立て、後藤、南、松本の三相の意を內偵した、ところが後藤氏は鬼門の農林より文部の方が一層難しいと先づ固辭し、南氏は君子危きに近よらずとばかりに先手を打つて御免を蒙り松本氏は「僕は昔大酒を呑んで交番の厄介になりかけたことがあるから文相は勤まらぬ」と手を振つた。さころへ政民兩黨方面から「政黨人は文相になれないなどいふべラボーな理窟があるか、それならコチラにも覺悟がある」とのデモが來たので、そこは明鏡止水ならぬ行雲流水極めてケロリとした齋藤子のことだから、二の椅子の異動方針を斷念して、文相直接補充方針に轉換した。

◇…それまでは好いとして、その次の手段で又途方もない錯誤を生じた。といふのは政友會の黨議を頗る複雜と見て、之れは政友會總裁に正式に談判するより目ざす本人に直接交渉する方が政友會にも却て好都合であらうなど、ガラにもなくよけいな氣を廻したことである。乃ち堀切翰長に相談するとあるが、兄をさし措いてなるわけに行かないとて、令兄の堀切大藏次官を推すこととなつた。此の人ならば政黨人でも全く黨色がない人物であるから、その意味では適任かも知れず、まことに齋藤、堀切合作らしい人選であるが、何うみても政友會代表の意味はなく、殊に弟が兄を推薦して交渉するなどといふことは、手順としても甚だ妙なものだといふわけで、弟は兄きに一喝されて引込み、高橋藏相の勸說に對しても「私はアナタを輔佐することが大臣たる以上の重大任務である」と斷つて、高橋翁をホロリとさせ、さすがにやはり兄きは弟より役者が上だと世評をよくした。

◇…此の顛末を知つて政友會は憤怒し、對政府絶縁論が盛に唱へられた。もはや久しき忍從を破つて起ち上らねばならぬ秋だと叫ぶものも出て來る。しかし胸に手を當てゝ冷靜に考へて見る段になると「文相問題だけにこだわつて絶縁するといふことは一向理由をなさない、政黨は政策が生命である。閣員を出す出さぬなどは末梢的である筈だ」といふ意見も現れる。殊に今日此の內閣を倒して政友會內閣の出現する可能性は絶對にない。のみならず政民聯携を基礎とする工作も、議會中の側の暴露戰と共同決議案の不調で當分望みないものとなつた。西園寺公が齋藤子の辭意を慰撫して、更に一層の努力を熱望した意義を周到に考へなければならぬとなると、政友會の絶縁論は忽ちヘナヘナとなつて了ふ。

◇…以上の經過と理由とにより今後の豫想を要約すれば、齋藤首相はさりげない態で近く鈴木政友會總裁に對し、文相候補者の推薦を相談するであらう。之に對し政友會は應諾する他はない。そして此の內閣は或る期間存續する——七月までと見るもの、九月までと見るもの種々あるが——果して何時まで續くか何人も判らない——勿論齋藤首相自身も。（東京支社一記者）

齋藤部隊着哈

【ハルビン十五日發國通】廣瀨〇團と交代の第二次先發隊〇〇〇名は齋藤〇隊長指揮の下に十五日午前九時十五分威風堂々拉濱線濱江驛に到着した

先發隊着哈

【ハルビン十五日發國通】數々の武勳をたて近く凱旋する廣瀨部隊と交替し北滿の治安維持に當る若山部隊の先發隊〇〇〇名は廣瀨〇團の將兵及び在留日本人官民多數の盛んな歡呼に迎へられ十五日午前七時二十分拉濱線濱江驛に到着將兵の士氣極めて旺盛である

日本に頗る不利な伯國の移民制限案

議員百卅名より提出

【リオデジヤネイロ十四日發國通】ブラジル國の新憲法草案に對し各議員より提出さるべき修正案の期限は愈々十四日を以つて滿了したが滿了の直前に至つて問題の日本移民を始め各國移民を制限せんとする修正案が提出され各方面に多大のセンセーションを起してゐる、右修正案は各國よりの移民割當を毎年過去五十年間に同國に入國した移民總數の二パーセントに制限せんとするもので同案は百三十一名の議員の署名を得て居り若しこれが採擇されゝば既に多數の移民を送つてゐるイタリー、スペイン、ポルトガルの諸國に對しては極めて有利となり之に反し從來の移民數が少くこれより多數の移民を送らんとする日本に對しては重大な打擊を與へるものとして成行は頗る憂慮されてゐる

不承認原則內で對滿問題解決

支那側の北支善後策

【天津十四日發國通】天津の支那側某方面に達した黃郛氏からの電報によれば南昌會議の結果蔣介石汪精衛兩巨頭は黃郛氏の建言を容れて通郵、通車問題を滿洲國不承認の原則を傷けざる範圍に於て解決することに決定したと

支那へ留學

【東京十五日發國通】東亞同文會では今回全國から十名の少年を選拔支那留學生として派遣することゝなり一行は二十二日午前十時東京驛發、二十五日神戸出帆渡支することになつた、これ等少年は井上伸一君始め何れも十四歲の少年でその中三名は天津中日學院に、三名は漢口江漢中學校に入學し十二年間に支那の大學を修業し六年間義務年限として希望の就職をせしめて徹底的に支那を理解せしめることになつてゐる

比島獨立案の特別議會召集

【東京十五日發國通】十四日在マニラ木村總領事より外務省に達した公電に依ればフイリツピン總督は十二日ザブギオに於て比島獨立のタイジング・マクダフィ法案の諾否決定の爲め特別議會を四月三十日マニラに召集の旨總督府令を發した、而して右議會は獨立法案の承認後に於ける憲法制定會議の代表選擧の規定及びその開會時日並に經費等を審議するものである

鄭、熙兩特使一行詩境宮島を訪問

熙特使、廣島發朝鮮へ

【宮島十五日發國通】鄭、熙兩特使一行は途中廣島で大歡迎を受け午後五時三十五分宮島着、驛頭には小磯第五師團長、湯川廣島縣知事及び東上の途道を曲げた岡村關東軍參謀副長等珍しい人々が出迎へた、殊に小磯師團長は展望車に乘込んで行つて鄭特使の手を固く握り熙特使とも固い握手を交した 一行はそれよりモーターボートにて夕闇迫る內海の絶景を賞しつゝ嚴島の宮島ホテルに投宿、午後七時より小磯中將の招待で岩惣に於ける招宴に臨んだ、尙ほ熙特使一行は都合により豫定を變更十六日午後五時三十分宮島發、同夜の關釜連絡船にて釜山に向ひ十七日午後五時京城着一泊十八日午後九時十分京城發十九日午後七時三十分新京着のはずにて安奉線經由歸京の豫定である

鄭總理語る

【廣島十五日發國通】詩境嚴島の花を訪れた鄭總理は宿舍岩惣旅館に於て語つた

來朝以來各方面の熱誠なる歡迎には何とも御禮の申上げ樣がない、東京では美しい日本の櫻を見せて頂き度いと思つてゐましたのに櫻には早く却つて雪見をしたといふ有樣で非常に淋しかつたのですが京都、大阪、神戸、嚴島と段々關西に來るに連れ花が見られ非常に嬉しかつた、宮島は初めてゞ美しいとは聞いてゐたが本當に繪の樣に綺麗な所で非常にくつろいだ氣分になつた、神戸には若い時長く遊んでゐたが今はもうおみかけの如き老人で花を見ても詩を作る樣な元氣は無いよ

岡村參謀副長きのふ門司着

【門司十五日發國通】關東軍參謀副長岡村寧次少將は參謀長會議に出席の爲十五日うらる丸で門司着語る

支那資本の滿洲國流入が最近非常に增加してゐる、大資本は種々の關係で表面には現はれないが小資本は著しく目立つてゐる、この傾向は將來益々顯著になるだらうから日滿の經濟統制は結局日滿支の經濟ブロックにまで進むべき必然性を持つてゐる

竹森總局主任

鐵路總局貨物主任竹森男氏は拉濱線開通につき內地商工業者の認識を新にすべく過般來東京大阪の兩地商工業者と折衝、實情を紹介中であつたが十五日入港うすりい丸で歸連、船中語る

京圖線とハルビンを結ぶ新線拉濱線が開通した後も尙は內地荷主側では種々の不安の念にかられてゐるので拉濱線並に京圖線の實情とその他これに關連した運送問題につき認識を新にしてもらひたいとの趣旨から東京では日本商議大阪では大阪商議が中心となり集つてもらひ座談會の形式でいろいろ商工業者と意見交換を遂げ實情を諒解していたゞいた、これで今迄の種々の不安も解消するに至り拉濱線の利用者が著しく增加するであらう

ソ聯商船購入

【ハルビン十五日發國通】モスクワ來電に依ればソ聯はこの程ノルウエー、フランス、イギリス、オランダ各國より商船（總噸數六四三五〇噸）を購入したと

儀我大佐歸任

【奉天特電十五日發】山海關特務機關長儀我大佐は來奉中であつたが十五日午前十時廿五分奉山線で歸任した

人事

▲石本憲治氏（滿鐵總務部長）十六日午前七時四十分着列車にて歸任の豫定
▲鵜澤中佐（關東軍參謀）十五日午後四時二十分發列車にて北行
▲河內志郎氏（黑龍江省公署警務廳長）同上
▲田邊秀雄氏（關東廳學務課長）十五日午前七時二十分着列車にて歸連
▲中田少佐（大連商業配屬將校）同上
▲奈良少佐（大連一中配屬將校）同上
▲山田彥一氏（滿鐵經濟調查會調查員囑託）十五日午後七時半着列車にて來連

滿洲鉄道早廻り競走

默々拳銃を調べる 不氣味な北票朝陽間

營口にて白班選手 寺島憲二

遼西の要地錦縣に着いて北票に向ふこれ奉山線コースの雛、鐵道愛護村長のマークを胸に附けた驛長等が發車の合圖をしてゐたこの北票線は線路のためにスピードは餘り出ない、朝陽に向けて出發の列車だ、口北營子に着く頃からボツボツ暗くなつて來た、驛はランプで薄暗い、驛舍と云つても等數のない位、それが職制改正で急に二等驛位に仕事がなつたのだから物凄い忙しさだ、破れ服に、宿舍はない實に涙ぐましい奮闘振りである、錦縣に辨事處が出來ても宿舍難で人々は寢臺車や公事車（これは給料俸給等の金錢を方々に運ぶ爲に作られた車）に寢泊りして居る、口北營子で四十分間も暗い驛員室のストーヴで煖を取る、眼の廻る樣な忙しさで山海關着前に朝食を取つた限りでタマラなくひもじい、三等車も滿員で寒い、郵便車に錦縣から附添つて來てくれた計良氏と乘る

北票に着いたのが八時二十二分通過證明を取り十四時間振りで夕食を攝りに驛長の案内でカフエーに入つた、食事後直に今コースの大難關たる北票朝陽間の夜間突破を決行する、總局バスがエンヂンを掛けて待つてゐる北票の關係者中に紅二點が……路警二名と北票から特に自動車係の田邊氏が同乘一行六名「萬歲」に送られて出發した、國道建設局で建設した道路で朝陽まで四十キロ、大凌河上流の河中を走る、車內は消燈したゞヘッドライトのみ白く前方を照らしてゐる、砂地は丁度沙漠の樣に眞白に光つてゐる、上流の部落民は匪賊に化し時々襲撃せんとする故とて田邊氏は懷中電燈で拳銃を調べてゐる、一同默々として聲もない、何とも云へない暗黑の不氣味さ！ たゞライトの光が一條走つてゐるだけだ九十九折と云ふがそれを縱に云ひたいやうな丘、谷、平地の連續でライトの前横に谷が眞黑な口を開いてゐる、凌河の淺い流れを水中を走る橋梁を渡る、道路は？內地に於ける三、四等級だ、けれど國道は一等道路である、角ばつたバラスの道、パンクが恐怖だ、パンクと匪賊を連想してそれ許が旅大道路のドライヴと比較するやだ、頭は天井にぶつかる、背や腰は痛い、市中を運轉するタクシーの運轉手は全然使ひものにならないと云はれる位の道、鐵道數時間以上の疲勞を覺える、筆舌に盡せない不安の一時間數十分、朝陽の灯を見たときには「能く來れたナ！」と感ずる位にガツカリ、又安心もしたのだ、

朝陽に着いて一泊、もう十一時を過ぎた頃、原稿を書き出したが疲勞と睡魔で何事も手につかない、寢つかうとした頃、宿舍の臨檢で隣室の唯ならぬ聲に妨げられる、熱河の花、それは罌粟ではない娘子軍だ、その熱河に進出する一行と泊り合せた不運、嬌笑に惱まされ、寢についたと思つたらもう五時、出發だ××に……文字通り不眠不休に近い……

朝まだき朝陽を發し再び錦縣に出る、昨夜決行した決死的？兩北票朝陽間突破の疲勞が回復して居ない「今日は紅班が來るぞ！」と言ふ噂が盛ん……佐野選手來るか？と思つて急行列車（山海關行）を見たが見當らなかつた。人々の幾日掛りますかとの豫想の間に惱まさ逃げの手にもすつかり馴れてしまつた、前夜來生死？を共にして膽玉を縮めた計良氏に別れた、同じ辨事處の松崎氏が奉山線內は當線區域だとあつてわざ〳〵同行して溝幫子に向ふ、途中大凌河站で過ぐる七年一月廿五日一千名の匪團に守備隊が襲はれ遂に激戰に陷れた中村四郎大尉の戰死せる箇所中村神社を參拜して營口へと——

昨夜旅舍に於て熱河の花の笑聲臨檢に惱まされた記者は盛んに睡魔に襲はれ「つらい〳〵」とつく〴〵昨夜を呪つた、事變當時盤山で裝甲車が敵裝甲車と應戰砲擊戰を續けつゝ擊退したといふのを夢の中に考へた、盤山驛構外に日の丸を立てた墓標がある、能く見ると故富塚習一郎之碑と記されてある、唯一つこの僻地に建てられた墓標、地下に眠る英靈に淚が出る、尊い血で育みそだて守つたこの滿洲！記者はこの英靈に安らかなれとしばし默禱した

鮮農の耕作を車窓より眺め臘の浮き出てる耕作不適地を過ぎ遼河下流に沈み行く赤い夕日を眺め奉山口に着し滿鐵ランチを特別に借り關係者の歡迎裡に滿鐵營口に着いた、滿日支局長の招宴に紅を添へた寫眞を撮影後臨み、始めて朝陽以來の氣分を轉換？、意氣揚り朗かに豫定コース第二難關突破に向ふ

冬眠から醒めかけ ざわめく營口埠頭

營口支線にて紅班選手 河村好雄

營口 夜中の三時過ぎに着き夜明けの六時に發つた記者に營口を語る資格はないが、淸の咸豐十年（萬延元年、一八六〇年）天津條約によつて開かれたこの港に今は何處を尋ねても滿洲最古の開港場のおもかげの片鱗さへうかゞひ得ないことは哀しむべき事實だ、勿論後から開かれた大連にその地位を奪はれ南滿三港の一として大連に次ぐとは言へ十年一日の如く何等の發展性も見出し得ないことは多くは地理的原因によるのであらう、居留の日本人は三千人前後その生活狀態も初步の植民地的範疇を出ない

遼河 蒙古の高原に源を發し常に濁水を湛へて營口と河北の間を貫ぬき渤海灣にそゝぐ遼河は、營口より鄭家屯まで戎克が通ひ滿洲を縱走する鐵道の敷設前は北滿貨物の殆んど全部を吸收した大交通機關であり、現在も尙ほ營口輸出貿易總數量の四〇%以上を輸送してゐる、只水流があるのみならず河口に於ける干滿の差甚だしくそのためかなり上流まで逆流を生じ、甚だしきときは數十町上まで帆船を押し流すこともあり、これ等の不便により遼河水運の利用は漸次その範圍を狹められてゆく傾向がある、併しながら記者が訪れたときは南に（河口の方向に）並ぶ十三碼頭に三月下旬の解氷開河を待つて入港した十數隻の汽船が繫留してをり、冬の間全く活動を停止する營口埠頭にも初春のいぶきが感ぜられ春から夏秋へかけての發展に意氣込んでゐた

河北 河北の港は奉山線が東三省政權の直營であつた時代、滿鐵營口と對抗すべく葫蘆島の補助港として活用する計畫であつたので、港灣施設のためには相當の經費を投ずる心算であつたらしく、この意圖を覗ふ一端としては擧良碼頭の如き好例であつてその計畫が如何に大きかつたかゞ知れよう併しながら今日に於ては水流による泥土の堆積が河北碼頭を淺くし舊碼頭及聯絡船碼頭の如き最も淺く、小型汽船の繫留さへ困難を感ぜしめ只擧良碼頭の一を用ふるのみの狀態である

營口支線 河北營口驛より溝幫子に至り奉山本線に合する營口支線沿線は馬賊の發祥地の如く昭和六年末より昭和七年初頭へかけての皇軍進出に際してもこゝを衝いた天野旅團は執拗に頑强な抵抗を續ける敵匪と數次に亘る激戰を演じ殆んど殲滅したかの如く見られたが、その後尙ほ央人拉致事件その他各地に蠢動して後を斷つたとも見えない、列車の運行狀態は同線が鐵路總局の手に移り四月一日更に職制改革されて以來、發着の遲延すらなく完全に行はれてゐるこれは全く總局の鐵路愛護村の政策奏效と現業員の努力の賜であらう

滿洲の鐵道は權力ではなく民衆との融和によつて始めて整備し正しい發展の道を辿ると言ふ結論を得た總局が、あらゆる點においてこの點を考慮に入れその一手段として選んだのが鐵路愛護村だ、鐵道と附近の村と連絡をとり鐵道事故を防止し或は豫め匪賊の襲擊にそなへる等、沿線の人々を利用する代り鐵路總局ではこれ等の部落に對しては特に醫者を派遣して無料診斷を行ひ衛生思想を普及せしめる外或は糧耕の種子を無料にて與へて收穫の向上を計り、或は豚、羊の種を配給して品種の向上を計る等一面鐵道事故防止に利用しつゝ他面住民の生活程度の向上を計るといふ一石二鳥の妙案である

この運動は既に實行に移し全滿中奉山線（奉天—錦縣間）が最も良好な成績を示してゐるとのことであるが、何分相手は全く無智な滿人であり、偶には賊位動きかれない住民なのだからなか〳〵一時にどうとはゆくまい只現在活動寫眞班、慰安隊等の宣傳が効を奏し先づ初期として良好の成績を舉げてゐることは事實だ、鐵路總局がこの成績に俟つところは即ち約八百人の路線警備の滿人に與へつゝある最も不生産的な人件費を生かすことである

早廻競走畫報 （上）錦縣驛における河村紅班選手迎への人々（下）新京飛行場を出發する吉田白班第二走者と寺島第一走者との握手

八相

五十行以內 中傷はさらず 投書歡迎

憐む可き彼氏

隣席の人

◇或る晩某映畫館の一出來事であつた、僕の隣席に一人の男性が居つた、形だけは洋服姿の紳士然とした人であつた、映畫が始まると心ある人々は申合したやうに帽子を脫いで後の人達のためを思ひやつた、彼氏は人並以上の背高であつたが別に帽子も脫がうとはしなかつた、ニュー

タバコをプカプカやりだした、僕も愛煙家の一人であるが隣席から煙をむく〳〵出されると、まるで自分でも吸つてゐるやうに思はれてならぬので僕の方へ流れて來る煙は反對に吹き返してやつた。

◇時代劇の一卷が終つた頃は場內のこゝかしこから煙が濛々と立ち上つた、何の爲めの番號付椅子やら、喫煙室までわざ〳〵吸ひに行く素直な人やらを思ひ出しては、あの舞臺面の大きな禁煙の立札に大なる矛盾を感じたこんなに大びらにやらかせるなら僕も負けずにフカしてやらうかしら……果せる哉「場內でおタバコは御遠慮下さい」と優しい女の聲がした、それも二度、

ならなかつた。◇女係員は場內を巡視して隣席の彼氏にも「モシ〳〵おタバコは御遠慮願ひます」と注意されたが彼は見向きもしなかつた、また別の女係員が丁寧に注意した、けれども尙ほやけにプカやらかした、また女が來て「モシ〳〵ちよつとこちらにお下さい」と促した、彼は依然として馬耳東風、イヤ蛙に水をつかけたやうな態度で、タバコはいつかな手から捨てやうとしなかつた。

◇また別の女がやつて來て「ちよつとその方こちらへいらして下さい」と手招きした彼氏はて見返りながら「ナニツ」と云つた。

ひざまく空に大きくモーションを起して持てるタバコを土間へ叩き付けた、タバコは火花を散らして僕の足元を脅かした、それでも喫煙を止めただけにホッとした。

◇間もなくサーベルの音に混じつて嚴めしい靴の音がして「モシ〳〵ちよつとこちらへ出て頂きたい」と儼然と言ひ渡された、彼氏はハッと立ち上つて席を去つた、背後から僕は「態あ見やがれ」と聞えよがしに浴せてやつた。

◇近頃陽氣の加減かこんな連中が方々の映畫館に見受けられる、あの不遜な態度、圖々しさ、私己的不德漢、僕はその日の映畫館の措置に滿腔の敬意をはらつた。

善戰、無勝負 滿鐵對工專ラグビー戰

大連滿鐵對南滿工專のラグビー戰は十五日午後一時十分より大連運動場にて高尾（主審）上月、手島（線審）三氏審判の下に開始したが柯の新加入に滿鐵最初より優勢を示したが工專漸次好調となり後半好ゲームを續け遂に頹勢の工專ノー・サイド二分前に一ゴールして前點にこぎつけ十一對十一の無勝負に終る

(前半)	滿鐵	5	0	0	0	0	5
	工專	0	0	0	3	0	3
(後半)	滿鐵	0	0	3	0	3	6
	工專	0	0	3	0	5	8

計11—11

（五分毎の得點）

經過 ◇前半 ▽滿鐵トスに勝ちて風上（プール側）に陣し、工專の先蹴二分中央より工專キックの球、滿鐵木島見事に受けて前進柯にパス柯右に廻して右中間にトライ櫻井コンバート▼滿鐵の懸追急で工專よく防ぎ戰ふ裡十六分工專敵陣二十五碼右タッチアウトの球ルーズとなり直ちに得てTBパス後FWバックして蘭頭左フラッグ寄りにトライ・ノーゴール▼其後中央混戰一進一退を續くる裡工專ハイパントにて敵陣右十碼前のタッチとなりタッチの球工專得TBパスに移してゴールに殺到したがオフサイドして好機を逸す

◇後半 滿鐵やゝ疲勞見え工專の頑張りよく九分工專敵ゴール直前に絕好のチャンスを得たがドロップアウトにその機を逸す十三分中央ルーズの球滿鐵に出て眞野、櫻井、柯と流し柯左タッチに沿うてゴールに迫り再び櫻井にリターンパスし櫻井フラッグ寄りに倒込んでトライ・ノーゴール▼十五分工專敵陣左廿五碼よりドリブルに進み木島失すれば工專蘭頭押へてトライ・ノーゴール▼二十一分滿鐵中央ルーズの球をドリブルに進みてゴールに迫り野口飛込んで押へてトライ・ノーゴール▼二十八分工專敵陣二十五碼ルーズの球東拾つて小谷にパス佐々木更に之を受けてカットイン・ゴールポスト直下にトライ伊藤コンバート同點となり▼爾後混戰の裡にノー・サイドとなる

（工專）FW 井葉藤邊上頭舟村 長稻佐渡井薗木有 HB 東 谷村木藤田尻 TB 小中佐伊光野

（滿鐵）FW 池根小杉齋野田大西加眞櫻 內岸西崎藤口中島山納野井 HB 柯 TB 永木 FB 見島

南滿電氣勝つ 對育成ラグビー

南滿電氣對滿鐵育成ラグビー戰は十五日午後零時五分より大連運動場に於いて桂（主審）大久保、吉田（線審）三氏審判滿電先蹴の下に開始した、滿電終始敵を壓し僅かに育成に一トライを許せしのみ十四對三で勝つ

(前半)	育成	0	0	0	0	0	0
	滿電	0	0	0	0	3	3
(後半)	育成	3	0	0	0	0	3
	滿電	0	0	3	0	8	11

計14—3

（育成）FW 崎尾川後中島卷野崎口山 篠長石肥田大小今島谷長 HB 林 TB 橋內元 石芳細

（滿電）FW 中口合垣原川司藪野 田山吐稻河有赤板淺 HB 佃 TB 上山藤原瀬 FB 水柴因顯早

大商大敗す

大倶對大商ラグビー戰は引續き午後三時半より大連運動場において高尾（主審）尾田、楠田（線審）三氏審判大商先蹴で開始せしが大商元氣なく二十二對三で大敗した

(前半)	大倶	0	3	3	5	0	11
	大商	0	0	0	0	0	0
(後半)	大倶	3	0	0	3	5	11
	大商	0	0	3	0	0	3

計3—22

南滿工專大勝 對一中ラグビー

南滿工專對大連一中ラグビー戰は十五日午後二時半より大連運動場に於て桂（主審）杉田、關野（線審）三氏審判一中風上（プール側）に陣し工專先蹴で開始したが二十對三で工專大勝した

(前半)	一中	0	0	0	3	0	3
	工專	0	3	0	0	0	5	8
(後半)	一中	0	0	0	0	0	0
	工專	3	6	0	3	0	12

計2)—3

（大商）FW 田濱村 上 山宮澤瀬端川川島 藪永木 林 村 桂 龍新岡柳川石藤小岡 HB 手 TB 原田村藪橋松井永賀口早田井村星 FB 河増河小岩小邱須佐谷風灰村中赤

（一中）FW 藤野浦田村村田中光石濱木田尻 佐岡水山叢桑中原田岩大高佐內田 HB 谷野木葉田見 TB 島葉藤邊上田舟村 FB 手稻佐渡井沖木有東小高佐稻光石

（工專）

極東大會の豫選

陸上優勝者

【東京十五日發國通】全日本陸上豫選は本日明治神宮外苑競技場に開催されたが一等左の如し

▲千五百米 一着田中（中大）四分四秒六
▲四百米 一着吉住（明大出）五十秒九
▲百米 一着吉岡（大塚アスレチック倶樂部）十秒七
▲ハイ・ハードル 一着淸水（早大）十五秒三
▲三段跳 一等原田（京大）十四米八六
▲八百米 一着戶地（立敎）一分五十八秒二
▲二百米 一着吉岡二十二秒一
▲四百米ハードル 一着市原（立明館）五十六秒一
▲砲丸投 一等高田（廣島青年）十三米四〇
▲走高跳 安達（早稻田）一米九一
▲五種競技 岡田（埼玉青年）三、四七六點六九五
▲十種競技 金木（文理大）六、九三〇點〇三

水上優勝者

【東京十五日發國通】全日本水上豫選は十五日甲子園プール（二十五米）で擧行、決勝一等左の如し

▲二百米 新馬（稻泳會）二分十三秒二
▲八百米 石原田（明大）十分十秒（日本對記錄）
▲百米背泳 明（小松商業）一分十三秒二
▲二百米平泳 山田（稻泳會）二分五十一秒二
▲百米 豐田（日大）六十秒八
▲四百米 新馬（稻泳會）四分五十二秒二

一萬米新記錄

【東京十四日發國通】十四日の陸上全日本豫選決勝左の如し

▲圓盤投
一、菊本（文理大）四〇米八三
二、藤田（同）
三、久內（靜岡教員）
四、劉（朝鮮總督府）

▲棒高跳（一等極東新記錄）
一、西田（早大）四米一〇
二、大江（慶應）
三、松本（日大）
四、喜田（名古屋高商）

▲走巾跳
一、田島（京大）七米一八
二、南部（早大出）
三、原田（京大）
四、福田（關大）

▲一萬米（三等迄日本新記錄）
一、柳（朝鮮總督府）三一分二〇秒二
二、名島（明大）三一分二四秒六
三、田中（中大）三一分二七秒〇
四、竹中（慶應）

▲槍投
一、長尾（關大）六二米一四
二、鈴木（日大）
三、赤羽（日大）
四、柏分（臺北帝大）

六大學リーグ戰 スケジュール

【東京十五日發國通】極東陸上豫選會の出場で立消えとなるものと思はれた春のリーグ戰は綜合選手權廢止と云ふ圓卓會議の結果が物を云つて再び恒例の如く春のスポーツ界に君臨することゝなりスケジユールは十五日午後左の如く發表された其の內早慶戰は四月二十七日である

四月二十一日（正午入場式、立敎對帝大）二十二日（法政對明大）二十七日（早大對慶應）二十八日（立敎對法政）二十九日（帝大對明大）五月五日（慶應對明大）六日（早大對法政）十二日（早大對帝大）十三日（立敎對慶應）十九日（早大對明大）二十日（法政對帝大）二十六日（帝大對慶應）二十七日（早大對立敎）六月二日（法政對慶應）三日（立敎對明大）

大觀小觀

行き惱んでゐた日印通商條約、漸く假調印の段取りになつた▲英國主張の、英印特惠關稅を條約中に認める代りに、日本と接壤國との特惠關稅を認めるといふのだ▲お互ッ子のやうだが、日本の方に割が惡いやうだ▲英國向け日本電球輸出統制方法が、日英間に協定出來さうだ▲之も已むを得ないこととして我外務省の決定した原則に遵ふもの▲已むを得ないわけではあるが只その協定數量が重大な問題となる▲滿洲國官吏の俸給が減額さるゝといふ、なる程制定當時と事情の異なるものありて、相當減額になるのも當然であらう▲併し個人に就きて、日本の官歷を標準として待遇を定めやうといふのは意味を爲さぬ▲その官職に當り得る人物ならば、日本に於ける地位がどうであらうと、破格の拔擢を爲すに差支はない▲日本の官歷がなくては滿洲國の官吏になれない、日本の官歷以上に待遇することが出來ないといふやうな窮屈なことで爲すわけて、滿洲國の獨自性を無視するものだ▲任用も待遇も、滿洲國を日本の延長とそれては、滿洲國の政治は舉がり得ない▲もつと自由にありたく、滿洲國の政治に適する人物ならどこからでも任用し、人物相當の待遇を爲すべきだ。

★誰でも一生に一度は讀む本★

人間は生れたときの頭のよしあしの差別はごく僅かです。ところが早く氣が着いて偉くならうと思ふ人は驅け出します。氣の着かない人は道草を喰つてゐます。二十年もすると一人は英雄になり一人は凡人になつてゐます。うそだと思つたら英雄傳をご覽なさい。プルターク英雄傳を!!

古今獨步の英雄傳 蘇峯 德富猪一郎

一度は誰でも讀むべき良書 公爵 近衛文麿

人生最高の指針 菊池寛

現代にこれ以上の精神教育の好著なしと好評!本日大部数の再刷出來!

子女の教育は本書から婦人愛讀者の激增!

(右圖は第五卷中のシーザーの挿繪)

第一回配本 第五卷

第回目下配本中

鶴見祐輔 全譯 プルターク英雄傳 全六卷 一冊一円

發行 改造社 東京芝區新橋七丁目 振替東京八四〇二番

科學画報叢書 好評嘖々たる既刊書目

1 科學文明の驚異
2 山岳の驚異
3 海の驚異
4 昆虫の驚異
5 顯微鏡下の驚異
6 電氣の驚異
7 動物の驚異
8 航空の驚異
9 最近兵器の驚異
10 續動物の驚異
11 風景の驚異
12 植物の驚異
13 山岳征服の驚異

定價金一圓五十錢 送料内地十七錢 殖民地三十四錢

重版書籍

金礦及金礦床 渡邊萬次郎著
テルル化金銀礦の研究 渡邊萬次郎著
地圖と地形 渡邊萬次郎著
住宅建築の實際 山田醇氏著

東京・神田・錦町 新光社 振替東京四三二四〇

自然界の驚異

驚異すべき自然現象の解剖 科學畫報叢書第十四篇

限りなき知識を追求して止まざる人々よ。速に來りて本書により自然界に對する諸子の一切の疑問を解かれよ。茫々際涯ない大宇宙、大空にきらめく幾億萬の星々、巍々天を摩する山岳、火山と溫泉、地震と津浪、水と其變化、河川と溪谷、動植物界に於ける不可思議なる生命現象、雲と雪、風と雨、雷、音と光線、磁氣と電氣等に至るまで、驚異其物にも等しい大自然と自然界一切の秘密は、通俗記事に堪能な學界一流權威者の麗筆と、繁社獨特の鮮麗無比な豊富なる寫眞とにより、茲に初めて神秘の扉をかなぐり棄て、其赤裸な姿を展開してゐます。我國最初の自然讀本として敢て滿天下に推稱するを憚からない次第であります。

本篇執筆者

四六倍大版 二五〇頁 全アート紙印刷寫眞三百餘頁挿入
定價金一圓五十錢・送料内地十七錢 殖民地三十四錢

三井保險 火災・海上・運送・自動車

契約高多少に不拘御電話次第係員參上御相談申上ます

三井物產株式會社 大連支店 大連市山縣通一八二 電話代表七一〇一番

鉄道 土木 礦山 化學 機械類は 株式會社 進和商会 大連市佐渡町三〇 電話八一一二七〇

商店界編 販賣手帖 ¥.50 送料4 東京・神田・錦町 振替東京六五六七 誠文堂

廣告界 四月特大號 定價金壹圓 送料四錢

廣告研究の新方面 商業美術家を志す人へ
春の新圖案
特輯 ポスター卅三年畫史

實際園藝 春の草花園藝号 四月特輯

春だ!園藝の好期來る!

春播草花代表種と作り方
春植球根の種類と作り方
變つた美しい春植の球根草花
カンナの優良品種と作り方
溫室性球根の種類と栽培
ガーベラ・ハイブリダの栽培
龍田撫子の品種と作り方
ヴァイオレットの作り方
青斑入鍬形千鳥葉種の栽培
アザレアの品種と挿芽法
本邦產の野生菊について
園藝上に放射能鑛物の應用
グラヂオラスの分莖繁殖
臺灣の鳳梨の栽培
栽培蘭科植物の交配種
花梅の品種について

本號に限り 金壹圓 送料三錢

無線と實驗 四月号出づ

電解コンデンサーに就いて
複三極管一球受信機
携帶用テスター
エレクトロンカツプルオシレーター
通俗超短波物語
低周波增幅法第一講
實用受信機製作法二題
JOAK第三回ラヂオ技術試驗問題及解答
其他實用製作記事滿載

定價金八十錢 送料三錢 全國書店に販賣す

宮田の自轉車

實用 堅牢

型錄贈呈

特約店

滿洲總代理店 昌和洋行 本店 支店

"VALET" Auto-Strop Safety Razor

初めてバレーを使ふ人々

甲「研ぎの簡單には全く驚く。」
乙「ソレで素敵な切味が出るんだからな……」
丙「研ぐ、剃るで三分ッコ〜だらう。」
丁「斯れでは誰でもバレーが禮讃したくなる。」

價 州内 一圓四十錢以上 州外 一圓六十五錢以上 各種

バレー自働研刀安全剃刀會社 滿洲代理店

大連私書函百二十二

早稻田 中學講義

第一号出づ!入學者果然激增!!

伸び行く現代日本で成功するには、是非とも中學卒業程度の學力が必要です。本講義は文部省令による中學全科目を收め、内容大改善面目一新した日本一の講義錄です。獨學成功を望む若人は本講義で學べば專檢や高檢にも容易に合格出來、又早稻田大學特別入學・學費給與・懸賞等の特典も得られます。愈々第一號出來、今が絕好の入學時機です。

ハガキで申込次第 内容見本進呈

毎月一回發行 學費月一圓 前期中學一二年 後期三四五年 各一ケ年修了

八大附錄

月刊雜誌「早稻田」
獨學成功物語
早稻田の光
ポケット英和辭典
世界歷史年表
國語・漢文・歷史 參考圖
彩色日本地圖
彩色外國地圖

商業講義 學費月一圓 一ケ年半修了
女學講義 學費月一圓 一ケ年半修了
各講義とも新期 申込次第見本進呈

東京早稻田 早稻田大學出版部 振替東京一一二三 電話牛込三四五番

鴨綠江下流水路圖 新たに測量發行
内外船に一大福音
潜灣修築にも好資料たらん

【安東】現在一般に使用されてゐる鴨綠江の水路圖は大正三年わが水路部から發行されたものですでに二十年前の古いものであり殊に鴨綠江は水流が毎日變るさ云はれるほど變化の多い河川なので早くから新水路圖の測定發行の必要が關係者間に叫ばれてゐたが今回わが海軍水路部は精密完全なる水路圖を制定することゝなり測量艦はすでに鴨綠江口に廻航し測量に着手した、江口より安東までの測量には相當の時日を要するがこれが完成の曉は内外船舶に一大福音を齎すのみならず安東市民が多年熱望してゐる鴨綠江港灣修築問題にも貴重なる參考資料を提供するであらうさ期待されてゐる

營口水產植樹

【營口】奉天省立營口水產高級中學校にては今回日系教授一名增員の配屬を受け益々内容の充實を計ることゝなり新任教師は本月二十五日頃着任すべしと而して同校の位置は周圍殷賑なる馬市街の接壤地たる爲め砂塵多く之れが豫防さ綠化を計る目的で同校々庭に植樹を施した、これは先般滿洲國植樹節を機さして現在々校生の數即ち一人一本の割合にて百六十六本の苗樹を植付けたもので生育の曉は風致を添ふるはもさより健康上に及ぼす影響も多大なるべしさ

永安競技場に於て盛大に擧行されるがその競技種目は左の如く決定した

第一部(責任競技) 本年は新に送球リレーを加へ球入競技、送球リレー、年齡リレーの四種

第二部(一般競技) 百米、四百米、二人三脚、瓶釣サックレースの四種目さし各種目二名の選手を出して一等(三點)二等(二點)三等(一點)の採點により優勝を決す

大興公司大豆 大量買占め

【奉天】大興公司では農民救濟策さして北滿に於いて大豆の大量買占めを行つたので十一日一斗七十五錢さなり大連に於いては歐洲より多量買込みの入電があつたので十二日は一斗八十四錢に昂騰し六百車の取引があり現物は全部ドイツ行きに決定した之がため大連より歐洲行の貨物船は一齊に運賃を一割方値上する事さなつた

治安維持會

日滿聯合治安維持會は十六日午後二時より日滿關係首腦者集會して警備上の打合會議を開催する

撫順炭拂出高 記錄的數字
炭礦扱ひ七百廿五萬噸

【撫順】軍需工業の異常な躍進力におされて炭界は近年にない躍進的好況を示したが、遂に撫順炭礦の八年度成績は山元總受入六百七十一萬二千百噸、總拂出六百七十一萬五千九百十六噸さいふ三千八百十六噸の拂出超過を見るに至り年度末の山元坑所貯炭は二萬六千百二噸さなつた、なほこれに撫順炭礦扱ひの煙臺、南昌、胆子山の三炭を合するさ昭和八年度の撫順炭礦に於ける受入は七百二十五萬七千五百八十四噸で拂出は七百二十六萬一千八十七噸さいふ記錄的な數字を示してゐる

縣參事官自治會を組織

【奉天】奉天吉林黑龍の三省では各省毎に縣參事官自治會を組織し參事官相互の連絡並に向上を圖りつゝあつたが今回全滿縣參事官自治會を組織する事に決し近く代表者會議を開催する筈である

奉天から安東へ 觀櫻旅行團
五月六日頃決行の計畫

【奉天】皇姑屯の山櫨子がこの頃の暖かさにふくらんでゆく、そして滿洲一の櫻の名所安東鎭江山は蕾が昨日より今日さふくらんでゆく、三千本の櫻は縫ひこらして春の仕度にいそがしい、櫻!櫻!本社では恒例によつてジヤパン・ツーリスト・ビユーロー奉天案内所の安東サクラ見物旅行團を都さ共に後援する事さなり目下種々協議中であるが大體五月の六日(日曜)頃が安東の滿開さされてゐるので臨時列車を出して「サクラ」見物に向ふ筈であるが今年は十輛連結會員も八百名位募集する筈である

滿鐵の貸付け料金 漸次減額撤廢實現
先づ奉天は四月から

【奉天】滿鐵では昭和五年度より經濟界の情勢に順應し附屬地、宅地、建物貸付料金を一割臨時減額をなしてゐたが、滿洲國の帝制實施さ共に滿洲經濟界の好轉に伴ひ臨時減額を撤廢四月一日より舊料金に復活する事さなつたが曩に三月十二、三兩日社員倶樂部に於いて行はれた全滿地委聯合會に於いて撤廢延期を可決、滿鐵當局に請願中であつたが、滿鐵さしても中間都市の現狀をかへりみ奉天のみを四月一日より臨時減額撤廢をなしその他中間都市は更に一年間撤廢を延期する事さなつた、卽ち先日の新附屬地土地貸付料金も復活料金に依つて課せられるわけである、猶耕地貸付料金は十二月の年度替りに於いて延期するか否かを決定する筈である

大安汽船會社 五月營業開始

【安東】三月末正式成立した日滿合辦大安汽船株式會社は四月早々營業開始の豫定であつたが使用船の竣工遲れたので五月一日から營業開始の筈である、なほ同會社の安東、三道浪頭、趙氏溝、大孤山四ケ所の專用棧橋は目下工事中であるが營業開始までに竣工の豫定である

腦脊髓膜炎

【奉天】奉天總領事館構内中野副領事方女中杉原ツヨ(二三)さんは二三日前より發病中であつたが十四日腦脊髓膜炎さ診定され直に赤十字病院に入院した

羅津消防組

【羅津】本月四日附で公認された羅津消防組は十一日午前十一時本町常盤クラブにおいて正田警察署長より組頭以下百六十六名に對し名譽ある辭令を授與された、因に同消防組の發會式は五月五日道知事警察部長を招待し盛大に擧行することに決定した

撫順市民運動會を開催

【撫順】春のトップを切つて撫順市民運動會が五月十三日の日曜日

海邊隊所屬艦 營口に歸隊

【營口】海邊隊所屬艦海光海榮は昨冬より旅順港に冬營中であつたが十三日旅順を出港して航行中途河々口で少し故障があつたが十四日無事歸隊した

撫順清潔デー

【撫順】永い冬から解放され一冬中の穢澤を大掃除するため撫順市では十五日全市一齊に清潔デーを實行する

第二回中等學生長距離競走

【奉天】奉天教育廳主催の第二回省城各中等學校學生の體育さ精神を振興せしめるための長距離競走は五月十日午後一時から工業區大廣場を發着點さして二馬路、北陵に至る往復一〇二五〇米で參加學校は第一師範、第一工科、第二工科、第一商業、第一農科、第一、二、三の各部中、第一部中南滿中學堂の選手總計五十名である

赤痢患者 奉天に續發

【奉天】十三日紅梅町滿鐵獨身宿舍南寮に止宿の末吉利德伊藤直德の兩名は赤痢疑似さ診定されたので同宿舍内の大消毒を行つたが最近赤痢患者が續發し始めたので奉天署衛生係では之が豫防に大童さなつてゐる本年に入り既に三十九名の赤痢患者を出してゐるが一般もこの際特に注意して貰ひたいさ

圖們驛の業績

【圖們】圖們驛三月中業績左の如し

▲乘車人員八、七一六▲降車人員九、〇〇一▲手荷物行李發送一、九七五到着一、三〇六▲包裹發送九、五八二、到着一〇、〇六四▲普通貨物發送三八〇、卸一、六一七

圖們の人口

【圖們】躍進圖們の三月末調査の戸數二、九〇九、人口一三、二六四にして其の内譯は左の如し

▲内地人八三四戸二、四二九人▲朝鮮人一、八九七戸一〇、〇七二人▲滿洲人一七六戸七五七人▲外國人二戸六人

外套專門泥棒

【奉天】ヤマトホテル病院等の廊下にあるオーバ專門の泥棒に關しては奉天署に於いて嚴重犯人の搜査をなし、さきに肥後を逮捕し更に福岡縣八女郡生れ住所不定服部政吉(三)を指名犯人さして嚴探中十三日午後八時頃十間房を徘徊してゐた彼を檜崎、津田の兩刑事が逮捕した、彼は質札數十枚を所持してゐる外ヤマトホテル、病院等でオーバを窃取してゐた事を自白したが餘罪多數ある見込みである

調べた處滿人に窃盜犯も加はつてゐる事が判明したが他の滿人は何れも滿洲國側に引渡した

營口縣下の棉花の栽培

【營口】營口縣下の棉花栽培は營口縣公署農務係に於て種々斡旋の勞を採り種子の購入耕作の指導等遺憾なく行はれ農家に於ても栽培の有利なるを感得し既に公署の斡旋を待たずして播種を濟ませしものさへあり作付面積は一千天地さ稱されてゐるも其實際は半の五百天地位のものなるべしさ見られてゐる

院内在貨數

【開原】四月上旬附屬地各棧院内在貨數次の如し(單位石)

品目	數量
大豆	九一、七一〇
高粱	五八、二六〇
包米	七、九四〇
粟	六、八五〇
雜	九、〇一〇
籾穀	六、九三〇
精米	八八〇

奉天乞食狩り

【奉天】奉天署では時節柄犯罪防止のため十四日朝全市に亘り乞食狩を行つたが滿人、鮮人、露人合せて三十六名あつた係官が一應取

各地

◇奉天 十七日會では同日午後五時から鹿鳴春において例會を催すが于芷山司令の講演がある筈、會費四元

◇奉天 原籍福島縣生れ奉天紅梅町一一二後藤隆一(三二)は十三日午後十時頃船町の上第十署に赴き亂暴を働いたので領警に留置され嚴重說諭の上放免された

◇奉天 奉天署劍道教師木村新太郎氏長女光枝(二五)さんは豫て病氣療養中十四日午前三時遂に死去した、十五日午後三時青葉町自宅出棺葬儀を營むさ

◇撫順 今回圖們建設事務所長に榮轉した前古城子採炭所長宇木甫氏は十三日午前十一時五十分發列車で赴任した

◇營口 營口縣警務局にては警務指導官の配屬を受け一名の增員さなる筈で新任千葉指導は近々着任することになつて居る

◇鳳凰城 鳳凰城警察署河北派司氏は九日附警部補に昇任さ同時に奉天警察署へ轉勤を命ぜられ十四日朝の五列車で多數の見送りをうけて赴任した

◇鳳凰城 瀋陽警察廳第三區警察署長に榮轉の前鳳凰城縣警務局長楊海明、奉天警察第二大隊長より鳳凰城縣警務局長に來任の楊壽才兩氏の歡送迎會を十二日午後五時から鳳凰旅館に開催した、出席者日滿官民四十名一同着席するや宮崎參事官一同を代表して挨拶を述べこれに對し新舊警務局長の謝辭ありて開宴大盛會裡に同七時半散會した

◇錦州 錦州商工會では來る二十二日日本小學校々庭において店員慰安の大運動會を開催するさ

◇營口 郵便局勤務事務員奧山清次氏は今回關東遞信局書記補に任官した

◇奉天 鐵路總局新職制實施で洮南線路局鐵路總局代表より運轉課長に轉じた秋田豐作氏は十三日午後一時半はさて着任した

◇熊岳城 熊岳城驛助役田阪富造氏は四月一日附けを以て熊岳城

◇熊岳城 熊岳城農事試驗場技師渡邊柳藏氏は鐵路總局兼務を命ぜられ農事試驗場熊岳城分場技術員落合演造、同戸澤儀一郎兩氏は鐵路總局勤務を命ぜられ鐵路總局興城園藝場に向け出發した

◇鐵嶺 滿洲事變に際し鐵嶺軍警の補助機關さして連日連夜治安維持の爲めに活躍した鐵嶺義勇團員に對し時局後援會では事變の活動を記念し聊か謝意を表する爲め赤銅梁金文字入りの美麗な記念章を作製十二日團員全部に交附した

◇鐵嶺 鐵嶺縣公署副參事官楠美省吾氏は龍首山の景勝を添ふる爲め鄕里弘前公園の櫻苗二百本を取寄せ十二日山上に移植し八十本を縣苗圃に寄附したるが山上の櫻移植が成功すれば龍首山の一名物さなり今後も續々增植の可能性があるので一般に其成功を祈られてゐる

◇瓦房店 瓦房店醫院事務長丸目保氏は鐵嶺醫院事務長に赤地方事務所庶務係長足立三郎氏は安東地方事務所會計係長に榮轉十三日午前十時四十分發はさにて出發驛頭には日滿官民多數見送つた

◇瓦房店 許家屯線路工長村澤藤吉氏は佐藤善作氏の媒妁により瓦房店機關區西川吉藏氏の妹たつ子さんさ婚約整ひ四月十一日午後三時より許家屯倶樂部に於て三宅保線區長小林驛長其他五十餘名を招待し盛大なる披露の宴を張つた

◇安東 日本赤十字社安東支部では十三日から二十八日に掛けて安東滿洲街、蛤蟆塘、老古溝、三道浪頭、大孤山各地で巡廻施療を行ふ

全國醫學會總會で 發表された癌の研究
近く根治法發見か……稗田博士談

【奉天】去る一日から五日間東京帝大に於て開催された全國醫學會總會には各方面からお歷々の醫學者が集り各種醫學に關する重要研究が發表されたが同總會に出席十四日歸奉せる滿洲醫大教授稗田博士は語る

色々重要研究が發表され收穫も多かつたが殊に東京の杏雲堂病院長佐々木隆興博士の研究に係る癌の發表は非常に着目された同博士が癌を作るさいふことを聞いてゐたが同博士は化學的物質により之を動物に使用して癌を作ることに成功した發表をなし何れも驚歎してゐた、元來癌は刺戟によつて起る刺戟說が說かれてゐたのであるが、佐々木博士は更に一歩踏みこんでその刺戟さは果してどんなものであるかを研究した處その刺戟は或科學的物質が作用することを發見したのである、癌はこれまで不治の病さされ原因を突きさめ得ず從つて根治方法もなかつたがこの世界的發見により癌の治療に成功するやうになるのも近いうちで世界醫學界に一大福音を齎すことゝ考へてゐる

密輸沒收數量 安東の數字

【安東】安東緝私局が昨年一月開設以來朝鮮側より滿洲に密輸する密鐵を沒收した數量は昨年一月より十二月まで五六一、二四七斤(三七、三三二圓九三錢)本年一月より三月末まで九三、一一六斤(六、一九二圓二二錢)である、なほこの價格は百斤六圓六十五錢の割で算出したものである

集金を橫領

【奉天】山形縣鶴岡市生れ奉天工業區二馬路洋酒商ゲーベルグ商會外交員羽山遊雄(二七)は去る二十七日より三日間同商會の用命で鞍山海城、遼陽、營口方面に出張したが賣上金中八十八圓を紛失したさ歸奉して報告したその後鞍山よりゲーベル商會の得意先の知人が來り羽山は鞍山に於てカフェー等に出入し飲食してゐたさ聞き屆出により奉天署では同商會に何喰はぬ顔をして起居してゐた羽山を引致取調べの結果彼は現金を紛失したさいふのは眞赤な嘘で集金した金を橫領し鞍山のカフェー銀座、サロンプチに於て飲酒に消費してゐた事を自白したがその橫領した金額は合計百十三圓に上り前科三犯の肩書を有する常習犯であるさ

浪速通りを美化
三階の貸店舗新築

【奉天】浪速通五番地バイカル公司東側は目下取壞し改築中であるが市の中心浪速通のこさゝて土地借受主でも以前より考究中であつたもので三階建煉瓦造りの貸店舗さ決定、十五日より愈々工事に着手七月三十日には工事完成の見込みである、敷地面積一四七七米、工費九萬二千圓で北一條松島町側は二階建貸店舗さし更に松島町三番地も九萬圓を投じ二階建の貸店舗を建築の筈であり、これは七月十日頃には竣工の見込みであるが伸びる奉天の中心は依然浪速通り春日町にあり附近は徐々美化されて大奉天の名に恥しくないものさなつてゆきつゝある

赤軍ブ司令官の渡米說 白系露人は否定

【チチハル】極東特別赤軍司令官ブリユーヘルは最近米國陸軍見學を兼ね各種軍需工場視察のため渡米するが如く傳へられてゐるが、右に關しチチハル、ハイラル方面の白系露人は之を一笑に附しブリユーヘルは元來獨逸參謀將校であつたが歐洲大戰當時ロシア軍に捕へられチタの捕虜收容所に收容され、その後赤軍に加はつた者であり、獨逸のヒットラー及び大連に亡命中のセメヨノフ將軍等さ氣脈を通じ居るから、日蘇開戰の際は部下さ共に反政府行動に出ることは確實である、彼の米國陸軍見學は一寸實現不可能ではなからうかさ語つてゐる

隱匿阿片押收

【奉天】十三日午後三時半頃市内富島町三番地滿人旅館天裝東に阿片を隱匿して居ることさを探知した奉天署では係官が現場に赴き搜索の結果阿片十貫價格五千圓を發見し直に之を押收するさ共に關係者を引致取調中であるが、該阿片は以前身許不詳の滿人が持ち込み同旅館に隱匿してゐたものでその阿片關係者は奉天に居らずさ稱してゐるが他方面から密輸したものであるさ

鴨綠江の初筏
十三日渭原から着く

【安東】鴨綠江上流は未だ流氷し切らないが新義州、營林署の初筏が渭原から流氷を衝いて十三日午後新義州に着いた、昨年より一日、一昨年より十二日早い、營林署では十六日着筏式を擧行する筈、なほ安東側の着筏は例年新義州より遲れるので今年も採木公司の初筏は例月十日ごろになる見込みである

張人傑歸順を申込む

【錦州】宋哲元の師長張人傑氏は反覆常なき支那に愛想をつかし樂土滿洲國に憧憬れて私かに使者を山海關に派し歸順し度き意を洩らしたさ傳へられるが張の部下は目下察東龍關一帶にあり、騎兵約三千、步兵六千餘、全員武器を所持してゐるさ

五人組强盜

【奉天】十三日午後二時半頃の白晝大膽にも綏安軍の服をつけた五人組の拳銃强盜が工業區三馬路鮮人趙仲三方に侵入し家人を脅迫の上二十二圓の現金を强奪して逃走したので目下犯人嚴探中である

賭博團打盡

【奉天】十二日午後九時半頃市内千代田通十六番地兩替店趙子義方に於て賭博を行つてゐるさの密告により奉天署司法刑事隊は直に現場に赴き趙方を包圍し牌九を使用して滿人九名が車座さなり賭博を開張中を踏みこみ一網打盡に逮捕した、彼等は商埠地二經路居住無職滿人林紹甫(四〇)外八名で引續き嚴重取調中である

酒井新署長披露宴

【開原】新任酒井警察署長は十四日午後六時より管下在住有力邦人三十餘名を二葉に招待盛大なる新任披露宴を張つた、なほ滿洲側招待宴は十七日福聚樓にて催す筈

自轉車を盜む

【奉天】撫順車屯居住鄭本桑(三六)が十二日午後九時頃所用のため市内江の島町十三番地野島氏宅に自轉車で赴き用事を濟ませて歸宅せんさした處自轉車が紛失してゐるので市内を搜查中十間房に於て發見しその自轉車所持の滿人を逮捕し奉天署につき出した、彼は山東省生れ住所不定無職劉玉山(三二)さ稱し餘罪多數ある見込みである

鮮女の行倒れ

【奉天】十四日午後工業區瀋陽總站前に四十五六歳の鮮人女の行倒死體があるのを通行人が發見屆出たので總領事館警察司法係が早速現場に出張檢視の結果他殺の疑あるので目下犯人搜查中である

人類愛善會 日本視察團

【奉天】人類愛善會奉天支部においては日本視察團を募集し約二十一日間の旅程で内地の三大都市其他各名所舊蹟を見學する事さなり來る十三日奉天出發赴日の筈である

旅順放送

▲第一小學校では十四日午後六時半から講堂において映畫によつて教育勅語の謹解を目的さし皇國の鑑さ題する全九卷の活動映寫會を催した

▲櫻の大正公園へ出願した掛茶屋は十四日迄に五軒、又後樂園へは例年の如くきむらが一軒出願した

▲歸任した中村財務局長は十五日午後六時から彌生に在旅新聞記者その他を招じ懇談會を催した

▲民政署兵事係で最後の決定した本年の徵兵適齡者は總計百十八名でこの内四名は内地へ歸還その他の事故で取消したゝめ結局十四名さなつた

▲桃園町一ノ四菅春臣(二七)さんは十四日赤痢疑似を以て診斷さる

▲映畫館では十六日から二日間道次合流した日活映畫契約者清住泰氏一派さの披露興行さし大河内傳次郎、伏見直江共演の「薩摩飛脚」前後篇大會を行ふ事さなり本映畫に限り特に三十錢で開放するさ、尚同館では引つゞき新興の名畫「月よりの使者」日活「心の太陽」「丹下左膳」松竹の「夜襲本能寺」「歡樂の夜は更けて」の巨篇が上映さる

研究室をのぞく

肺病の……『石油療法』とは何か

この天來の治療法に聽け！

肺病は必ず治る病氣であると云はれてゐるのに、一體何故治り難いのであらうか、何人にも當然起るべき大疑問です。本社は茲に於て進歩せる科學の力が齎らせる山田博士苦心の石油療法についてその眞理を究明して讀者の前に公開する。

「主婦之友」と特輯「石油療法」

月々百萬の發行部數を日本讀書界に確然と持つてゐる吾等の愛誌「主婦の友」が昭和九年一月號及び三月號の二回に亘つて石油療法特輯頁を加へて、三百萬もある結核王國の征服に敢然と立つたことは、諸外國に愧づべき日本をして更正せしむべき一大慶事と云ふべきである。從つて罹病者は勿論、治療界は申すまでもなく各專門諸學者をして驚駭せしめたることは諸君の記憶に未だ明かなることであらう。

「讀賣新聞」と石油療法の批判

石油療法は果して醫學の大發見か、俗説か、過信か、これが未だ專門醫學者の正確なる研究は發表されてゐないと、讀賣新聞はその一頁を割いて、斯界一流の專門大家をして、その意見を徴した事實を見ても、火の無い所に煙は立たぬ、諺の如く、これは研究さるべき醫藥學上の大問題である。勿論この石油による結核療法は、日本結核學會席上必ずや諸學者の研究報告が山積するであらう。

結核を石油で治した意外な事實

醫學の進歩は大言してゐます。「肺病は必ず治る病氣である」と。併し事實は一たび結核菌に襲はるや抑々快癒しないもので難病中の難病といはれてゐます。こゝに醫學の進歩に何人も大なる疑問を持つてゐます。時あたかも昭和八年三月内務省社會局發行の「産業福利」誌上に於て、結核を石油で治癒せしめたといふ耳よりな意外とすべき事實が堂々と報告されたのであります。

「産業副利」と石油の効果

最近このことが全國的に喧傳し出して神戸川崎造船所及び神戸製鋼所の如きは社員や職工に印刷物を配布して其の飲用を奨勵してゐるといふ盛況さであります。なほ同所の醫務局からは何れも良成績であると報告されてゐるのです。神戸製鋼所の如きは昨年中の飲用した石油の量は驚くなかれ十二萬グラムに達したといふ事でありま す。以て如何に石油療法の効果が絶大顯著なるかは察するに餘りある譯です。ために結核治療界に一大センセイションを惹起し、甲論乙駁囂然たる有様であります。

石油の結核に及す重要なる臨床記錄

石油療法の一般に共通した臨床記錄を綜合して見ると、今まで便秘したものが下痢して熱が下る、盗汗が止まる、咳が止まつて痰が切れた、喀血が止まつた、肩の凝りが全快した、食慾が亢進して氣分が爽快になつた、と云ふことであります。又甚だしいものにあつては腸結核や喉頭結核、結核性痔瘻まで治つたといふことであります。

罹病者は如何なる石油を用ふべきか

結論としてこの問題が當然起るべきです。即ち現今石油療法といふことは一般民間の素人療法としては危險なる場合もある所から素人の手を離れて、今や呼吸器及び細菌學專門の醫師に研究處方さるゝ様になつたのであります。茲に於て日本細菌學界の泰斗山田博士は多年動物試驗により苦心研究の結果によつて得た科學的指示及び臨床上の經過により最も合理的な内服石油を完成されたことは世界に誇るべき一大事公と稱すべきです。因に同博士は石油飲用上注意すべき大切な文獻を小冊子にまとめてゐられます。この飲用を誤らず石油の正しき飲用法を知ることこそ三百萬人の結核王國日本の我等の急務でなくてなんでせう。

事實の證明

内務省社會局「産業副利」より

昭和八年三月内務省社會局「産業福利」誌上で山梨縣石和町馬車立場の娘さんが長らく肺疾患に惱み、あらゆる治療に出來得る限りの手を盡したが快癒に向はず、悲觀の極自殺の目的で石油を服用した所が自殺どころか却て長い間苦しみ通した肺病がケロリと治つたと云ふ事を報告して居ります。

肺病は癒るべきもの石油を選べ

癒るべき肺病が難治として人に恐れられ、嫌がられるのは罹病者の養生法に無智なのも原因の一つではありますが、又肺病には特効藥がないとして諦め、漫然とあれやこれやと迷ふものは甚だよくない。茲に紹介した「肺病の石油療法」は一に掛つて飲用すべき石油の選擇にあるので、普通巷間にある燈火用の生石油をみだりに飲用する事は甚だ危險です。しからば如何なる石油を選ぶべきか？難治の肺病の癒る癒らぬも即ち茲にあるのです。山田博士の文獻こそ我等の緊急問題を立ち所に氷解し、現下日本の結核患者は今や起死回生の健康感に快哉！を絶叫してゐます。これこそ肺病患者の必讀すべき聖書です。

（本記事お讀みの方は、この新聞名記入の上ハガキで東京新宿淀橋道場院前日本細菌科學研究所宛御申込になれば小冊子を無料で送らるゝ由（記者））

3,000,000人 結核患者の福音！

醫學博士 山田壽一

最近突然として石油療法の出現を見た。是に關する業績は目下検討中乃至集中に屬し、他日大成して世に問はんとしてゐるのであるが、既に今日迄の成果に徴して最早その確効を毫末も疑つて居られなくなつて來た。我々の所信を最も大膽に、最も卒直に表明すれば是は正に醫學界の大革命であり、劃然として治療の時代を劃するものと信ずる。更に極言すれば我々學生の專業たる結核治療の企圖は本療法の出現に依つて、正に前人未踏の域を窺し始めたのではあるまいかと思はれる。我々は茲に掲がれる一の烽火が燎原の火となつて、結核治療界に一大轉換を起さしむるものと信ずるのである。（寫眞は山田博士）

凱歌若人に揚る

旅中三選手揃つて優勝

新人のために氣を吐いた……昨日のフル・マラソン

本社主催の第八回本社前蔡大嶺間往復フル・マラソンは十五日午後一時より本社前を發着點として旅大南道路上に於いて擧行したが往路好調の一部杉山、李兩選手は復路、星ケ浦附近より疲勞を覺え、加ふるに杉山選手は足部痙攣のため歩行の止むなきに至り遂に首位の榮冠は二部の新進旅順中學横佩選手が獲得、二、三兩位もまた旅順の東力、草薙兩選手の占むるところとなり、中等競技界のため萬丈の氣を吐き、結局一部は滿鐵埠頭の近藤、二部は旅順中學の横佩の兩選手それぞれ昭和九年度の覇權を掌握した、かくて全選手到着後午後五時三十分村田本社々長は選手一同に對し閉會の辭を述べ、一部優勝者近藤選手に滿鐵總裁盃、大連市長優勝杯並びに新に授與される宗像優勝杯、體育堂副賞を、また二部優勝者横佩選手に關東長官優勝旗、大連市長、宗像兩優勝杯、體育堂副賞を、引き續き入賞者に本社賞並びに宗像氏副賞を授與盛會裡に終了した、入賞者左の如し

一部（一般之部）

一着 近藤庄作（滿鐵埠頭） 三時間九分四三秒
二着 杉山祐安（尚厚溫組） 三時間一〇分四〇秒
三着 佐藤俊司（甘井子埠頭） 三時間一六分三〇秒
四着 村岡正二（滿鐵々道工場） 三時間一八分一八秒
五着 富永輝一（滿鐵々道工場）
六着 吉永力（滿洲牧場） 三時間二〇分一五秒
七着 宗像金吾（ハルビン成發東） 三時間二七分二〇秒
八着 李傅義（豐年製油） 三時間二八分二〇秒
九着 阿部一夫（滿洲電々） 三時間三六分二〇秒
十着 藪内一夫（滿洲牧場） 三時間四〇分五秒

二部（學生之部）

一着 横佩敏勝（旅順中學） 三時間六分二七秒四
二着 東力正夫（旅順中學） 三時間六分四〇秒二
三着 草薙通夫（旅順中學） 三時間九分三二秒
四着 赤堀俊夫（大連商業） 三時間二九分三〇秒
五着 馬場勝男（大連商業） 三時間五六分五〇秒

沿道に歡呼の渦

新人の熱戰に觀衆驚嘆

[本文省略]

疲れ

の調子で杉山を追ふ李や、杉山より遲れること約七分、三位藪内續いて村岡、佐藤更に八分遲れて草薙の一團折り返し内田三時五分最終で選手一同復路をさる、二位の李疲れを加へ杉山もまた…

旅中全勝萬歳！

優勝三選手と教諭の談

第一部、第二部を通じて一、二、三着を占めフル・マラソン以來の成績を收めた旅順中學の三選手は（一着）横佩（二着）東力（三着）草薙ゴールに待ち構へた應援の級友先輩達に「旅中全勝萬歳」の聲に包まれたが、記者が三選手に「おめでたう」と話しかけると、…

僕達何もお話しすることはありません、唯學校が一生懸命應援してくれましたので、僕達の力以上の働きが出來たのです、今日の勝利は校友のお蔭です

選手のマニラ行

實行不可能か

陸聯・大會不參加を唱へん

在京の滿洲代表

全面的活動を開始

體協の聲明實現阻止を期す

山岡審判長の總評

撫順小學生の萬引團

係官も呆れる

盛に

父兄

脅迫

感謝

選手通過順位表

（○印は二部）

場所	所要時間	一着	二着	三着	四着	五着	六着	七着	八着	九着	十着
星ケ浦交番前	三〇分一九秒	杉山	李	藪内	吉永	佐藤	土井田	富永	村岡	近藤	關戸
小平島	一時間七分一六秒	杉山	李	藪内	佐藤	吉永	土井田	村岡	近藤	關戸	阿部
引返點	一時間二三分一一秒	杉山	李	藪内	村岡	佐藤	横佩	東力	草薙	赤堀	土井田
小平島	一時間三七分一〇秒	杉山	李	村岡	藪内	草薙	横佩	東力	和田	赤堀	佐藤
星ケ浦交番前	二時間九分一二秒	杉山	李	村岡	横佩	東力	草薙	和田	佐藤	近藤	阿部
決勝點	三時間六分二七秒	○横佩	○東力	○草薙	近藤	杉山	佐藤	村岡	富永	吉永	宗像

滿洲體協主事林田學氏評

フル・マラソン畫報

寫眞・上から賞品授與式・蔡大嶺引返點到着の杉山選手・一、二、三着に入賞の左より旅順中學横佩（一着）東力（二着）草薙（三着）選手・本社掲示板前の群衆・一部入賞者右より近藤（一着）杉山（二着）佐藤（三着）下はテープを切る横佩選手

南蠻彩船（103）

鈴木氏亨作
布施長春畫

道中（三）

「路銀？そりや、夕べ寢る前に、しつかり腹にくゝりつけて、ゐなしつたぜ」

「くゝりつけてゐたに相違ないんだが、それがさ、見えなくなつたんだから不思議なんだよ」

「そんな筈はないでせう。昨夜親方がくゝりつけてゐたのを、ちやんとこの眼が見てゐたんですぜ」

「それがねえんだから、不思議だと云つてるんだ」

「だつて、別に泥棒が入つてたといふ形跡も、ないぢやアありませんか」

「さうなんだ」

庄右衛門は血眼になつて、部屋中を探して廻つた。

然し、胴巻らしいものも、路銀もどこにも見つからなかつた。

「泥棒が、やつぱり入つて來やがつたのかな！」

「さうかもしれませんぜ、親方、泥棒が！」

助八の聲は、案外大きかつた。

「泥棒、泥棒！」

宿屋が急にざわついて來た。ばた／＼とかけつける足音がする。

女中が、番頭が、庄右衛門の部屋に顔を出した。

「泥棒は何處で御座います」

彼等は、色を失つてゐた。

「胴巻がなくなつたんだ。落した覺がないんだが、さうかと云つて泥棒の入つた形跡もなし、百兩の路銀を入れた胴巻が、ゆうべしつかり腹にくゝりつけて寢たと思つてゐたのに、きれいに拔かれてゐるんだ。さいつて別に變つた樣子もなし……」

道の庄右衛門も、胴震ひしてゐた。

「いやぢやありませんか。泥棒なんて！おゝこわ」

女中が、自分のことのやうに云つた。

「入つた樣子もなければ、出ていつた樣子もない。こりやア相當なもんだ！」

番頭が云つた。

「他人事ぢやないぜ」

と、助八が一本きめつけた。

「こりや旦那、直ぐ、代官樣へ訴へて、手配して貰ふより仕樣がありませんぜ」

「急いでやつてくれ」

命令するやうに助八が云つた。

「聲はすれども姿は見えぬと云ふことがありますが、盜まれたことが判つてゐながら、入つたのが判らないなんて、まるで、なんだかのやうな泥棒ぢやありませんか」

女中は、氣の毒さうに云つた。

「一刻も早く、代官所へ行かねばならない」

番頭が起ち上つた。

女中もあとからつゞいた。

「だが、助ツ、こんな不思議なことはないな」

「全く、ゆうべ腹にくゝりつけたに相違ないのが、胴巻ぐるみ拔かれるなんて餘程巧な泥棒ですな」

「さういへば、親方はよく寢てゐましたぜ」

「今度といふ今度は、散々な目に逢つた。楓の阿魔は殺して了ふし、伊勢詣りの路銀は胴巻ぐるみ拔かれてしまふし、仕方がねえ歸るとしやう」

「親方、本當に今年は、へまばかりですな。これから國へ歸つて、この敵を討たねばなりませんな」

×　×　×

同じ日の朝、木津川に沿ふたそゝり立つ巖石の道を、かるさんを穿いた一人の男が急いでゐた。彼は矢のやうな速さで、見てゐるまに、岸から岸と、嶮しい道を歩いてゐた。

「ざまあ見ろ、庄右衛門の奴が、今頃は泣き面かいて困つてゐるだらう！」

嘯くやうに云つて、にんまりした。

彼は石川五右衛門であつた。

滿洲日報
四月十五日發行
發行人 鈴木昇
編輯人 橋本喜代治
印刷人 本村武盛
大連市東公園町卅一番地
發行所 株式會社滿洲日報社

イカリソース

北支那政權獨立化す
わが國の北支投資をも許す
南昌會議黄氏に一任

【上海特電十四日發】確聞するに南昌會議の結果は黄郛氏を首班とする北支政務整理委員會の權限を擴大し、北支に於ける一切の問題は自由裁決を許されることゝなつた

一、北支某問題に關しては一切の解決權を黄郛氏に一任
一、北支の平和繁榮のため行はれる交渉の權限を許す
一、北支の財政經濟の改善、支那に利益ある一切の外國の投資（日本を意味す）を許す

等の原則を決定し北支に於ける日支問題は全く中央より獨立し北支は實質的に獨立政權となつたといはれる（寫眞は黄郛氏）

黄郛氏赴寧

【上海十四日發國通】支那側報道に依れば南昌會議に於ける對日問題に關しては汪精衛、黄郛兩氏間に意見の一致を見黄氏は十四日飛行機又は雨天なれば軍艦中山號で南京に赴くと

代表を廣東に派遣
西南派の諒解を求む
北支問題で國府發表

【上海特電十四日發】南昌會議に出席した汪精衛氏は十四日午後南京に歸任、直に關係要人を招集して北支問題解決案の協議を遂げた、しかして西南派の反對に對し諒解を求めるため南京代表を廣東へ派遣するに決した、國民政府當局は北支問題に關し次の如く發表した

問題は重大である、日本側の要求たる通車、通郵問題を要求通り解決することは滿洲國承認の前提となるのみならず直接交渉をなせば自繩自縛となり國際的同情を失ふこゝなるを以て日本の要求は斷じて拒絶する、日本が北支を侵略せんとせば不可能でないが國際關係と自國の國內關係を考慮してゐるから容易に實行するには至らないと强硬な而も樂觀的意見を述べてゐる、尚有吉公使は十五日南京着汪精衛、黄郛氏等と會見をなすが同公使今回の入京は歸朝に先立ち儀禮的挨拶のためと發表した

通車問題を先づ解決

【南京十五日發國通】南昌會議を終へた汪精衛氏は十四日午後三時軍艦中山號にて着京、直に中央黨部に林森、居正、羅文幹等在京要人三十餘名を招集して南昌會議の結果を報告した後討議を行つた尚中國側要人の談による南昌會議の結果當局は華北の現狀を維持する爲め軍、政、黨三方面の合作を促す筈で通車、通郵問題は後者が萬國郵便條約に關係があるので中國側は兩者を全然別個のものとして先づ通車問題の解決に當る方針を決定したと

デマは全く虚構
わが外務當局は語る

【東京十四日發國通】最近北支方面には日本が秘密裡に種々の軍事調査を爲しつゝありとの虚構の宣傳が盛んとなり支那紙は勿論上海英字新聞其他歐米の新聞にも之等が眞しやかに掲載され日本に對し疑惑を持つてゐる向もあるので我外務省としては事情取調中だつたが右は全く虚構なる事判明した卽ち北支方面の宣傳は

一、百名の日本將校が參謀本部派北平公使館附武官と協議を重ね察哈爾、山西、河北、陝西方面に赴いた
一、河北省の馬蘭峪に飛行場を構築約十臺の軍用飛行機を駐屯せしめてゐる
一、若し支那が滿洲國との間の郵便鐵道につき○○の要求を拒絶せんか重大なる事件發生すべし

等々の內容であるが右につき我外務當局は十四日左の如き當局談を爲した

參謀本部から多數の將校が渡支し察哈爾其他の方面に赴いた事實はないが天津、北平方面に日本人の赴く者が眼につくのは春先きの恒例の事だ、特に熱河に在る關東軍が交代したので交代兵が北平見物に出かけたものがあるので大袈裟に傳へられたものであらう、馬蘭峪の飛行場問題云々は全然嘘だ、察するに目下南昌會議で北支政權の大立物黄郛が終始南京政府と打合せしてゐるから北支の日本の脅威を大袈裟に報道して各人各派の要人が自己の立場を有利にする爲め利用してゐる事に基因してゐるのではあるまいか、何れにせよ斯かる捏造の排日的デマを爲すに於ては帝國政府としても何等か有効適切な處置を執る必要が起るだらう

滿洲鐵道早廻競走 紅白兩班走行圖
（走破總距離五、二二〇粁四）

十五日午前五時現在	所要時間	走破粁數	實走粁數
紅班	四日一四時	一六五〇・六	二五四一・五
白班	四日六時五分	一七六四・三	二四七八・五

教育行政權の移管
簡單に行かぬ
けふ歸連して 滿鐵八田副總裁談

中央政府と重要打合せの爲め滯京中の滿鐵八田副總裁は杉本秘書役野村秘書係を從へ十五日午前七時二十分入港のうすりい丸にて歸連したが船中往訪の記者團にサロンにおいて滿鐵現下の重要問題に就いて左の如く語る

附屬地行政就中教育行政の移管問題が新聞紙上に今にも具體化するが如く傳へられてあるが決してそんな事はなくたゞ拓務大臣から座談的に滿洲における教育行政を統一したいといふ話を聞いたに過ぎぬ、それに對して滿鐵側としては何等意思表示はしてゐない、從つて拓務省と滿鐵、關東廳と意見一致したとかそんな事は絶對にない、然し現在地方部長が上京してゐるが附屬地外における邦人子弟教育に就いて色々新方針を決定しなければならないので外務省、拓務省と折衝を續けてゐるのだ、これは九年度においては附屬地外の教育は費用を國庫から支出したが滿鐵がやることに暫定してゐるが、十年度からはどうなるか決つてゐないので、この點に寧ろ我々は關心を有してゐる、滿洲の教育行政の問題にしろ廣汎な地方行政と關聯して考慮すべきでそれには中央政府の根本國策方針が決定しなければ出來ることでなく我々には未だ根本方針なるものを示されてゐないから何とも足を踏み出す筈がないではないか

◇

滿鐵の改組問題に就いては鐵道關係の統一が頻りに唱へられてゐるが、さう簡單に實現は難しい、未だ我々において具體的に考へてない、問題が事務的のみの見地から出來ないことで色々政治的關係を考へなければならないので種々の困難があるのだそれと同じことで經濟調査會と計畫部との統制も新情勢に應じて考へてゐる、商事會社設立の問題も愼重研究中だ、尤も滿鐵の改組に就いては中央關係省でも充分研究を行つてゐる

◇

佐原觀光局長の滿鐵入社は目下話を進めてゐるから實現をみるかと思ふが鐵道省池田建設局長の滿鐵入社の噂は事實無根だ、なほ鐵道關係で滿鐵で人を要求してゐることは事實だ、數日中に新京に行く

林陸相の心境に變化
十五日中に留否決せん

【東京十五日發國通】閑院參謀總長宮殿下から有難き御言葉を拜した林陸相は軍の內外の情勢がその留任を切望しており特に眞崎教育總監が極力勸說に努めた結果心境にも相當變化を來たした模樣で陸軍部內ではこの陸軍總意の慰留に對して林陸相は必ず飜意するであらうとの期待をかけ樂觀する向が多い、何れにするも陸相の留否は十五日を以て最後の決定を見るものとして注目されてゐる

總長宮殿下より御懇篤な御言葉
陸相恐懼、宮邸を退出

【東京十五日發國通】林陸相辭任問題勃發のため御豫定を變更遊ばされ急に御歸京の閑院參謀總長宮殿下には十四日午後九時二十分東京驛御着御歸邸遊ばされるや直に林陸相を御召しになつたので林陸相は九時四十五分閑院宮邸に伺候殿下に拜謁仰付けられ陸相より實弟白上佑吉氏の有罪の判決ありたるため綱紀問題に關して兎角の噂ある際であるから自分は身を以てその範を示したいとの信念より辭表を提出した旨並に參謀總長宮殿下御旅行中に辭表を提出御旅行の御豫定を御變更遊ばされるに至つたに就ての御詫びを言上した處これに對し殿下より御懇篤なる御言葉を賜つたので陸相は恐懼して十時二十五分宮邸を退出した

總長宮殿下 眞崎總監御召

【東京十五日發國通】眞崎總監は御召しにより十五日午前九時二十分閑院宮邸に伺候、總長宮殿下に拜謁仰付けられ殿下より林陸相辭表提出に關し御下問あらせられたので總監は謹みて陸相が辭表を提出するに至つた事情並びにこれに對する自己の意見及び軍部の意向について詳細言上、更に今朝陸相と會見現在に於ける心境を聽取せる顛末を申上げたるに殿下には眞崎總監に對し同總監より改めて陸相に飜意を懇請するやうにとの御沙汰を拜したので眞崎總監は恩命を畏み九時四十五分宮邸を退下し再び陸相官邸に林陸相を訪問、宮殿下の有難き御意向を報告し更に陸相の飜意を要望し種々重要打合せを遂げた

若山部隊長
けふ新京に到着
滿洲皇帝侍從御差遣

【新京特電十五日發】滿洲警備の一重大任務を負うた若山中將は十四日午後四時半新京着京圖線列車で加藤大佐、川波、田中兩少佐、佐々木少佐、古野一等主計正、鷲津一等軍醫正、西城一等軍醫正、黒木法務官等司令部幕僚を從へ到着した

驛頭には特に滿洲國皇帝陛下の聖旨を奉じて侍從武官石丸中將が出迎へた外、參謀長西尾中將以下關東軍各課長及び司令部員各學校生徒、在郷軍人等、婦人團を初め日滿要人驛頭を埋める歡迎ぶりで西尾關東軍參謀長との握手及び石丸中將の聖旨傳達は迎へられた者も迎へた者も感激そのものであつた

驛貴賓室において出迎へ者の挨拶を受けた若山本部隊長一行は關東軍差廻しの自動車にて新京神社に參拜、着任を奉告後滿洲屋旅館に長途の疲れを休めたが十五日菱刈關東軍司令官に着任報告を行ひ任地へ赴任の命令を受け一時半より在京記者團と會見の筈である

林陸相留任

【東京十五日發國通至急報】三長官會議で林陸相は遂に飜意留任に決定した

滿洲鉄道早廻り競走
紅班大英斷を以て豫定ダイヤを變更
紅白東西兩線に分る

【奉天特電十五日發】こゝ一兩日を大體豫定通りに走つて來た早廻り競走も十五日紅班の豫定變更による瀋海線入りによつて俄然再び前途の豫測を許さないことゝなつた、而して紅班の豫定變更に關しては紅班相談役はこれを否定してゐるが、こゝ一兩日來の會議と河村選手に發せられたる十日夜の緊急指令電報から察して疑ひのない事實でその紅班の思ひきつた變更事情は左の理由にありと觀測されてゐる卽ち

スタート以來の紅白兩班の足どりによつて兩班相談役とも出發日に至つて大體對手方のコースの豫測が可能だつた、その結果大體十七日頃以後は兩班ともに北滿、北鮮を同コースによつて走るの決戰が明かになつて來た然るに紅班としては白班がなほ撫順線を殘すとは言へ同コースを走るときは出發當時に殘された約八時間のハンデキャップを取返すことは殆ど不可能でありこゝに大英斷をもつて急遽新コースの變更に至つたものと見るべく

殊に紅班としては白班とは全然逆な滿鐵線を中心として東から西に廻り滿洲早廻り線の新コース開拓を目指すもので同コースとしてのベストが紅班によつて樹立されるところに本競走の興味を一層增大してをり紅班相談役又本コースによつて必勝を期してゐる

紅白兩班の選手 無言のすれ違ひ
十六日中紅班吉林着か

【奉天特電十五日發】紅班河村選手は十四日午後北票線を終つて錦州へ乘り換へ午後十一時五分發の四二列車に乘車平山（聰）紅班相談役も同乘して道を奉天に向つてさり車中作戰本部からの機密電報を受取つて緊張裡に十五日午前五時五十五分奉天驛に着いたが連日の苦鬪を物語る髯面を現しこゝに出迎への平山（眞）相談役からコースの再指令を受け同平山相談役と何事か耳打ちを行ひその儘同列車で走破を續け秋山支社長等の見送り裡に豫定より十分遲延し奉吉線に入つた

紅軍が十五六の兩日中に奉吉線を走破することはこれで明かである、待たれるコースはそれ以後だ、なほこの日大虎山一つ手前の驛唐家窩舖（午前二時三十分頃）驛では奉山線を引返した紅班河村選手と大虎山に向ふ白班吉田選手がすれ違つてゐるが深夜の而も對手方のコースを知らぬ兩選手は遂に言葉を交はすことが出來なかつた

瀋海線に驀進す
河村紅班選手
十五日奉天にて

三日二夜の徹宵走行の後十四日一日かゝつて朝陽北票間突破を完走した記者は錦縣午後十一時五分發の四十二列車に乘り奉天に引返す途中疲れのため輾信紙に向つてペンをもつたまゝ睡魔に襲はれ遂に通信することを得ず十五日朝六時に奉天驛に到着した記者は今此處に落付く暇なく直に瀋海線に向つて行動を開始することゝなつた

白班大鄭線へ

【奉天特電十五日發】紅班のコース變更により鐵道早廻り競走はます〳〵佳境に入つて來たが十四日午後四時五十分安東を出發した白班吉田選手は元氣に旅を續け午後十時五十分奉天驛頭に秋山本社支社長等の出迎へを受け僅か五十分間の聯絡期間に錦田驛長の通過サインを受け直に同五十五分奉天發山海關行の四一列車に乘換へ白班は再度の奉山入を行つた、而して同選手は午前二時四十分大虎山着安らかな眠りを取る暇もなく同驛から大鄭線に乘換へ大虎山午前七時發の二九八列車で通遼に向つて一路北へのコースをとつた

蛇角

◇ 林陸相心境の變化？事實とすれば望ましき變化である。

◇ 序に齋藤首相も心境の變化を來し總退却の準備をするがよい。

◇ この希望、矛盾のやうであるが決して矛盾でない。

◇ 憤然不參加かと思つたら欣然參加とは驚いた。

◇ 日本體協能がない、滿洲國體協を見殺しにする氣か。

◇ 白班打通線へ、紅班瀋海線へ、競走ます〳〵興味を加ふ。

◇ 春光の下、競ひ立つ韋駄天四十名、勇まし〳〵。

はいかる丸 十六日午前七時大連港外着豫定

人事

▲八田嘉明氏（滿鐵副總裁）十五日午前七時二十分入港のうすりい丸にて歸連
▲杉本重道氏（同秘書役）同上
▲岩井勘六少將（大連在郷軍人聯合分會長）同上
▲深澤暹氏（元吉林總領事）同上來連
▲加藤德雄氏（日清製粉重役）同上來連
▲中谷保氏（安全自動社社長）同
▲坪井俊三氏（山下汽船重役）同
▲蓑田靜夫氏（日本漁網重役）同
▲戸田德夫氏（滿洲醫大教授）同上歸滿
▲竹森愷男氏（鐵路總局貨物係主任）同上歸滿
▲遠藤謙氏（伊藤忠大連支店長）同上
▲田中知平氏（泰東洋行主）同上
▲關安成氏（關東廳警部）十五日午前七時二十分着列車にて歸連
▲河本大作氏（滿鐵理事）同上
▲大內成美氏（大連市會議長）同

生活の虹（102）
菊池寛作 志村立美畫

新しき同情（四）

誰であらう。綾子は、手紙の上に、そつとハンド・バッグをのせて、かくすと、キッと身構へて、足音の主を待つた。

そこの襖を、ガラリと開けたのは、意外にも、村山であつた。

彼は、息を彈ませて、しかし、其處に綾子を見出した瞬間、うれしさうな表情にたちまちかはつて、づか〳〵と部屋の中には入つて來ると、

「あゝ、安心、安心。あのまゝ何處かへ貴女が行つてしまはれたかと、僕は、隨分心配しましたよ」

と、云ひながら、綾子の眞正面に、そのまゝペタリとすわつてしまつた。

綾子は、村山の興奮が、何故だか解らなかつた。彼女は、默つて村山をみつめてゐた。

村山は、坐つてしまふと、かへつて落着きを失ひ、顏を赤くして、次の言葉は、なかなか云ひ出せない風情であつた。

「御心配をおかけして、すみませんでした。でも、私別に何も致しませんから、どうぞ、おひきとり下さいませな。また、典子さんでも、歸つて見えると、どんなことおつしやるか解りません」

と、綾子は、村山の自分に抱いてゐる好意を、或程度に感じながら、さう云つた。

凜然と、此の家のものは、みな敵にまはしたやうな、綾子の言葉に、村山は、ちよつと鼻白みながら、しかし、そこは外交官と云ふ職業柄の、ものやはらかさで、

「よく分りましたが、その前に、一言だけ申上げ度いのです。邦男君も、あのまゝ、貴女がもとの家へ歸られたのではないかと、案じてゐられました。僕も、貴女は邦男君の妹として、此處に居て欲しい一人なのです。典子さんの無禮には、僕も、憤慨し、女性としてのあの人の性格を輕蔑したくなりました」

村山は、赤くなつた。そして、表情が、固くなり、語調がせまつた。彼は、綾子にしつかりと眼を置き、また、せはしなく視線をそらせたりしながら、

「御存知かも知れませんが、大體僕は、典子さんの許婚のやうになつてゐます。僕は……邦男君が、貴女を愛人のやうに、好いてゐられた時分僕も、貴女を一度見た丈で隨分貴女と云ふ、淸純な美しい方を、推奬したものです。それが計らずも、貴女が、邦男君の妹だと知つた時、僕は、心からうれしかつたのです。貴女が急に僕に[illegible]い人のやうに思はれて來たからです。僕は、典子さんに、最後の承諾をまだ與へてないことが、喜ばしくなつたのです」

ゆるがせにできない空氣になつてしまつた。綾子は驚きながら、一時、己れの興奮を忘れて、村山の言葉に耳をかたむけるのだつた。

「しかし、それだからと云つて、このやうなことは、人に告ぐべきことではないし、僕は、典子さんのあゝした態度を見るにつけ、これからの荊棘にみちた貴女の生活を思ひ、及ばずながら、貴女を護る騎士になつて、貴女の幸福のために、陰ながら、お力添へをしようと、思つてゐるのです」

彼の言は眞實であつた。彼の唇のあたりは時々、心をあからさまに云ふ恥かしさに震へ、顏は、眞赤に血の色を浮べてゐた。

陽光と拍手浴びて 勇躍スタートを切る

春の街頭を走る健兒四十名

けふ本社主催 フル・マラソン

全市の殺人的人氣を集める本社主催の第八回本社前—蔡大嶺間往復、フル・マラソンは快晴に惠まれた十五日午後一時を期して擧行された

人々の聲援を受けて

時の來るを待つ、午後零時五十分、高橋召集員の召集に應じ選手一同ユニフォームに身を固めスタートラインにつき前年度一部優勝者志水選手より滿鐵社長盃及び二部優勝者百東選手(代理)より關東長官優勝旗を返還し村田本社々長は「日本民族は物事に永續しない性質を持つ、瞬間的なものを好む傾向が長時間に亘るものは嫌ふ傾向がある、これに耐へる精神を養ふにはマラソンの右に出るものはないと思ふ、どうぞ選手諸君は日頃の練習の眞價を充分に發揮せられて戰はれんことを望む」と開會の辭を述べ續いて山岡審判長のレースに關する

注意 後正一時小數賀出發員の號砲を合圖として四十名(志水選手は足部負傷のため不參加)の選手は雲集せる人々の拍手と聲援に送られ、一路蔡大嶺引返し點を目指して勇躍姿を消した

優勝楯授與式

本年度より新たに授與される宗像氏優勝楯の本社への贈呈式は十五日午後零時三十分より本社前に於いて林田體協主事以下運動關係者參列の上擧行、寄贈者宗像金吾氏より村田本社長に一個の優勝楯を贈呈し本社々長は感謝の辭を述べるところあつた、馳せ參ずるもの最年長者五十七歳の宗像金吾氏、最年少者十七歳の黑川少年等總計四十名、選手一同は定刻より集まつた應援團の

寫眞說明 上、優勝楯授與式 下、選手出發の刹那

岩井少將歸連

大連在鄕軍人聯合分會長岩井勘六少將は軍人會館落成式出席の爲め上京中のところ十五日入港のうすりい丸にて歸連したが船中語る

軍人會館の落成式と全國在鄕軍人聯合分會長大會出席の爲め上京した、この大會の席上で例の宮脇代議士の失言問題に就き在鄕軍人としての決議を行つたのだ氏が結局宮脇代議士には會へずそのまゝだ、今内地において も在鄕軍人は思想善導の中心勢力として積極的に働きかけてゐるが、これは決して右翼運動を意味するのでなく飽くまで厚民中庸の指導精神を以てやつてゐるので非難されるやうなことはない

サンマー・タイム 今年こそ實現か

具體案の成製を急ぐ社員會

日出が早く日沒がおそい夏の間にサンマー・タイムを實施しやうとの計畫は滿洲に於いて久しいもので未だに實現しないが、今年こそは實行されそうな形勢となつた、

問題を取り上げて討論した結果從來現場關係からあまり乘氣でなかつた鐵道部側も不贊成者なくもし滿鐵全體として實行するならば大勢順應に否かならざることを示したので急速に具體案

人事課で タイムを施行し、四月一日より九月三十日まで七時始業、二時終業として好成績を收めて居るので昨年度はこれを全滿鐵に及ぼすべく

立案 し重役會議に提出したものだが、今年社員會が贊成してこの人事課案をバツクすれば實現は容易であらうと豫想されてゐる、尤も現在サンマー・タイムと稱されてゐるものには

一、大連商工會議所が唱道して居る五月一日より九月三十日に至る五箇月間、全滿一齊に時計を一時間早めるといふ眞のサンマー・タイム

二、夏期間だけ特に事務の始業及び終業を早める

といふ二つがあり、十日の社員會役員會に於いても兩案の

可否 が論議されたが第一案は全滿的に實行容易でなく、たとひ實行し得ても鮮鐵や國鐵の連絡等に支障を來すので至難と見られ、結局第二案が有望となつて居る、しかして第二案中に於ても

一、撫順炭礦のごとき方法によらんとするもの

二、四月は八時半、五月は八時、六、七、八月は七時、九月は八時と始業時間に段階を設けるもの

三、五月から九月末まで七時始業中食拔で零時半終業とするもの

など色々の方法があげられて居りいづれの方法によるかは來週の社員會役員會までに決定する筈

美髪美容術の講演會

けふ大連署で

「女髮結」も美髪美容師といふに呼稱が變つて近く關東州に内地同樣の試驗制度が實施されようとしてゐるがこれが規則の改正を控へて大連美髪美容同業組合では大いに技術向上を圖らうとしてゐる矢先、東京の日本美髪美容女學校々長森島藤一郎氏が滿洲視察に來連したのを絶好のチャンスとし十五日午前十時から森島氏を招聘、大連署講堂で講演會を開催した、來聽者は大連市内百五十名の美容術師とそのお弟子さん達で春にふさはしい着飾つた婦人が大部分を占め森島氏の現代美容術に關する講演に耳を傾けた(寫眞は會場と森島氏)

大會參加に決定

日本體協から比島、滿洲國へ通告

囂々たる非難起る

【東京特電十五日發】滿洲國參加問題に關聯して極東大會に對する態度を決定しかねた日本體協は十五日朝に至り遂に大會參加の決定をなした、これは顧問村陽太郎氏がスポーツ精神と國際關係なしきりに唱へて體協の不參加論者を說き伏せた結果であつて、これと同時にフイリツピンに回答を發し滿洲國體協へも通告したが國際協調の精神を諒解し侮辱されたフイリツピンへ頗る懇懃の態度で滿腔の誠意を表し滿洲國へは支那のフイリツピンとの提携が極東大會の基礎であるからしばらく隱忍せよと通告したことは明かに滿洲國に對する侮辱であつてスポーツの名による我が國策の無視蹂躪であると非難され殊に上海會議のごときは結局日滿兩國の面目を失墜した歸結となつた事を憤慨するものが多い

【東京十五日發國通】極東大會參加か不參加かの最後態度を決定する體協全體會議は十四日午後八時半より丸の內中央亭で開催豫想された如く議論沸騰波瀾を極めたが嘉納名譽會長を始め午後十時半出席せる平沼副會長更に郷名譽主事或は杉村顧問等有力者連の大會參加說は漸く全員を動かし十五日午前零時に至つて遂に第十回極東大會に日本は參加し而して堂々大會改造問題を提出すべしと決定十五日午前二時別項の如きステートメント及び比島に對する回答文を發表して散會した

體協の重大な誤謬

【東京特電十五日發】日本體協よりの通告に對し滿洲國體協の在京代表はかねてこれを豫期したので既に第二段の對策について講究中であるが、日本體協が滿洲國との縱樣よりも支那、フイリツピンとの友誼を重んじた重大なる誤謬はこれを單にスポーツ限りのもののみ見る事は不可能であつて日滿兩國の關係及び滿洲國統治の上に重大なる影響あるものとし、この際滿洲國政府及び日本在滿機關首腦部より日本政府に對して何らかの發動が行はれるものと豫期しつゝある

比島體協への回答全文

【東京十五日發國通】比島への回答全文左の如し

四月十四日附貴電を謝す、大日本體育協會の多年貴協會と協力して極東選手權競技大會の爲め盡力し來りたるは之により極東に於けるスポーツ精神の向上及びアジア諸民族青年間の親交に資せんが爲めなり、從つて大會に關する諸問題を處理するに當り本協會は常に明朗、禮讓及び友愛の精神を以て善處せんことを期す、滿洲國體育協會の比島大會參加問題についてもこの精神より熱心に我が所感を開陳したるに拘はらず我が眞意が未だ充分に徹底するに至らざりしは遺憾なり、然れども本協會は本問題に對する比島協會の困難なる立場に對しては當初より充分の諒解と同情とを有するものにして殊に貴電により貴協會がたゞ極東諸國のスポーツマンシツプ助長を望む熱心なる誘導を以て本問題の解決に當らんとせらるゝに對しては滿腔の敬意を表せんとす、よつて本協會は極東大會に對する前記本協會の態度並びに滿洲國體育協會參加問題の解決に對する貴協會の誠意ある言明に鑑み滿洲國體育協會參加問題に關連せる憲法問題を大會中に改正せんとする事を承諾し且つ欣然今回の大會に參加すべきを決し之を貴協會に通告するを喜ぶ

體協の聲明書

【東京十五日發國通】平沼副會長の名を以て發表された體協ステートメント大要左の如し

大日本體育協會が滿洲國體育協會の極東大會參加要求を極力後援し來りたるは全くスポーツの本質と極東競技大會の精神に基くものにして競技參加の實力あり又之を希望するものを無碍に斥くべからざるのみならず之に對し欣然參加を應諾すべきは明朗公正なるべきスポーツマンの精神上當然のことに屬す、然るに會議の經過及び結果は遺憾乍ら形式的不備なる現行憲法の規定を中心として論議を上下するに過ぎざる感あり、吾人をして甚だしく絶望せしめたる所以なり、然るに今第十回極東選手權競技大會の主催たる比島體協よりの公電によれば一切の政治的考慮を捨て其の精神と誠意に於て必ずしも本協會の態度と主張とに背馳せずたゞ其の立場上立論の方法につき些か異なるものあるのみなるを知り其の信義と好意に酬ゆるの必要を痛感したり、本競技會は滿洲國體育協會の素志貫徹の爲には本協會が競技大會の柱石たるの地位を保持し飽くまで隣邦諸協會の說得に努むるの一途あるを思ひ殊に今回の競技大會より新たに加はる佛領印度支那及び蘭領印度兩國に對しても我等は情誼と儀禮を表明するの義務を感じ茲に豫定通りマニラ競技大會に參加するものなり

屈辱外交の典型

岡部平太氏憤慨して語る

【東京特電十五日發】右に關し岡部平太氏は語る

日本體協がスポーツ精神とか國際友誼とかいふ理由の下に遂に極東大會參加を決定したことは實に心外であり屈辱外交の典型をこゝにみる感がある、上海に於てあれだけ侮辱されながら支那、フイリツピンとの友誼のためにおめ／＼と參加して對滿洲國との友誼をどうする積りであるか、事こゝに至つた滿洲國體協は最早日本體協と完全に絶緣し全體的に闘ふ外はない、日本體協は三月二日の會見及び十日竹越、瀧谷兩代表が滿洲國體協との間に若し滿洲國參加の目的が達せられなければ日本は直ちに脫退して滿洲國と一致の行動をとると公文書で誓約してゐるこの誓約を無視して今一方的に參加の態度を決して滿洲國に通告するとは何事か殊に體協は山本博士に全權を委任しておきながらその歸京を待たずにこの態度を決したことも奇怪至極であつてかくの如くわが國策に反した行動をとる體協に對し政府が國費を與へて參加を獎勵するといふことは結局行はるべきことではないと思ふ

一方日本體協は滿洲國に對しては我責任の大なるを思ひ此の際一層自重し誠意と忍耐とを以て問題解決に當る旨の文書を手交した

中心團體の努力を望む

滿洲體協 林田主事談

右に關し林田滿洲體協主事は語る

大日本體育協會が極東大會に參加する事に決定したといふ事は信じたくない電報で山本博士が歸京後に決定さるべきものと思ふ、マニラの會議や上海の會議の模樣を當事者たる山本博士から聞かずに唯電報の往復のみに依つて決する事は其間に誤解があつたりする恐れがある、吾々滿洲に居る者としては特に滿洲國との關係も濃厚なので友情として滿洲國の參加が不能になつた場合は日本選手の參加を止めて貰ひたいと思ふ、此の電報に依つて極東大會に滿洲國參加問題が終末を告げたとは考へられない、日本の中心勢力を爲す陸上聯盟では、十六日に全國の代議員會が開かれるから此の席上で勿論此の問題が論議される事であらうし之に依つて陸上聯盟の態度は決するものと思ふが吾々は飽く迄滿洲國の參加が實現するやうに中心團體の努力を希望して居る

滿洲體協から村上代表上京

日本體協では別項の如く極東オリンピック大會參加に決定したが協會の中心勢力たる日本陸上競技聯盟では十三、十四兩日理事會を開催、更に十六日全國加盟團體の代議員を招集の上代議委員會を開催し同問題の經過を報告することゝなつたが滿洲體育協會では十五日朝出發の飛行機で滿洲陸聯理事村上國平氏を代表として急遽上京せしめた、なほ滿洲體協は極東オリンピック大會への選手派遣は絶對反對であるが來るべき大會には日本體協より代表を派遣し憲法改正を行ひ滿洲國參加の實現を期すべきことを主張する模樣である

滿洲國兩代表 はとで歸京す

滿洲國代表小川增雄、久保田完三兩氏は十五日午前九時發はとで歸京した

滿洲軍用犬協會 關東州支部發會式

けふ盛に擧行さる

滿洲軍用犬協會關東州支部の發會式は十五日午前十一時鏡山要塞司令官、御影池大連民政署長、田中關東廳農林課長、小川市長、高柳將軍、若月市會副議長、張本政氏等を初め官民來賓並に會員三百名出席して常盤小學校講堂にて開催劈頭高塚委員の開會宣言あり、小林委員の經過報告ありたるのち若月委員より左の如く支部長(御影池民政署長)のほか幹事、常任幹事(◎印)を發表

▲大連(石井金吾、◎伊藤正綱、若月太郎、吉田嘉平、◎高塚源一、◎辻慶太郎、黑髮善平、小林五郎、平岡與平治)▲旅順(岩朝庄作、◎神崎孫助、竹中延太郎、大楠次郎平)▲金州(加世田彌二郎、浦江八百顯)

次で御影池支部長の挨拶、高柳會長の式辭終つて鏡山要塞司令官、田中農林課長(內務局長代理)小川市長、張本政氏、根橋滿鐵計畫部長(總裁代理)らの來賓祝辭および祝電披露ありて閉會、引續き祝賀宴に入り松岡旭芳女史の「椋倉少佐と三忠犬」の琵琶演奏あり、午後一時半より軍用犬の訓練實演行はれ盛會であつた

飛んだ異國情調

春のミナト・犯罪小品

東京生れ竹内長興(二七)と香川縣生れ吉方勇(二一)は船中で懇意となり十二日入港の香港丸で仲良く上陸し市内吉野町五名古屋旅館に合宿した、その夜二人は異國情緒を

味はう と支那遊廓やカフエーを飲み廻り、最後に美濃町待合松家に登樓、蝶々、小梶、小つやの二人を揚げて豪遊しいざ泊る段になると庄に懷を當てにしてゐたので二人共懷中は無一文、そこで竹内は待合の女中を附馬にして名古屋旅館に取つて返し吉方の鞄を破つて三十餘圓を取り出し遊興費として

女中に 支拂ひ更に六十餘圓を盜み其夜は何喰はぬ顏で松家へ戾つて泊り翌朝一番列車で奥地へ逃走した、一方吉方は一夜甘き夢に浸つて翌朝十時ごろ名古屋旅館に歸つて見ると鞄の中の百餘圓が

消えて 無くなつてゐるのに氣付き忽ち醉が醒めて大連署に屆出た、同署司法係では奉天、新京方面に手配し目下竹内の行方を嚴探中である

娘十六

毒を呷いで昏睡狀態

春花を待たで十六娘の自殺未遂—十四日午前十一時二十分ごろ市内黑礁屯七四二三番地の二樋口雄智氏方で同氏姪小瀧原あき子(一六)さんが、奥六疊の寢室で苦悶してゐるのを家人が發見、傍らにアダリンの嚥み殘りが置いてあるので直に眞金町六番地梅■醫師を招き應急手當を施した、生命には別條ない模樣であるが未だに昏睡狀態を續けてゐる

あき子さんは日頃快活な方で每日家事の手傳ひをしてゐたものであるが遺書らしきものもなく覺悟の自殺と目せられる點は何一つ發見されないが、前日國元鳥取縣の姉から來た手紙を讀み感泣してゐた點などより何か家庭上の事情に擊たれ少女心に小さい胸を傷め一時の出來心に服藥したものではないかと見られてゐる

一驅逐艦觸衝

【東京十五日發國通】海軍省發表=今十五日午前一時種子ケ島南西の海上に於いて聯合艦隊の夜間襲擊訓練に參加せる驅逐艦○風は僚艦澤風に觸衝し○風には相當の損傷ありしも兩艦共人員に異狀なく何れも佐世保に廻航中である

天気予報

北西の風晴一時曇

滿潮(午前十一時三十五分 午後十一時五十分)

干潮(午前五時十分 午後六時)

各地溫度(十五日午前十一時)

大連十三度 奉天十二度 旅順十度 新京十一度 營口十度 新義州八度

丹下左膳 (76)

新講談　林不忘作　小田富彌畫

水滴々(一)

左膳は、たゞ一直線に陥ちたやうな氣がしたが。

穴は垂直ではなかつた。

直徑三尺ほどの幅に、急な勾配をもつてずつとこの地底のあなぐらへ通じてゐるのである。

察するところ、この地下室は、地上の穴から斜に入り込んで、丁度あの、路傍を流れる三方子川の眞下に當つてゐるらしい。

左手に濡れ燕を突いて起き上がつた左膳、したゝか腰を打つたらしく、拔けるやうに痛い。

「イヤ、不覺……」

苦笑しながら、掘りたての土軟かな床へ、刀を突き刺し、ひだり手で腰のあたりを撫らうとした時……今あの、タ、丹下左膳ではないか、久しぶりだナ、その後は御無沙汰、と言ふ聲がしたのだ。

「誰だッ?」

左膳、濡れ燕を構へるが早いか壁に飛びのいて、眼を凝らした。

地の底……。

幾丈とも知れない地下で、地上からの穴は急勾配なのだから、闇のなかに、何處やら微に外光が漂つてゐるに過ぎない。

が、聲をかけた人は、この暗黒に慣れてゐるらしく、

「キ、貴殿も足を踏み外したのかハ、、、、、やられたな」

といふ聲は、伊賀の暴れん坊、柳生源三郎である。

左膳もそれと氣付いて、

「源三ぢやアねえか。お前はこの司馬寮の火事で、燒け死んだと聞いたが、さては、こゝは冥府と見える。してみると、おれもあの世へ來たのかな」

薄く笑つて、左膳、聲のするはうを透かして見ると、柳生源三郎の、ほの白くさした白い顔が、その四疊半ほどの眞ん中にキチンと靜座してゐるのが、彼の一眼にもうつすらと見えて來た。

「イヤ、源三、お前は計られて、このおとし穴へ落ち込んだのだらうが、おれは、時のはすみで陥ちたのだ」

左膳はさう言つて、源三郎の前にドッカと胡坐。

縁をもつて不思議な運命に結ばれる二人。

この思ひがけない地底で、再び顔を合はせたのだ。

「何から話してよいやら……」

と源三郎も、心から懐しさうである。

左膳が、つゞけた。

「この罠は、火事にまぎれてお前を落し込むために、こしらへたものに相違ねえ。お前は見事、それに掛つたわけだが、丹波のやつたこの仕事を、おれの相手の伊賀侍が知る筈はねえのだから、おれは勝手に陥ちたやうなもので――しかし、驚いた。だが、おかげでかうして、死んだと思つた伊賀の暴れん坊に廻り逢つたのは左膳、こんな安心したことはねえ。是も今おれの手に入つてゐる、こけ猿の茶壺の手引きにちげえねえのだ」

莞爾と笑ふ左膳の片手を、源三郎、喜びと驚きにギユッと握り締めて、

「ナニ、こけ猿はいま貴公の手にある?」

「ウム、開きかけた壺をそのまゝに、貴樣の災難を聞いたので、飛んで來たまではいゝが、おれもそのお供をして此の始末よ、あはゝゝゝゝ」

二人は、フッと話を切つた。

どこやら闇のなかに、ポタリ! ポタリと、水の滴る音がする…

日活本社が直接 滿鮮臺に配給
係主任に伊藤氏榮轉

日活映畫の滿洲上映は從來臺灣、朝鮮並びに支那と共に關西支店の管轄に屬し、滿洲は關西支店より派遣されてゐる伊藤滿洲出張所長が配給その他の件に當つてゐたが今回日活重役會議の結果滿洲、朝鮮、臺灣並びに支那の配給事務は東京本社に於て行はれることゝなつた、卽ち從て關西支店では滿洲朝鮮、臺灣並びに支那の配給を統率する機關を新設すべく計畫中であつたが、東京に於ける重役會議はこの機關を第五部として本社に置き、右新設第五部主任には現滿洲出張所長を拔擢任命し、來る五月一日より事務取扱ひを開始することになつたものである、尚現在東京支社に於て扱ふ封切プリントは普通作品にて五本とのことであるが、伊藤氏は更に一本ふやして第五部配給用となし、滿洲より朝鮮、臺灣の順で上映する樣赴任と同時に本社幹部に交渉すると語つてゐるが、右第五部用プリント增加が實現するならば、日活映畫の大連始め滿洲各地上映は現在よりも一層早くなり、內地と殆ど同時に封切られることとなるう

伊藤氏後任は 濱田一郎氏

別項の如く日活の滿洲配給が五月一日より東京本社直接となり、その係り主任として伊藤滿洲出張所長が榮轉することゝなつたが、伊藤氏の後任は最近まで東京の日活直營館本所映畫館支配人であつた濱田一郎氏と決定、十四日神戸出帆の定期船で赴任の途についた、尚伊藤氏は後任者の着任を待つて事務引繼後五月一日の事務開始までには東京に赴く豫定であると

女優さんの卵 下加茂撮影所で 採用者二名發表

松竹京都撮影所では井上所長自ら先頭に立ち全國から女優の卵を探し三名を決定したが、最近正式に左の二名を發表した

八代輝子 本名西川光、二十歳、父は辯護士であるが嘗つて朝鮮に判事たりし頃京城で生る熊本縣八代高女出身、水木流の舞踊に長ず、故守田勘彌の藝風批評等一家見を有つ、娘役

堀江清子 純大阪兒、十九歳プール高女卒、ヴアイオリストを父に有つだけ音樂殊にピアノが上手、將來聲樂家として立つべく研究中を轉じたもの、ソプラノは既に一家を成す、本人の希望はヴアンプだが當分娘役

酒井米子一行 本夜より開演

酒井米子、葛木香一、光岡龍三郎、久米讓一行の實演隊はいよいよ本夜より大觀で開演するが、お目見得狂言は左の如くである

▲川村花菱作「唐人お吉」五場
▲江島弘作「嫁と姑」一場
▲行友李風作「江戸節お駒」八場

會議は踊る
協和會館及び日活館上映
―ウーフア日本版紹介―

獨逸ウーフアーの一九三二年度超特作映畫で、今回大連に上映されるものは東亞商事の提供全發聲日本版、監督はエリック・シヤレル撮影はカール・ホフマン、主演はリリアン・ハーヴエー、ウイリー・フリッチ並びに久々にコンラッド・ファイトの共演である

時は一八一四年、維納の街、史上に名高き平和會議、智謀並びなきメッテルニヒ宰相に操られて心なく踊りを續ける列強の盟主たち……物語りは平和會議をバックとしてウインナの評判娘クリステルとアレキサンダー王との戀を描く、クリステルが身分違ひの戀の破滅をおそれてゐる時ナポレオン再起の噂が傳はる全歐にまきおこる恐ろしい嵐―會議は踊りつゞける

曾てこれ程のオペレット映畫を見たことがない、觀客はこの映畫を見て監督エリック・シヤレルの偉大さを痛切に感じさせられるだらう、小夜曲と狂騒曲が非常に交配されそこから生れ出てるロマンチズムは、見るものを完全に魅了する、更に場面構成の美しさと演出指導の巧さ、音樂と畫との二つが完全に合致してフイルムに收められたものがこの「會議は踊る」なのだ、部分的に見て場面構成の點では隨處に現れる移動のすばらしさに先づ驚かされる、特に町の酒場の場面とクリステルが別莊に馬車を走らす場面がいゝ、音樂では酒場から手袋屋への獨唱と別莊への獨唱と合唱、それにラスト・シーンだ、兎も角もシヤレルはオペレット映畫の巨匠として讃へられるべきだらう

俳優ではコンラッド・ファイトがメッテルニヒに扮し彼獨特の演技によつて斷然光つてゐる、ウイリー・フリッチのアレキサンダーとウラルスキーの二役もよく、リリアン・ハーヴエーのクリステルも前記二優に劣らず好ましい、だが矢張り各俳優の演技にもシヤレルの力が感じられる、獨立した特徴のある三俳優の演技がシヤレルの巧みな手腕によつて完全に纏められ更に一層の光りを放つてゐる

何人にも喜ばれる映畫だ、特に洋畫を見つけた人からは絶讃を得るだらう、問題はオペレット映畫であるだけに解說に特別の注意を拂つてほしい、唯一路の努力に期待する―S―

(寫眞中央がリリアン・ハーヴエーのクリステル)

都會の子は腺病質 田舍の子は榮養不良
▽……二十歳頃には肺結核?

ミツワ文庫

文部省の調べによると、全國の小學校兒童が九百五十萬人ある中、榮養不良、腺病質、體重不足等の虛弱兒童は九十萬人、即ち十人に一人の割合でありますが、特に都會の子供には腺病質が多く、又田舍の子供には榮養不良が多い。そこで之等の十四五歲の虛弱兒童達をレントゲンで檢査して見たら、大部分は肺門(肺臟の入口)を結核に冒されて居り、尙統計の上から見てその三分の一は二十歲頃に肺病で斃れるのだと云ふゾッとする樣な報告ですが、それを早く注意して最も適當な豫防手當をすれば、病菌に對する抵抗力が强くなり、肺結核にならないで濟むので、それにはヴイタミンA、Dと燐・カルシウム・鐵、キナ、酵母等の綜合榮養料ミツワ肝油ドロップスを用ひて虛弱體質の根本的改造を計るのが一番だと云はれて居ります。

服み易き肝油製劑に就いて
醫學博士　原田退治氏

吾人の榮養には、從來から知られて居る蛋白質、含水炭素、脂肪、無機鹽類、水等の他にヴイタミンなる要素が絕對的に必要――換言すれば吾人の成長、生命維持、健康增進の爲めに絕對的に必要である事が、此二十數年前から闡明せられました。

而して此ヴイタミンなる要素にも、其後の研究によつてA、B、C、D、Eそれぞれ各異つた性質や働きを爲すものがある事が、次々に發見せられて來たのであります。

さて肝油が榮養劑として、昔から古き歷史を有する事實も、從つて即ちこのヴイタミン、特に其AとDとを多量に含有するが故である、といふ事も明かと成つた譯であります。

即ちこの肝油の有效成分のうちヴイタミンAは、人體の發育保健上に絕大の機能を發揮するものであります。つまり動物の成長に絕對的に必要なる要素であつて若し之を全く含有して居らぬ食餌でもつて、生長しつゝある動物を飼養すれば、其成長速度は次第に遲れ、遂には成長は中止してしまひます。そして體重は漸次減少し、諸種の傳染性疾患に對する抵抗力は非常に減殺され、結果は色々の疾病を起こして遂には斃れてしまひます。

然も斯樣に榮養障害を起こして成長は停止し、諸種の疾病に罹り易く成つたものでも、再び之にヴイタミンA劑を適當量に供給しますと、此病的狀態は恢復して、成長は促進せられ健康は增進して、潑剌たる元氣に成ります。

又夜盲症、眼乾燥症等の原因も此ヴイタミンA缺乏が主因であり從つて之等のものにヴイタミンA劑を服用せしめますれば回復し得るものであります。

總て之等ヴイタミンAは肝油中に多量に含まれて居るのであります。

次に之も亦肝油中に多く含まれて居るヴイタミンDは、Aと同じく脂肪溶性ヴイタミンとも云はれて、特に彼の佝僂病の豫防、或ひは治療に效力を有し、其他の無機鹽類の新陳代謝障害や、齒牙及び骨骼の發育不良等を防止する榮養素であり、元來ヴイタミンAと共に存在する場合が多くあるのであります。

即ち肝油は前記の如き特色を有し、榮養の增補を目的とする强壯料として、一般に虛弱者等に對して甚だ賞用せられ居ります事は今更云ふ迄もありません。が然しただ其缺點とする所は油狀なるが爲め、又特殊の厭ふべき臭味あるがため仲々飮みにくき嫌ひあるばかりでは無く、兎角消化不良を來たし易きを以て、よく其效果を見るに至る迄連用し難き場合甚だ少なからざるを遺憾とします。

然るに茲にミツワ肝油ドロップスなるものあり、頗る美味にして服用は容易、大人は勿論小兒に至るも喜んで服用し得られる事實は他に斯くの如き肝油製品を見ないのであります。而も歐米藥用肝油に數十倍のヴイタミンA、Dを含むミツワ濃厚肝油を原料とせるものでありますから、從つて同樣ヴイタミンADを强大に含んで居る事を信じます。矢張河合藥學博士の創製品であります。

更に此ミツワ肝油ドロップスには燐、カルシウム、鐵、キナ及び酵母ヴイタミンB等をも加へて、所謂乳化したるものでありますから、消化や吸收も甚だ宜しく、故に榮養不良、發育不全、虛弱、結核性素質、腺病質の人、眼や齒や骨の惡い人、其他等、々、々の人々には勿論、尙より以上の健康を欲する人々には理想的肝油製劑と云つて、決して過言では無からうと考へます。

(家庭醫事新報第十巻第二〇四號より轉載)

鐵骨コンクリートの樣な
ガッシリした體格に子供を仕立てたい

學校の出來ない子、勉强する割合に成績の良くない子、顔色の冴えない人、元氣の無い人、精力の續かぬ人、疲れ易い人、感冒を引き易い人、御馳走を食べても肥らぬ人、近眼その他視力の弱い人、齒の惡い人等は總て體質に大きな缺陷があるのです。そうした弱い體になる原因は或る肝要な榮養素が不足して居る爲に體の榮養が不釣合になるからで、早く其不足の榮養素を補へば

完全 な體質に收める事が出來るのであります。處で右に述べた樣な體質の人には何が一番不足して居るのかと調べて見ると、それは各榮養素の新陳代謝を司るヴイタミンAとD及び骨や臟や肺、心臟等の組織の養分たる燐とカルシウムと鐵等が不足なので、之等のものは元來食物の中に含まれて居る筈なのが近代人の食物には不幸にして其最も大切な榮養素が缺乏しつゝあるのです。それ故

肉類 野菜、果物とうまい物をいくら食してもヴイタミンAが無ければ體の養分と化する事は出來ず、又燐やカルシウムや鐵等は單にそれだけ體に入れたのでは何の效果も無く、ヴイタミンDがあれば始めて養分と化するのです。中にはカルシウム等は效かぬ樣に思つて居る人もありますが、それは用法を誤つて居るからで、最近外國の或る大學の研究では「血液中にカルシウムの豐富な時には

快活 で樂天的で幸福な感情になり、反對にカルシウムの少い時は打ち沈んだ憂鬱な悲觀的な感情になる」と發表して居るのを見ても其重要さが解る筈です。つまり以上述べた各榮養素が一緒に働く時に始めて完全な榮養效果が現はれるので、此學理に基き河合藥學博士發明のヴイタミンAとDの含量最高(歐米藥用肝油の略五十倍)のミツワ濃厚肝油に、右の燐、カルシウム、鐵及び

胃腸 を强壯にする規那、酵母ヴイタミンB等を乳化配劑してあるのが即ちミツワ肝油ドロップスでありますが、之は肝油其他の原料が完全純粹に乳化して居るので乳を飮むと同樣に消化吸收良く胃腸を害せず、その上美味しいお菓子になつて居るから子供は勿論誰でも悦んで食する理想的榮養劑(一顆は普通肝油四瓦相當)で、常に之を用ふればヴイタミンと他の榮養素との共同の工作によつて榮養が完全になり、體質の

缺陷 が補はれ、各組織の機能が旺盛になり、抵抗力が强くなつて、感冒を引かぬ樣になり所謂蚤も喰はぬ頑健な體質に改造されると云はれ、多くの醫大家も推奬して居られます。

ミツワ肝油ドロップスは三十顆小罐入定價六十錢、五十顆壜入壹圓、百廿顆壜入貳圓貳拾錢、三百壜入四圓五拾錢で、全國有名藥店及び和洋酒食料品店、雜貨店、百貨店等にありますが、萬一品切れ等の節は賣捌元の東京日本橋區米澤町ミツワ石鹸本舗丸見屋商店藥品部へ注文せられたし(送料不要・郵券代用三圓以下可・東京市內は一罐一壜でも配達)

文獻說明書、及びミツワ肝油ドロップスの見本品、新聞名を記し御申込次第進呈

滿洲日報

朝夕刊共十二頁

定價　一部　金五錢　一ヶ月　金一圓二十錢　郵税　金十五錢
廣告料　普通行　金一圓三十錢　特別行　金二圓六十錢　場所指定　二割以上加算
發行人　鈴木昇
編輯人　橋本喜代治
印刷人　本村武盛
發行所　大連市東公園町三十一番地　株式會社滿洲日報社　振替口座大連六〇番

林陸相辭意を飜し 齋藤首相に留任報告
きのふ三長官會議

【東京十五日發國通】十四日夜御歸京遊ばされた閑院參謀總長宮殿下には御歸邸後直に林陸相を召され御慰留遊ばされ更に十五日朝眞崎總監、植田次長を陸相官邸に赴かしめ陸相を御慰留あらせられたが林陸相の辭意依然牢固なるものある爲め愈々三長官會議を開き陸軍の正式意見を決定することゝなり、林陸相、閑院參謀總長宮殿下、眞崎教育總監の三長官會議は十五日午後一時より陸相官邸において開會、林陸相がこの際意を飜へし留任するやう慰留に努めた結果陸相は遂に飜意に決し一時四十分散會した、よつて林陸相は二時半齋藤首相を訪問、留任するに至つた事情を報告諒解を求めた（寫眞は林陸相）

殿下の御意思 植田次長傳達

【東京十五日發國通】植田參謀次長は十五日午前九時四十五分閑院參謀總長宮殿下の御召しにより宮邸に伺候、殿下より眞崎教育總監よりの御報告要旨を承はり同十時五分退出、同十時十分陸相官邸に林陸相を訪問、前に訪問してゐた眞崎教育總監と共に全軍一致留任を要望してゐる實情並びに宮殿下の御意思を傳達慰留に努める所あつた

重ねぐの光榮に 感激して職に當る
新京にて 若山本部隊長談

【新京特電十五日發】若山本部隊長は十五日菱刈關東軍司令官に着任の申告後午後二時より軍司令官官邸にて在京記者團を引見大要左の如く新任の感想を語つた

滿洲は日露戰爭の時第二軍に從軍して出征したが南山の戰ひに不幸にも第一に負傷し、殘念ながら

內地 に歸還した、今より考へて十七年前一度來滿したことがあるが想像の如き變化がないやうに思ふ、今回畏れ多くも吾々に大元帥陛下より滿洲派遣の大命を承け、優渥なる御言葉を賜りたることは洵に光榮至極である、名古屋出發に際しては閑院宮殿下より有難きお言葉を頂戴仕り更に〇〇港に於ては畏くも侍從武官の御差遣を蒙り重ね／＼の有難き御沙汰に將兵一同光榮に感激してゐる次第である駐滿の決心としては皇道を滿洲に布き

皇德 を披瀝して東洋平和の確立を計りなほ又滿洲國の治安維持に貢獻したい、考へてみるに滿洲國皇帝は天意をもつて皇位に卽かれ國礎ます／＼鞏固に今や治安は確立、產業は開發されて前途洋々たるものあるがこの滿洲國に派遣された我々は光榮この上もなく殊に前駐滿廣瀨〇團の武勳赫々目出度凱旋するその後を承けて駐滿する我々はその責又重且つ大である、併し自分の部下は平素訓練もよく出來てゐるから或る程度までの自信は持つてゐる、この點部下も深く決心してゐるから今後皆さまの御後援と相俟つてます／＼成果を擧げたいと思ふ、幸ひ廣瀨〇團長とは同期生で

親密 の間柄であつたから忌憚なく事務の引繼ぎも出來ることゝ思ふ、我が第〇團も廣瀨〇團の如く完全な治安確保ができ

滿洲鉄道早廻り競走
西と東とに分れて 兩選手初めて休養
今朝更に長驅北上

【奉天特電十五日發】鐵路總局內早廻り競走兩班作戰本部はレース始まつて以來初めての日曜と紅班コースの變更で一と息の態となり殊に兩班の走路は治安定まり運轉系統の自治布かれた總局の總營線をまつしぐらに走ることになつたため兩班相談役は總局內事故係に運轉故障を問合はす程で久しぶりに休養をとつた、奉吉線に入つた紅班河村選手は好晴に惠まれた線道をひた走りに午後一時三十分には梅河口着、豫定の如く西安線に乘換へて炭都西安に夕刻到着したが同選手は滿洲國の二大炭坑、北票、西安を訪れたことは奇しき因緣といふべきであらう、大虎山から大鄭線に入つた白班吉田選手は曾ては滿鐵の並行線として日支紛糾の一原因をつくつた線を感慨深く走破したが同選手また夕刻には通遼に着き斯くして兩班選手は不完全ながらも十五日夜は旅舍に疲れを休めることゝなり、十六日早朝には兩選手とも元氣を倍加、河村選手は西安線を下つて更に吉林に向ひ、吉田選手は四平街へと新コースの征服に取りかゝるものと見られてゐる、兩班の走破狀況左の如し

紅班（十五日午後五時現在）
走破粁數一九一四、九
實走粁數二八〇七、八

白班（十五日正午彰武驛までの現在）
走破粁數一八七六、一
實走粁數二五九〇、三

滿洲情景の只中 こみあげる不安
十五日大虎山にて 吉田白班選手

安奉線を走破し午後十時五十五分奉天驛着サインを受けた後奉山線に飛び乘る、闇が緞帳のやうに重く展がり行手は眞暗だ

時速 三十五キロ、列車は大陸的な走行を續ける、車窓逝送の何者もなく僅かに汽車の動搖につれてダイヤを撒き散らしたやうな星影が神秘的なまたゝきを續けてゐるのが見える、思ひ出したやうに停まる驛には滿洲國の兵隊が銃劍付鐵砲を小脇に寒むさうに立つてゐる、滿洲氣分の滿ちた列車內で東西南北なさへ語り得ぬ記者は流石に淋しく心もとなさが足下から這ひ上つて來るやうだ、新民で十二名の日本兵がドカ／＼と乘込んだ、何だか賴もしく感じて氣が強くなつた、安心したせいかどうもまぶたが仲良くなりたがつて仕方がない、隣席で

頭を 青く剃り上げた滿洲人が二名、大陸的な鼾聲をみせてゐるのが羨ましくなる、かくて列車は午前二時五十分大虎山驛に到着、驛長室に招かれ眞夜中の靜寂の中でペンを握る

北鐵交渉の關係者を招待
廣田外相午餐會開く

【東京十四日發國通】廣田外相は十四日午後零時半より大臣官邸にソ滿北鐵交渉委員を招待午餐會を催した

一、外務省　廣田外相、重光次官、東郷歐米局長、天羽情報部長
一、ソ國側　ユレニエフ大使、ライビット參事官、カズロフスキー、グズネツオフ代表
一、滿洲國側　丁公使、大橋次長、森交通課長等

出席先づ外相立つて北鐵交渉は昨年六月二十六日開始されその間思はぬ頓挫を來しました事もあつたがソ滿兩國當事者の互讓により漸次歩み寄り前途に多大の希望を認めた事は斡旋者として欣快に堪へない、今後益々協調の精神を發揮し以て圓滿妥協成立に至らん事を切望するものである

との挨拶を述べ歡談裡に同一時半散會した、右の會合は外相のソ滿兩國當事者の慰勞に過ぎないが事實上は最近兩者の妥協的態度の一具現として昨年秋陸交書事件に依つて暗礁に乘上げて以來最初の顔合として今後の北鐵交渉は、この日を起點に解決の機運が促進されるに至るものと觀られる

不承認原則內で 對滿問題解決
支那側の北支善後策

【天津十四日發國通】天津の支那側某方面に達した黄郛氏からの電報によれば南昌會議の結果蔣介石汪精衞兩巨頭は黄郛氏の建言を容れて通郵、通車問題を滿洲國不承認の原則を傷けざる範圍に於て解決するに決定したと

【南京十四日發國通】郵便鐵道問題を中心とする對日外交の根本方針に就ては南昌會議の席上蔣、汪、黄三巨頭間に完全なる意見一致を見たのであるが之が具體的實施工作に就ては相當反對も多いのでその點迄も三巨頭の一存で決する事は對日政策上當を得ないので先づ政府部內の意見を統一する必要上汪精衞氏歸京後直に要人會議を開き河北の現狀を詳らかに報告し問題の解決を圖る方針で或ひはその結果對日外交委員會の如きものを設置し右委員會で今後實際の具體的對日工作を決定するに至るであらうと觀測されてゐる

先發隊着哈

【ハルビン十五日發國通】數々の武勳をたて近く凱旋する廣瀨部隊と交替し北滿の治安維持に當る若山部隊の先發隊〇〇〇名は廣瀨〇團の將兵及び在留日本人官民多數の盛んな歡呼に迎へられ十五日午前七時二十分拉濱線濱江驛に到着將兵の士氣極めて旺盛である

なほ若山本部隊は十六日午前八時新京發列車にて各幕僚と共にハルビンに向ひ懷しき同期生廣瀨〇團長と久方ぶりに會見し事務の引繼ぎを爲すことゝなつた

（本部隊長談續き）……るものと思ふ、安心して一任されたい、滿洲は寒いと聞いてゐたので名古屋を出發する時厚着をして來たが來て見ると何だか滿洲の方が暖いやうな氣がしてチヨツキ一枚不用になつた

齋藤部隊着哈

【ハルビン十五日發國通】廣瀨〇團と交代の第二次先發隊〇〇名は齋藤〇隊長指揮の下に十五日午前九時十五分威風堂々拉濱線濱江驛に到着した

文相補充劇 幕合の騷ぎ
騷いでみんな立往生

◇…文相補充工作が停頓した。普通の內閣ならば、面目問題もあり、政治的責任上ゐたゝまらぬのであるが、そこは天下御免の變態內閣であるから、伸ばした手を引きこめて知らぬ顔で徐ろに機の熟するを待つてゐる。これまで四人の閣僚のすげ換へでは案外腕の好さを示したのであるが、今度こそは全く手をやいて、本來のスローモーションで根氣よく時の力に解決を俟たうとする。これが現內閣の正眞正銘の地金であらう。

◇…明鏡を曇らしたとか、止水を攪拌したとかで、文相に政黨出身者を入るべからずの建札をしろといはぬばかり、官僚及び一部の學者連が騷ぎ出した。齋藤首相及び其の唯一の幕僚長たる堀切善次郞君は之を天下の輿論なりと見て、現閣僚中より何人かを文部省に廻し、その後釜へ政友會から入れる計畫を立て、後藤、南、松本の三相の意を內偵した、ところが後藤氏は鬼門の農林より文部の方が一層難しいと先づ固辭し、南氏は君子危きに近よらずとばかりに先手を打つて御免を蒙り松本氏は「僕は昔大酒を呑んで交番の厄介になりかけたことがあるから文相は勤まらぬ」と手を振つた。そところへ政民兩黨方面から「政黨人は文相になれないなどいふベラボーな理窟があるか、それならコチラにも覺悟がある」とのデモが來たので、そこは明鏡止水ならぬ行雲流水極めてケロリとした齋藤子のことだから、二の椅子の異動方針を斷念して、文相直接補充方針に轉換した。

◇…それまでは好いとして、その次の手段で又途方もない錯誤を生じた。といふのは政友會の黨情頗る複雜と見て、之れは政友會總裁に正式に談判するより目ざす本人に直接交渉する方が政友會にも却て好都合であらうなど、ガラにもなくよけいな氣を廻したことである。乃ち堀切翰長に相談するといい、本人自ら出たい氣持ちはタツプリあるが、兄をさし措いてなるわけに行かないとて、令兄の堀切大藏次官を推すこととなつた。此の人ならば政黨人でも全く黨色がない人物であるから、その意味では適任かも知れず、まことに齋藤、堀切合作らしい人選であるが、何うみても政友會代表の意味はなく、殊に弟が兄を推薦して交渉するなどといふことは、手順としても甚だ妙なものだといふわけで、弟は兄きに一喝されて引込み、高橋藏相の勸說に對しても「私はアナタを輔佐することが大臣たる以上の重大任務である」と斷つて、高橋翁をホロリとさせ、さすがにやはり兄きは弟より役者が上だと世評をよくした。

◇…此の顚末を知つて政友會は勃怒し、對政府絶緣論が盛に唱へられた。もはや久しき忍從を破つて起ち上らねばならぬ秋だと叫ぶものも出て來る。しかし胸に手を當て、冷靜に考へて見る段になると「文相問題だけにこだわつて絶緣するといふことは一向理由をなさない、政黨は政策が生命である。閣員を出す出さぬなどは末梢的である筈だ」といふ意見も現れる。殊に今日此の內閣の出現する可能性は絶對にない。のみならず政民提携の基礎となる工作も、議會中の例の暴露戰と共同決議案の不調で當分望みないものとなつた。西園寺公が齋藤子の擁立した意義を周到に考へなければならぬなると、政友會の絶緣論は忽ちヘナ／＼となつて了ふ。

◇…以上の經過と理由とにより今後の豫想を要約すれば、齋藤首相はさりげない態で近く鈴木政友會總裁に對し、文相候補者の推薦を相談するであらう、之に對し政友會は應諾する他はない。そして此の內閣は或る期間存續する—七月までと見るもの、九月までと見るもの種々あるが—果して何時まで續くか何人も判らない、勿論齋藤首相自身も。（東京支社一記者）

日本に頗る不利な 伯國の移民制限案
議員百卅名より提出

【リオデジヤネイロ十四日發國通】ブラジル國の新憲法草案に對し各議員より提出さるべき修正案の期限は愈々十四日を以て滿了したが滿了の直前に至つて問題の日本移民を始め各國移民を制限せんとする修正案が提出され各方面に多大のセンセーションを起して居る、右修正案は各國よりの移民割當を毎年過去五十年間に同國に入國した移民總數の二パーセントに制限せんとするもので同案は百三十一名の議員の署名を得て居り若しこれが採擇されゝば既に多數の移民を送つてゐるイタリー、スペイン、ポルトガルの諸國に對しては極めて有利となり之に反し從來の移民數が少くこれより多數の移民を送らんとする日本に對しては重大な打撃を與へるものとして成行は頗る憂慮されてゐる

電々會社人事
異動のプロローグ

滿洲電信電話會社では準備不充分なる設立に伴ふ職制の缺陷と人事遣繰の拙劣につき寧ろ外部より指摘されること多く豫て陣容建直し策を秘に研究熟慮中のところ遂に山內總裁が決意するに至つたので所定の方針により相當廣範圍の異動並に老朽淘汰を行ふべく、左の異動はそのプロローグである

大連中央電報局長　朝原慶一
大連無線電報局長兼務を命ず
大連無線電報局長　橋瓜勉
安東電報電話局長を命ず
安東電報電話局長　尾立米喜
新京中央電報局長を命ず
新京中央電報局長　有川博基
社員養成所長を命ず
人事課長兼社員養成所長　馬淵俊一
兼務を免ず

銀蓄積の商人 身元申告要求

【ワシントン十三日發國通】昨春大財閥脫稅問題を端緒として開かれた上院銀行通貨調査會査問官として手腕を見せた上院銀行委員會法律顧問フエルヂナンド・ペコラ氏は十三日米國內多數の仲買業者に宛て照會狀を發し銀復位の實施を見越して銀の在庫品を蓄積しつゝある商人並に投機業者の身元に關し情報を申告すべき事を要求した

ペコラ氏の此の行動は恰かも上院における銀論者が政府に對し公然と銀復位運動を開始せんとしつゝある際とて當地消息通の間では銀復位反對派の活動の現はれと見られて居る、卽ち右申告に依つて反對派は銀復位により銀の採掘から直接利益を得んとする者の氏名を明らかにしそれに依つて反對運動を起さうとするのではないかと考へられてゐる

萬國工業所有權 保護同盟會議

【東京十四日發國通】外務省着電に依れば萬國工業所有權保護同盟會議は來る五月一日ロンドンで準備會議を開き、二日より正式會議をイギリス外務省で開催するに決したとイギリス商務省より松平大使宛に通告あり、同會議の帝國代表にはチエツコ公使堀田正昭氏任命の筈

全國少年から選拔 支那へ留學せしむ
東亞同文會の新試み

【東京十五日發國通】東亞同文會では今回全國から十名の少年を選拔支那留學生として派遣することゝなり一行は二十二日午前十時東京驛發、二十五日神戸出帆渡支することになつた、これ等少年は井上伸一君始め何れも十四歲の少年でその中三名は天津中日學院に、三名は漢口江漢中學校に入學し十二年間に支那の大學を修業し六年間義務年限として希望の就職をなさしめて徹底的に支那を理解せしめることになつてゐる

比島獨立案の 特別議會召集

【東京十五日發國通】十四日在マニラ木村總領事より外務省に達した公電に依ればフキリッピン總督は十二日ヴアギオに於て比島獨立のタイジング・マクダフイ法案の諾否決定の爲め特別議會を四月三十日マニラに召集の旨總督府令を發した、而して右議會は獨立法案の承認後に於ける憲法制定會議の代表選擧の規定及びその開會時日並に經費等を審議するものである

國際勞働總會 政府代表出發

【東京十四日發國通】第十八回國際勞働總會に政府代表として出席する北岡壽逸氏隨員一行六名は十四日午前東京驛發出發した、十九日神戸出帆の伏見丸で渡歐の途につく筈

近衛議長 園公訪問

【興津十五日發國通】貴族院議長近衞文麿公は來月十七日米國訪問の途に上るに就いての報告を兼れ政界の情勢を報告する爲め十四日興津に赴き同夜は水口屋に一泊、十五日午前九時半坐漁莊に西園寺公を訪問に就いての所信を詳細に說明、諒解を求め更に現下の政界情勢、政黨方面の動き、陸相辭任事情その他を詳細に說明懇談を重ね同十一時過ぎ辭去、午後一時四十分靜岡發列車にて鎌倉の別莊に入つた

滿洲國兩特使 神戸發宮島へ

【神戸十五日發國通】鄭、熙洽特使一行は關西の旅を終り十五日午前十時三十分神戸發宮島に向ひ午後五時三十七分宮島着、途中廣島より小磯第五師團長同車、宮島にて久方振りの會見を爲す豫定であるが鄭特使は十六日夜汽船琉球丸で別府へ、熙洽特使は十六日午後六時發同夜の關釜連絡船で京城に向ふ豫定である

大觀艦式迫る 哈市機關の準備

【ハルビン十五日發國通】當地松花江上に於て擧行される滿洲皇帝御親臨の大觀艦式も二旬の後に迫り各在哈機關は當時の準備に忙殺されてゐるが一方警務廳各機關では當時の警戒の打合せを爲すと共に第一期警戒を開始した

營口河南北 連絡船運航

【營口十五日發國通】奉山鐵路總局營口の營口、河南北連絡船は愈々十四日より左の如く連絡運航を開始した

河南發、七時、九時三十分、十三時三十分、十五時三十分、十二十時
河北發、六時、八時三十分、十二時三十分、十四時、十七時三十分

竹森總局主任

鐵路總局貨物主任竹森儀男氏は拉濱線開通につき內地商工業者の認識を新にすべく過般來東京大阪兩地商工業者と折衝、實情を紹介中であつたが十五日入港うすりい丸で歸連、船中語る

京圖線とハルビンを結ぶ新線拉濱線が開通した後も尙は內地荷主側では種々の不安の念にかられてゐるので實情とその他これに關連した運送問題につき認識を新にしてもらひたいとの趣旨から東京では日本商議大阪では大阪商議が中心となり集つてもらひ座談會の形式でいろ／＼商工業者と意見交換を遂げ實情を諒解していたゞいた、これで今迄の種々の不安も解消し拉濱線の利用者が著しく増加するであらう

ソ聯商船購入

【ハルビン十五日發國通】モスクワ來電に依ればソ聯は此の程ノルウエー、フランス、イギリス、オランダ各國より商船（總噸數六四三五〇噸）を購入した

日滿鹽業會社

【東京十四日發國通】商工省の勸說に依り商工、大藏、拓務及旭硝子、日本曹達、日本硫曹、大日本鹽業の民間會社の技師より成る滿洲鹽業調査團が二十日頃迄に大連著の豫定で出發することゝなつた右調査は七月末迄に完了し日滿合辦鹽業會社が設立される

入江貫一氏

【東京十四日發國通】滿洲國宮內府次官に決定した入江貫一氏は高木三郞氏同伴二十日午後九時二十五分東京驛發赴任する

滿洲鉄道早廻り競走

默々拳銃を調べる
不氣味な北票朝陽間

營口にて白班選手　寺島憲二

遼西の要地錦縣に着いて北票に向ふこれ奉山線コースの難、鐵道愛護村長のマークを胸に附けた驛長等が發車の合圖をしてゐたこの北票線は線路のためにスピードは餘り出ない、朝陽に向けて出發の列車だ、口北營子に着く頃からボツ〳〵暗くなつて來た、驛はランプで薄暗い、驛舍と云つても等數のない位、それが職制改正で急に二等驛位に仕事がなつたのだから物凄い忙しさだ、破れ服に、宿舍はない實に涙ぐましい奮闘振りである、錦縣に排事處が出來ても宿舍難で人々は寢臺車や公事車（これは給料俸給等の金錢を方々に運ぶ爲に作られた車）に寢泊りして居る、口北營子で四十分間を暗い驛員室のストーヴで煖を取る、眠の廻る樣な忙しさで山海關着前に朝食を取つた限りでタマラなくひもじい、三等車も滿員で寒い、郵便車に錦縣から附添つて來てくれた計良氏と乘る

北票に着いたのが八時二十二分通過證明を取り十四時間振りで夕食を攝りに驛長の案內でカフエーに入つた、食事後直に今コースの大難關たる北票朝陽間の夜間突破を決行する、總局バスがエンヂンを掛けて待つてゐる北票の關係者中に紅二點が……鐵路警二名と北票から特に自動車係の田邊氏が同乘一行六名「嵐藏」に送られて出發した、國道建設局で建設した道路で朝陽まで四十キロ、大凌河上流の河中を走る、車內は消燈しただヘッドライトのみ白く前方を照らしてゐる、砂地は丁度沙漠の樣に眞白に光つてゐる、上流の部落民は匪賊に化し時々襲擊せんとする故とて田邊氏は懷中電燈で拳銃を調べてゐる、一同默々として聲もない、何とも云へない暗黑の不氣味さ！　たゞライトの光が一條走つてゐるだけだ九十九折と云ふがそれを縱に云ひたいやうな丘、谷、平地の連續でライトの前檣に谷が眞黑な口を開いてゐる、凌河の淺い流れを水中を走る橋梁を渡る、道路は?內地に於ける三、四等級だ、けれど國道は一等道路である、角ばつたバラスの道、パンクが恐怖だ、パンクと匪賊を連想してそれ誰が旅大道路のドライヴと比較するやだ、頭は天井にぶつかる、背や腰は痛い、市中を運轉するタクシーの運轉手は全然使ひものにならないと云はれる位の道、鐵道數時間以上の疲勞を覺える、筆舌に盡せない不安の一時間數十分、朝陽の灯を見たときには「能く來れたナ！」と感ずる位にガツカリ、又安心もしたのだ、

朝陽に着いて一泊、もう十一時を過ぎた頃、原稿を書き出したが疲勞と睡魔で何事も手につかない、寢つかうとした頃、宿舍の臨檢で隣室の唯ならぬ聲に妨げられる、熱河の花、それは罌粟ではない娘子軍だ、その熱河に進出する一行と泊り合せた不運、嬌笑に惱まされ、寢についたと思つたらもう五時、出發だ××に……文字通り不眠不休に近い……

朝まだき朝陽を發し再び錦縣に出る、昨夜決行した決死的?南北票朝陽間突破の疲勞が回復して居ない「今日は紅班が來るぞ！」と言ふ噂が盛ん……佐野選手來るか？と思つて急行列車（山海關行）を見たが見當らなかつた。人々の幾日掛りますかとの豫想の問に惱まされ「こいつは極秘ものですよ」と逃げの手にもすつかり馴れてしまつた、前夜來生死を共にして暖宝を締めた計良氏に別れた、同じ辦事處の松崎氏が奉山線內は警護區域だとあつてわざ〳〵同行して溝幇子に向ふ、途中大凌河站で過ぐる七年一月廿五日一千名の匪團に守備隊が襲はれ遂に激戰に斃れた中村四郎大尉の戰死せる箇所中村神社を參拜して營口へと——昨夜旅舍にて熱河の花の笑聲臨檢に惱まされた記者は盛んに睡魔に襲はれ「つらい〳〵」とつくづく昨夜を呪つた、事變當時盤山で裝甲車が敵裝甲車と應戰砲擊戰を續けつゝ擊退したといふのを夢の中に考へた、盤山驛構外に日の丸を立てた墓標がある、能く見ると故富塚喜一郎之碑と記されてある、唯一つこの僻地に建てられた墓標、地下に眠る英靈に淚が出る、尊い血で育みそだて守つたこの滿洲！記者はこの英靈に安らかなれとしばし默禱した

鮮農の耕作を車窓より眺め鹽の浮き出てる耕作不適地を過ぎ遼河下流に沈み行く赤い夕日を眺め奉山營口に着し滿鐵ランチを特別に借り關係者の歡迎裡に滿鐵營口に着いた、滿日支局長の招宴に紅を添へた寫眞を撮影後臨み、始めて朝陽以來の氣分を轉換?、意氣揚り朗かに豫定コース第二難關突破に向ふ

冬眠から醒めかけ
ざわめく營口埠頭

營口支線にて　河村紅班選手

營口　夜中の三時過ぎに着き夜明けの六時に發つた記者に營口を語る資格はないが、清の咸豐十年（萬延元年、一八六〇年）天津條約によつて開かれたこの港に今は何處を尋ねても滿洲最古の開港場のおもかげの片鱗さへうかゞひ得ないことは哀しむべき事實だ、勿論後か開かれた大連にその地位を奪はれ、南滿三港の一として大連に次ぐとは言へ十年一日の如く何等の發展性も見出し得ないことは多くは地理的原因によるのであらう、居留の日本人は三千人前後その生活狀態も初歩の植民地的範疇を出ない

遼河　蒙古の高原に源を發し常に濁水を湛えて營口と河北の間を貫ぬき渤海灣にそゝぐ遼河は、營口より鄭家屯まで戎克が通ひ滿洲を縱走する鐵道の敷設前は北滿貨物の殆ど全部を吸收した大交通機關であり、現在も尚ほ營口輸出貿易總數量の四〇%以上を輸送してゐる、只水流があるのみならず河口に於ける干滿の差甚だしくそのためかなり上流まで逆流を生じ、甚だしきときは數十町上まで帆船を押し流すこともあり、これ等の不便により遼河水運の利用は漸次その範圍を狹められてゆく傾向がある、併しながら記者が訪れたときは南に（河口の方向に）並ぶ十三碼頭に三月下旬の解氷開河を待つて入港した十數隻の汽船が繫留してをり、冬の間全く活動を停止する營口埠頭にも初春のいぶきが感ぜられ春から夏秋へかけての發展に意氣込んでゐた

河北　河北の港は奉山線が東三省政權の直營であつた時代、南滿鐵營口と對抗すべく胡蘆島の補助港として活用する計畫であつたので、港灣施設のためには相當の經費を投ずる心算であつたらしく、この意圖を覗ふ一端としては學良碼頭の如き好例であつてその計畫が如何に大きかつたかゞ知れよう併しながら今日に於ては水流による泥土の堆積が河北碼頭を淺くし舊碼頭及聯絡船碼頭の如き最も淺く、小型汽船の繫留さへ困難を感ぜしめ只學良碼頭の一を用ふるのみの狀態である

營口支線　河北營口驛より溝幇子に至り奉山本線に合する營口支線沿線は馬賊の發祥地の如く昭和六年末より昭和七年初頭へかけての皇軍進出に際してもここを衝いた天野旅團は執拗に頑强な抵抗を續ける敵匪と數次に亘る激戰を演じ殆んど殲滅したかの如く見られたが、その後尙英人拉致事件その他各地に蠢動して後を斷つたとも見えない、列車の運行狀態は同樣が鐵路總局の手に移り四月一日更に職制改革されて以來、發着の遲延すらなく完全に行はれてゐるこれは全く總局の鐵路愛護村の政策奏效と現業員の努力の賜であらう

滿洲の鐵道は權力ではなく民衆との融和によつて始めて警備し正しい發展の道を辿ると言ふ結論を得た總局が、あらゆる點においてこの點を考慮に入れその一手段として選んだのが鐵路愛護村だ、鐵道と附近の村と連絡をとり鐵道事故を防止し或は豫め匪賊の襲擊にそなへる等、沿線の人々を利用する代り鐵路總局ではこれ等の部落に對しては特に醫者を派遣して無料診斷を行ひ衞生思想を普及せしめる外或は稀耕の種子を無料にて與へて收穫の向上を計り、或は豚、羊の種を配給して品種の向上を計る等一面鐵道事故防止に利用しつゝ他面住民の生活程度の向上を計るといふ一石二鳥の妙案である

この運動は既に實行に移し全滿中奉山線（奉天—錦縣間）が最も良好な成績を示してゐるとのことであるが、何分相手は全く無智な滿人であり、偶には賊位働きかねない住民なのだからなかなか一時にどうとはゆくまい只現在活動寫眞班、慰安隊等の宣傳が效を奏し先づ初期としては良好の成績を擧げてゐることは事實だ、鐵路總局がこの成績に俟つところは卽ち約八百人の路線警備の滿人に與へつゝある最も不生產的な人件費を生かすことである

鐵道早廻り競走

（上）錦縣驛における河村紅班選手と出迎への人々（下）新京飛行場を出發する吉田白班第二走者と寺島第一走者との握手

八相　五十行以内　中傷はさらず　投書歡迎

憐む可き彼氏
隣席の人

◇或る晩某映畫館の一出來事であつた、僕の隣席に一人の男性が居つた、形だけは洋服姿の紳士然とした人であつた、映寫が始まると心ある人々は申合したやうに帽子を脫いで後の人達のためを思ひやつた、彼氏は人並以上の背高であつたが別に帽子も脫がうとはしなかつた、ニュースの一くさりが濟むと彼氏はタバコをプカプカやりだした、僕も愛煙家の一人であるが隣席から煙をむく〳〵出されると、まるで自分でも吸つてゐるやうに思はれてならぬので僕の方へ流れて來る煙は反對に吹き返してやつた。

◇時代劇の一卷が終つた頃は場內のこゝかしこから煙が濛々と立ち上つた、何の爲めの番號付椅子やら、喫煙室までわざ〳〵吸ひに行く素直な人やらを思ひ出しては、あの舞臺面の大きな禁煙の立札に大なる矛盾を感じた、こんなに大びらにやらかせるなら僕も負けずにフカしてやらうかしら……果せる哉「場內でおタバコは御遠慮下さい」と優しい女の聲がした、それも二度、三度……依然として煙は下火にならなかつた。

◇女係員は場內を巡視して制止した、隣席の彼氏にも「モシ〳〵おタバコは御遠慮願ひます」と注意されたが彼は見向きもしなかつた、また別の女係員が來て丁寧に注意した、けれども彼女が立去ると尙ほやけにプカプカやらかした、また女が來て「モシ〳〵ちよつとこちらにお出で下さい」と促した、彼は依然として馬耳東風、イヤ蛙に水を引つかけたやうな態度で、タバコはいつかな手から捨てやうとはしなかつた。

◇また別の女がやつて來て「ちよつとその方こちらへいらして下さい」と手招きした彼氏は初めて見返りながら「ナニッ」と云ひざま空に大きくモーションを起して持てるタバコを土間へ叩き付けた、タバコは火花を散らして僕の足元を脅かした、それでも喫煙を止めただけにホッとした。

◇間もなくサーベルの音に混じつて嚴めしい靴の音がして「モシ〳〵ちよつとこちらへ出て頂きたい」と儼然と言ひ渡された、彼氏はハッと立ち上つて席を去つた、背後から僕は「態あ見やがれ」と聞えよがしに浴せてやつた。

◇近頃陽氣の加減かこんな連中が方々の映畫館に見受けられる、あの不遜な態度、圖々しさ、利己的不德漢、僕はその日の映畫館の措置に滿腔の敬意をはらつた。

奉天省十八縣の財政第二期調査
地方財政確立を圖る

【奉天特電十五日發】滿洲國政府では各省各縣の財政狀態を調査することゝなり奉天では第一期調査を終り第二期調査班は十七日から左記各縣に向ひ親しく縣豫算及び地方財政收入等を視察調査に當るが康德元年度各縣の豫算は殆ど昨年と大差なく省の補助豫算は多少は異るも目下民政廳では各縣から送附されて來た豫算案につき審議中である、なほ財政調査の縣は

昌圖、開原、撫順、海城、復縣、莊河、雙山、開通、洮南、克山、義縣、營口、凌源、通遼、彰武、鐵嶺、遼陽、遼中

の十八縣であるがこれによつて中央政府では地方財政の確立を具體化す方針である

萬寶山農場に小作組合設立

【新京十五日發國通】更生の第一步を踏み出した萬寶山農場は右農場の經營主新京鮮人民會と同農場地主の間に圓滿買收契約成立したので鮮人小作農約百名を民會で選定し愈々耕作に着手したが同農場の自主的發展を圖るため小作組合を設立することゝなり先般創立總會を開催、會則を決定役員選任を終へた右組合の常任理事の人選は未定である

人事

▲石本憲治氏（滿鐵總務部長）十六日午前七時四十分着列車にて歸任の豫定
▲鹽澤中佐（關東軍參謀）十五日午後四時二十分發列車にて北行
▲河內志郎氏（黑龍江省公署警務廳長）同上
▲田邊秀雄氏（關東廳學務課長）十五日午前七時二十分着列車にて歸連
▲中田少佐（大連商業配屬將校）同上
▲奈良少佐（大連一中配屬將校）同上

日滿製粉株式會社六月に株式公募
加藤日清製粉重役談

滿洲中央銀行經營の北滿に於ける各製粉會社を中心に內地同業者との間に進捗中の日滿合辦資本金二百萬圓（全部拂込）日滿製粉株式會社創立につき中央銀行並に日滿關係當局と最後的打合せのため三井、三菱、日本、日清、大德等の各製粉會社代表として日清製粉取締役加藤德雄氏は十五日入港うすりい丸にて來連直に船車連絡にて北行した、船中往訪の記者に對し加藤日清製粉取締役は語る

日滿製粉會社創立問題につき中央銀行や關係當局者と最後の打合せを遂げるべくやつてきた、既に東拓の新京支店で基礎工事をやつて居り內地側の同業者との間にも充分**諒解が**ついてゐるので今回の來滿で大體纏まることゝ思ふ問題は中央銀行の經營下にある各製粉會社をいくらに評價買收するかにあつて中央銀行としては七十二萬圓が最後的のものださの事であるが更によく協議して決定する譯だ、もう大體基礎工作も出來內地の同業者も日滿統制經濟の見地から大乘氣であるから順調に進むものと豫想され遲くとも六月には株式公募の運びとなろう、北滿に於ける製粉事業は御承知の如く極めて洋々たる將來が約束されてゐる、卽ち滿洲の小麥粉市場は鐵道運賃確保の關係から公主嶺以南は日本粉、滿洲粉等外國粉の勢力分野で北滿粉はそれ以北となつてをり、公主嶺以南への進出は今迄の狀態では到底不可能である、また外國粉がそれより**以北に**進出することも採算上不可能で公主嶺を限界に勢力分野が決定してをり北滿に製粉事業を起しても日本の脅威となることはない、なつても內地の同業者が新會社に參加するのであるから極端な利害の衝突を來さない、製粉事業こそ最も惠まれた工業といはねばならぬ、最近外國粉のダンピングで相當日本粉が脅威を受けたやうであるが、製粉會社がうまく行けばこんなダンピングもより强い力で防ぎ得て日滿兩國にとつて極めて好都合と思ふ、ダンピング問題につき日滿當局にも陳情すべく同業者の依賴を受けてきたが內容は提出前のことだから愼みたいと思ふ

奉天總領事館に法律相談所
將來實現が期待さる

【奉天特電十五日發】民衆の生活と最も密接な關係ある民事訴訟に對する裁判の街頭進出の前提として奉天總領事館栁井司法領事は既報の如く十八日總領事館において司法關係者と辯護士、代書人、地方事務所、商工會議所等の民間代表者の參集を求め土地建物登記に對する便法その他に關し忌憚なき意見の交換をなすが栁井司法領事の意向としては

豫算が許すならば事務所內にても簡易な法律上の問題に關する相談所を設け土地建物の不動產登記その他民事相談所の如きものを設けて一般民衆の利益のため盡したいと考へてゐるとあり商工都市として躍進しつゝある大奉天のため司法事務關係の便宜を與へ難しい法律的解釋を拔きにして平易に法的保護を與へる機關の實現が期待される

全鮮在鄕軍人の全體大會を開催
國防義會發會式擧行

【京城特電十五日發】日本晴れのけふ十五日帝國在鄕軍人會第三回全體大會は李王殿下の台臨を仰ぎ京城において行はれた、全鮮五萬の在鄕軍人代表一千六百餘名二百四十旗參列、先づ朝鮮神宮大前において

內外情勢に鑑み帝國々防の最前線にある朝鮮在鄕軍人として國難打開に邁進することを期す

旨の宣言をなし左の決議をなした

一、吾人は操守を固くし業務を勵し至誠奉公、範を鄕黨に垂れ以て負託の重責に任ぜんことを期す
二、吾人は時局の認識を正鵠にし國民の柱礎となり大いに皇道を顯揚し以て國是貫徹の支柱たらんことを期す

かくて市內行進後祝賀式祝宴を終り午後二時三十分より李王殿下の台臨を仰ぎ全鮮國防義會聯合會發會式をも擧行し全市壯觀盛況を呈した

大觀小觀

行き惱んでゐた日印通商條約も漸く借調印の段取りになつた▲英國主張の、英印特惠關稅を條約中に認める代りに、日本と接壤國との特惠關稅を認めるといふのだ▲お互ッ子のやうだが、日本の方に割が惡いやうだ▲英國向け日本電球輸出統制方法が、日英間に協定出來さうだ▲之も已むを得ないことゝして我外務省の決定した原則に遵ふもの▲已むを得ないわけではあるが只その協定數量が重大な問題となる▲滿洲國官吏の俸給が減額さるゝといふ、なる程制定當時と事情の異なるものありて、相當減額になるのも當然であらう▲併し個人に就きて、日本の官歷を標準として待遇を定めやうといふのは意味を爲さぬ▲その官職に當り得る人物ならば、日本に於ける地位がどうであらうと、破格の拔擢を爲すに差支はない▲日本の官歷がなくては滿洲國の官吏になれない、日本の官歷以上に待遇することが出來ないといふやうな窮屈なことでは滿洲國の政治は擧がり得ない▲それでは、滿洲國を日本の延長と爲すわけで、滿洲國の獨自性を無視するものだ▲任用も待遇も、もつと自由にありたく、滿洲國の政治に適する人物ならどこからでも任用し、人物相當の待遇を爲すべきだ。

宮田の自轉車
堅牢
實用
特約店
滿洲總代理店
昌和洋行

"VALET" Auto-Strop Safety Razor
初めてバレーを使ふ人々
價
バレー自働研刃安全剃刀株式會社滿洲代理店
大連私書函百二十二

鴨綠江下流水路圖　新たに測量發行
内外船に一大福音
潜灣修築にも好資料たらん

【安東】現在一般に使用されてゐる鴨綠江の水路圖は大正三年わが水路部から發行されたものですでに二十年前の古いものであり殊に鴨綠江は水流が每日變ると云はれるほど變化の多い河川なので早くから新水路圖の測定發行の必要が關係者間に叫ばれてゐたが今回わが海軍水路部は精密完全なる水路圖を制定することゝなり測量艦淀はすでに鴨綠江口に廻航し測量に着手した、江口より安東までの測量には相當の時日を要するがこれが完成の曉は內外船舶に一大福音を齎すのみならず安東市民が多年熱望してゐる鴨綠江灣修築問題にも貴重なる參考資料を提供するであらうと期待されてゐる

營口水產植樹

【營口】奉天省立營口水產高級中學校にては今回日系教授一名增員の配屬を受け徐々內容の充實を計ることゝなり新任教師は本月二十五日頃着任すべしと而して同校の位置は周圍殷賑なる馬市街の接續地たる爲め砂塵多く之れが豫防と綠化を計る目的で同校々庭に植樹を施した、これは先頃滿洲國植樹節を機として現在々校生の數師ち一人一本の割合にて百六十六本の苗樹を植付けたもので生育の曉は風致を添ふるはもとより健康上にも及ぼす影響も多大なるべしと

大興公司大豆　大量買占め

【奉天】大興公司では農民救濟策として北滿に於いて大豆の大量買占めを行ったので十一日一斗七十五錢となり大連に於いては歐洲よりの多量買込みの入電があったので十二日は一斗八十四錢に昂騰し六百車の取引があり現物は全部ドイツ行きに決定したがため大連より歐洲行の貨物船は一齊に運賃を一割方値上する事となった

撫順炭拂出高　記錄的數字
炭礦扱ひ七百廿五萬噸

【撫順】軍需工業の異常な消進力において炭界は近年にない賑況を示したが、遂に撫順炭礦の八年度成績は山元總受入六百七十一萬二千百噸、總拂出六百七十一萬五千九百十六噸といふ三千八百十六噸の拂出超過を見るに至り年度末の山元坑所貯炭は二萬六千百二噸となつた、なほこれに撫順炭礦扱ひの煙臺、南昌、獅子山の三炭を合すると昭和八年度の撫順炭礦に於ける受入は七百二十五萬七千五百八十四噸で拂出は七百二十六萬一千八十七噸といふ記錄的な數字を示してゐる

縣參事官自治會を組織

【奉天】奉天吉林黑龍の三省では各省每に縣參事官自治會を組織し參事官相互の連絡並に向上を圖りつゝあつたが今回全滿縣參事官自治會を組織する事に決し近く代表者會議を開催する筈である

大安汽船會社　五月營業開始

【安東】三月末正式成立した日滿合辦大安汽船株式會社は四月早々營業開始の豫定であったが使用船の竣工遲れたので五月一日から營業開始の筈である、なほ同會社の安東、三道浪頭、趙氏溝、大孤山四ケ所の專用棧橋は目下工事中であるが營業開始までに竣工の豫定である

腦脊髓膜炎

【奉天】奉天總領事館構內中野副領事方女中杉原ツヨ（二三）さんは二三日前より發病中であったが十四日腦脊髓膜炎と診定され直に赤十字病院に入院した

奉天から安東へ　觀櫻旅行團
五月六日頃決行の計畫

【奉天】鳥帖屯の山楂子がこの頃の暖かさにふくらんでゆく、そして滿洲一の櫻の名所安東鎭江山は櫻が昨日より今日とふくらんでゆく、三千本の櫻は綻びこらして春の仕度にいそがしい、櫻・櫻・本社では恒例によつてジャパン・ツーリスト・ビューロー奉天案內所の安東サクラ見物旅行團を催と共に後援する事となり目下種々協議中であるが大體五月の六日（日曜）頃が安東の滿開とされてゐるので臨時列車を出して「サクラ」見物に向ふ筈であるが今年は十輛連結會員も八百名位募集する筈である

羅津消防組

【羅津】本月四日附で公認された羅津消防組は十一日午前十一時本町常盤クラブにおいて正田警察署長より組頭以下百六十六名に對し名譽ある辭令を授與された、因に同消防組の發會式は五月五日道知事警察部長を招待し盛大に擧行することに決定した

撫順市民運動會を開催

【撫順】春のトップを切つて撫順市民運動會が五月十三日の日曜日

滿鐵の貸付け料金　漸次減額撤廢實現
先づ奉天は四月から

【奉天】滿鐵では昭和五年度より經濟界の情勢に順應し附屬地、宅地、建物貸付料金を一割臨時減額をなしてゐたが、滿洲國の帝制實施と共に滿洲經濟界の好轉に伴ひ臨時減額を撤廢四月一日より料金に復活する事となつたが、囊に三月十二、三兩日社員俱樂部に於いて行はれた全滿地委聯合會に於て撤廢延期を可決、滿鐵當局に請願中であつたが、滿鐵では奉天のみを四月一日より臨時減額撤廢をなし、その他中間都市は更に一年間撤廢を延期する事となつた、鄙ち先日の新附屬地土地貸付料金も復活料金に依つて課せられるわけである、獨耕地貸付料金は十二月の年度替りに於いて延期するか否かを決定する筈である

治安維持會

日滿聯合治安維持會は十六日午後二時より日滿關係首腦者集會して

第一部（責任競技）本年は新に送球リレーを加へ球入競技、送球リレー、年齡リレーの四種

第二部（一般競技）百米、四百米、二人三脚、瓶釣サックレースの四種目とし各種目二名の選手を出して一等（三點）二等（二點）三等（一點）の採點により優勝を決す

海邊隊所屬艦　營口に歸隊

【營口】海邊隊所屬艦海光海燕は昨冬より旅順港に冬營中であったが十三日旅順を出發して航行中途河々口で少し故障があったが十四日無事歸隊した

撫順清潔デー

【撫順】永い冬から解放された一冬中の積塵を大掃除するため撫順市では十五日全市一齊に清潔デーを實行する

第二回中等學生長距離競走

【奉天】奉天教育會主催の第二回省城各中等學校學生の體育と精神を涵養せしめるための長距離競走は五月十日午後一時から工業區大廣場を發着點として二馬路、北陵に至る往復一〇二五〇米で參加學校は第一師範、第二工科、第三工科、第二、三の各部中、第一農科、第一、第二部中南滿中學堂の選手總計五十名である

赤痢患者　奉天に續發

【奉天】十三日紅梅町滿鐵獨身宿舍南寮に北宿の末吉利德伊藤直德の兩名は赤痢疑似と診定されたので同宿舍內の大消毒を行ったが最近赤痢患者が續發し始めたので奉天衞生係ではこれが豫防に大童となつてゐる本年に入り既に三十九名の赤痢患者を出してゐるが一般もこの際特に注意して貰ひたいと

圖們の人口

【圖們】圖們の三月末調査の戶數二、九〇九、人口一三、二六四にして其の內譯は左の如し

▲內地人八三四戶二、四二九人▲朝鮮人一、八九七戶一〇、〇七二人▲滿洲人一七六戶七五七人▲外國人二戶六人

圖們驛の業績

【圖們】圖們驛三月中業績左の如し

▲乘車人員八、七一六▲降車人員九、〇〇一▲手荷物行李發送一、九七五到着一、三〇六▲包裹發送九、五八二、到着一〇、〇六四▲普通貨物發送三八〇、卸一、六一七

院內在貨數

【開原】四月上旬附屬地各糧棧院內在貨數次の如し（單位石）

品目	數量
大豆	九一、七一〇
高粱	五八、二六〇
包米	七、九四〇
粟	六、八五〇
雜穀	九、〇一〇
粮	六、九三〇
精米	八八〇

奉天乞食狩り

【奉天】奉天署では時節柄犯罪防止のため十四日朝全市に亘り乞食狩を行ったが滿人、鮮人、露人合せて三十六名あった

外套專門泥棒

【奉天】ヤマトホテル病院等の廊下にあるオーバ專門の泥棒に關して奉天署に於いて嚴重犯人の搜査中

營口縣下の棉花の栽培

【營口】營口縣下の棉花栽培は

浪速通りを美化
三階の貸店舖新築

【奉天】浪速通五番地バイカル公司では

赤軍ブ司令官の渡米說
白系露人は否定

【チチハル】極東特別赤軍司令官ブリユーヘルは

隱匿阿片押收

【奉天】十三日午後三時半頃市內

鴨綠江の初筏
十三日湄原から着く

【安東】鴨綠江上流は未だ流氷し切らないが新義州に着いた

張人傑歸順を申込む

【錦州】宋哲元の師長張人傑氏は

全國醫學會總會で發表された癌の研究
近く根治法發見か……稗田博士談

密輸沒收數量
安東の數字

【安東】安東稅關が昨年一月開設以來朝鮮より滿洲に密輸する密輸品を沒收した數量は

集金を橫領

【奉天】

酒井新署長披露宴

自轉車を盜む

鮮女の行倒れ

人類愛善會　日本視察團

旅順放送

賭博團打盡

五人組强盜

【奉天】十三日午後二時半頃の白晝

研究室をのぞく

肺病の……「石油療法」とは何か

この天來の治療法に聴け!

肺病は必ず治る病氣であると云はれてゐるのに、一體何故治り難いのであらうか、何人にも當然起るべき大疑問です。本社は茲に於て進歩せる科學の力が實らせる山田博士苦心の石油療法についてその眞理を究明して讀者の前に公開する。

「主婦之友」と特輯「石油療法」

月々百萬の發行部數を日本讀書界に儼然と持つてゐる吾等の愛讀「主婦の友」が昭和九年一月號及び三月號の二回に亘つて石油療法特輯頁を加へて、三百萬もある結核王國の征服に敢然と立つたことは、諸外國に愧づべき日本をして更正せしむべき一大慶事と云ふべきである。從つて罹病者は勿論、治療界は申すまでもなく各專門諸學者をして驚歎せしめたることは讀者の記憶に未だ明かなることであらう。

「讀賣新聞」と石油療法の批判

石油療法は果して醫學の大發見か、俗説か、過信か、これが未だ專門醫學者の正確なる研究は發表されてゐないと、讀賣新聞はその一頁を割いて、斯界一流の專門大家をして、その意見を徴した事實を見ても、火の無い所に煙は立たぬ諺の如く、これは研究さるべき醫藥學上の大問題である。勿論この石油による結核療法は、日本結核學會席上必ずや諸學者の研究報告が山積するであらう。

結核を石油で治した意外な事實

醫學の進歩は大言してゐます。「肺病は必ず治る病氣である」と。併し事實は一たび結核菌に襲はるるや却々快癒しないもので難病中の難病といはれてゐます。こゝに醫學の進歩に何人も大なる疑問を持つてゐます。時あだかも昭和八年三月内務省社會局發行の「産業福利」誌上に於て、結核を石油で治癒せしめたといふ耳よりな意外とすべき事實が堂々と報告されたのであります。

石油療法の一般に共通した臨床記錄を綜合して見ると、今まで便秘したものが下痢して熱が下る、盗汗が止まる、咳が止まつて痰がきれた、喀血が止まつた、胃の具合が全快した、食慾が亢進して氣分が爽快になつた、と云ふことであります。又甚だしいものにあつては腸結核や喉頭結核、結核性痔瘻まで治つたといふことであります。

罹病者は如何なる石油を用ふべきか

結論としてこの問題が當然起るべきです。即ち現今石油療法といふことは一般民間の素人療法としては危險なる場合もある所から素人の手を離れて、今や呼吸器及び細菌學專門の醫師に研究處方さるゝ様になつたのであります。茲に於て日本細菌學界の泰斗山田博士は多年動物試驗により苦心研究の結果によつて得た科學的指示及び臨床上の經驗により最も合理的な内服石油を完成されたことは世界に誇るべき一大事公と稱すべきです。因に同博士は石油飲用上注意すべき大切な文獻を小冊子にまとめてゐられてゐます。この飲用を誤らず石油の正しき飲用法を知ることこそ三百萬人の結核王國日本の我等の急務でなくてなんでせう。

事實の證明

内務省社會局「産業福利」より

昭和八年三月内務省社會局「産業福利」誌上で山梨縣石和町馬車立場の娘さんが長らく肺疾患に悩み、あらゆる治療に出來得る限りの手を盡したが快癒に向はず、悲觀の極自殺の目的で石油を服用した所が自殺どころか却て長い間苦しみ通した肺病がケロリと治つたと云ふ事を報告して居ります。

「産業福利」と石油の効果

爾來このことが全國的に喧傳し出して就中川崎造船所及び神戸製鋼所の如きは社員や職工に印刷物を配布して其の飲用を奬勵してゐるといふ盛況さであります。なほ同所の醫務局からは何れも良成績であると報告されてゐるのです。神戸製鋼所の如きは昨年中の飲用した石油の量は驚くなかれ十二萬グラムに達したといふ事であります。以て如何に石油療法の効果が絶大顯著なるかは察するに餘りある譯です。ために結核治療界に一大センセイシヨンを捲起し、甲論乙駁騒然たる有様であります。

肺病は癒るべきもの 石油を選べ

癒るべき肺病が難治として人に恐れられ、嫌がられるのは罹病者の養生法に無智なのも原因の一つではありますが、又肺病には特效藥がないとして諦らめ、漫然とあれやこれやと選ぶものは甚だよくない。茲に紹介した「肺病の石油療法」は一に掛つて飲用すべき石油の選擇にあるので、普通巷間にある燈火用の生石油をみだりに飲用する事は甚だ危險です。しからば如何なる石油を選ぶべきか?難治の肺病の癒る癒らぬも即ち茲にあるのです。山田博士の文獻こそ我等の緊急問題を立ち所に氷解し現下日本の結核患者は今や起死回生の健康感に快哉!を絶叫してゐます。これこそ肺病患者の必讀すべき聖書です。

「石油の結核に及す重要なる臨床記錄」

本記事お讀みの方は、この新聞名記入の上ハガキで東京新宿[illegible]病院前日本細菌科學研究所宛御申込になれば小冊子を無料で送らるゝ由(記者)

3,000,000人 結核患者の福音!

醫學博士 山田春一

最近卒然として石油療法の出現を見た。是に關する業績は目下檢討中蒐集中に屬し、他日大成して世に問はんとしてゐるのであるが、既に今日茲の成果に徴して最早その確効を毫末も疑つて居られなくなつて來た。我々の所信を最も大膽に、最も率直に表明すれば是は正に醫學界の大革命であり、劃然として治療の時代を劃するものと信ずる。更に極言すれば我々衛生の事業たる結核消滅の企圖は本療法の出現に依つて、正に前人未踏の域を驀し始めたのではあるまいかと思はれる。我々は茲に點ぜられる一の烽火が燃えて燎原の火となつて、結核治療界に一大轉機を起さしむるものと信ずるのである。(寫眞は山田博士)

旅順中學三選手の素晴しい好成績

全參加者中の一、二、三着

フル・マラソン終る

本社主催の本社前祭大嶺間往復フル・マラソンは夕刊既報の如く十五日正一時スタートしたが往路好調を示した杉山、復路星ケ浦觀馬場前で病氣を起して後退しは遂に三着まで旅順中學選手の占むるところとなつた入賞者の氏名左の如し

一部（一般之部）

一着　近藤庄作（滿鐵埠頭）三時間九分四三秒
二着　杉山祐安（尚厚溫組）三時間一〇分四〇秒
三着　佐藤俊司（甘井子埠頭）三時間一六分三〇秒
四着　村岡正二（滿鐵々道工場）三時間一八分一八秒
五着　富永輝一（滿鐵々道工場）三時間二〇分一五秒
六着　吉永力（滿洲牧場）三時間二七分二〇秒
七着　宗像金吾（ハルビン成發東）三時間二八分二〇秒
八着　李傅義（豐年製油）三時間三六分二〇秒
九着　阿部一夫（滿洲電々）三時間四〇分五秒
十着　藪内一夫（滿洲牧場）三時間四二分三五秒

二部（學生之部）

一着　横佩敏勝（旅順中學）三時間六分二七秒四
二着　東力正夫（旅順中學）三時間六分四〇秒二
三着　草薙通夫（旅順中學）三時間九分三一秒
四着　赤堀俊夫（大連商業）三時間二九分三〇秒
五着　馬場勝男（大連商業）三時間五六分五〇秒

旅中全勝萬歳！

優勝の三選手と蜂須賀教諭の談

第一部、第二部を通じて一着二着三着を占め、フルマラソン始まつて以來の成績を收めた旅中横佩（一着）東力（二着）草薙（三着）の三選手はゴールに待ち構へてゐた應援の級友先輩達にとりまかれ「旅中全勝萬歳」の聲に包まれてゐたが、記者が三選手に「お目出たう」と話しかけると、急に顔を赤くして

僕達何もお話しすることなんかありません、唯學校が一致して應援してくれましたので、自分達の力以上の働きが出來たのです、今日の勝利は校友の力なのです

と語り、練習その他に關しては選手監督の蜂須賀教諭が次の如く語つた

横佩と東力は五年生で、昨年もフルマラソンに參加しましたが昨年は一中の百東君に敗れて非常に殘念がり、本年はその復讐戰だつたのですが、二人が一、二着に入賞することが出來漸く目的を達し、ここ一年間の練習が報ゐられたわけです、又三着の草薙君は四年生で本年初めて參加したのですが、幸ひにして先輩に續いて入賞することが出來ました、三人共二年頃からマラソンに熱心で、毎年旅順で行はれる驛傳リレーにも必ず出場してゐます、本年のフルマラソンには昨年から練習してゐましたが、八日の日曜日には御社前から全コースを走つてタイムをとり、本年は勝てるぞと自信は持つてゐましたが、まさか一部二部を通じて本校が優勝しやうとは夢にも思つてゐませんでした、六時の汽車で旅順に歸りますが、本年は大いばりで凱旋することが出來ます

山岡審判長の總評

フル・マラソン優勝旗並びに優勝楯授與式後審判長山岡信夫氏は次の如く總評を試みた

本年は例年に比して氣候の都合が惡く、加ふるにフル・マラソン擧行日取りが聊か早すぎた爲練習不足の氣味があり、例年程のレコードが作れなかつたことは非常に殘念である、更に本年は濱田、八重樫、渡邊、志水等の一流選手が參加してゐないため少々淋しかつたが、その反面に於て我々が未だ知らなかつた新人達が多數參加し、大いに活躍したことは非常に喜ばしいことである、個人的に見ると、スタートよりトップを切つて完全に一着と豫想されてゐた杉山君が最後近くなつて轉倒遂に一部二番におちたことはまことに氣の毒であつた、何か體の故障と思はれるが、杉山君の走法は非常に立派であると云つてよい、來年の活躍を期待する、唯一人の滿人李傅義君は杉山君につゞいて引返し點までは二着であつたが、決勝點で一部八番におちてゐた、李君の走法にはロスが非常に多い、一段の研究が必要だ學生で優勝した旅中の三選手のガッチリした走り方には感心した、三人揃つて入賞したのは一つにチームワークの賜であらう然し續つてタイムの點からいへば餘りにチーム・ワークにとらはれ過ぎてゐたゝめ個人としての力が充分發揮されなかつたやうだ、もう少し個人的になつてゐたならば或は學生としての新レコードを作つてゐたかも知れない

一萬米競走に新記錄續出

極東豫選第一日

【東京十四日發國通】十四日の陸上全日本豫選決勝左の如し

▲圓盤投
一、菊本（文理大）四〇米八三
二、藤田（同）
三、久内（靜岡教員）
四、劉（朝鮮總督府）

▲棒高跳（一等極東新記錄）
一、西田（早大）四米一〇
二、大江（慶應）
三、松本（日大）
四、喜田（名古屋高商）

▲走巾跳
一、田島（京大）七米一八
二、南部（早大出）
三、原田（京大）
四、福田（關大）

▲一萬米（三等迄日本新記錄）
一、柳（朝鮮總督府）三一分二〇秒二
二、名島（明大）三一分二四秒六
三、田中（中大）三一分二七秒〇
四、竹中（慶應）

▲槍投
一、長尾（關大）六二米一四
二、鈴木（日大）
三、赤羽（日大）
四、柏分（臺北帝大）

滿鐵重役の卵

憧れのスタート

一七三名が登格發表

昨昭和八年度專門學校以上卒業者滿鐵新入社員二百二十餘名は、一年間滿鐵本社において見習社員として講習を受けてゐたが、このうち百七十三名は芽出度く所定考査を合格し四月一日附を以て月俸社員に登格することに決定十五日附社報に發表されることゝなつた、一年間の苦勞から解放された百七十三名は春風に誘はれて卵の殼を破り晴れかに將來の重役のゴールを目指して突進するのだが

本年度の考査は從來の傳統を破り論文考査を廢して支那語、實務成績を主として實際的養成に努めて新例を開いた、なほ不幸今回の考査に洩れたものは入社期日の遅れたり、病氣、事故缺勤のあつた人等だが漸次登格をみる筈

〝飽く迄奪還せよ〟

中銀分行襲撃匪賊に

日滿軍警の共同攻撃

【チチハル十五日發國通】齊々哈爾中央銀行分行に於て十三日匪賊の爲め二十一萬圓強奪された事は既報の如くであるが、當局に於ては直に同縣參事官警察局長宛如何なる障碍に遭ふとも必ず軍隊と協力匪賊の手より奪回され度しと命令を發する處あり、又江省軍警備司令部に於ても直に齊々哈爾附近駐屯江省軍に日本軍とよく協力之が奪回に努めよとの命令を發した、なほ飛行機も出動し同匪賊に對し爆擊を加へる事となつた

新京を荒す強盗團

城内馬小屋を襲ふ

【新京特電十五日發】我が日滿軍警の分散配置と嚴重なる警備網の充實によつて再び蠢動の餘地を失つた小匪賊の中には最近巧に變裝を凝して各主要都市に潛入したもののあるらしい、先月中旬より新京市内一帶に亘つて五六名を一と組とせる強盗團が頻々として横行し市民に一大戰慄を與へ取締當局は晝夜兼行不眠不休でこれが逮捕に努めてゐる折柄十五日午前零時半新京東五條通り廣榮公司生田門三氏所有の城内米家大屯の馬小屋に五六名一隊の強盗團が襲來し折柄繋いであつた支那馬八頭を強奪逃走した、急報により新京署では直に非常線を張つて犯人嚴探中であるが相次ぐ強盗團の横行に躍起となつて逮捕に努めてゐる

撫順の小學生の呆れた萬引團

取調の係官も啞然

【撫順特電十五日發】數ケ月以來撫順市街の各商店に頻々として店頭商品の窃盗被害があり、この犯人は在撫小學生に依つて組織された萬引團の所爲であるとの奇怪な噂が擴がつてゐたが、眞相を追及すべく撫順署高等係司法係協力して内偵中の所遂にその端緒を得るに至り十五日午前十時撫順署司法係は東七條小學校本年度卒業生大岡某（一五）を引致嚴重取調べを開始したが大岡の自白により驚くべき小學生の萬引團の全貌が判明するに至つた

此の小學生萬引團は昨年十月頃より東七條小學校内に組織され六年生の大岡、大木野、野地、林等の四、五名が中心となつて十數名の學生を操つて

盛に 市中を荒してゐたもので「鼠組」と稱し團員は學帽に白線を附けて目印としてゐる、彼等の惡の亂舞場となつたのは市中の能文堂、高松屋等の大きな商店を初めとし盛況に及んでなり、レインコート、洋服、電氣スタンド、萬年筆等が驚くべく多數盗まれてゐた、彼等の萬引方法は實に巧妙を極めて居り贓品はこれに熨斗や水引をかけてお互に交換し合ひ、友達から貰つたといつて

父兄 の目をくらまし、又これを質に入れたり賣飛ばしてその金で飲食店を喰ひ歩き煙草などを平氣で飲んだり大岡の如きは盗んだ洋服を平氣で自分が着て歩いてゐた、尚は大岡は常に短刀を所持して居り、これを見せびらかして自分の威嚴を示してゐたといふ

脅迫 によつて引摺り込まれたものもある模樣である、又一味の不良學生振りは實に徹底したものがあり女學生の跡をつけるなど純情な童心世界を脅かす數々の仕業には取調の係官も啞然としてゐる

學校は默認か

【撫順特電十五日發】小學生萬引團の内容は大岡某の取調べにより明瞭となり撫順署司法係では十五日午後に至り更に大木野、野地、林の三名を引致取調べを開始したこれ等の者はこの三月學校を卒業してゐるが彼等の惡の蔓が校内にも殘つてゐないかこの點を更に追及してゐるがこの萬引團鼠組は在學中に萬引した贓品の煙草を喫煙してゐるところを教師に見付かつたこともあると言ふが近く卒業するので學校當局は默認してゐたとみられる向があり取調べの進行につれ學校職員の責任問題が勃發する形勢である

勸業債券利用の詐欺團逮捕

全滿に亘る被害

【ハルビン十五日發國通】日本勸業債券額面八十圓、三百圓、五百圓、一千六百圓等のインチキ割引券を賣付ける日滿鮮人の大詐欺團が全滿的に横行しつゝあるを探知した官憲では市内平安旅館に止宿中の日本人松原實（[illegible]）外滿鮮人五名を引致し目下嚴重取調べ中だが被害は全滿に亘り相當の額に達する見込である

旅順少年團植樹

旅順少年團では昨年三月元寶町の變電所裏山一町二段五畝十歩の區域へ内地の黒松三、五〇〇本、天津栗六、八〇〇本を移植した處無智な滿人草刈夫の爲めその大半は刈取られて仕舞つたので十三日更に黒松その他を約二千四百本補植し今後は適當なる保護を加へることゝなつた

高山東拓總裁

【東京十四日發國通】高山東拓總裁は來る十九日午後九時二十五分東京驛發約四十日の豫定を以て滿洲國並に南北支那各地を視察する豫定

滿洲國參加は不可能

憲法改訂提案は充分考へる

比島體協の對日回答

【マニラ十四日發國通】本日の體協理事會は左の對日回答を起草した

一、今度の大會に滿洲國の參加承認は現憲法では法律的に不可能と見らる
一、若し日本が現憲法を改訂せんとせば來るべき定期大會に出席して提案されよ
一、體育協會は斯る提案に最有効的精神及スポーツマンシップを以て最深の考慮を爲す用意あり

山本博士談

【長崎十四日發國通】新興滿洲國の極東大會參加問題を議する上海圓卓會議は、去る十日比支兩國共同戰線にて我に對抗遂に滿洲國參加問題は無言の裡に拒否され、問題は更に我國の大會參加不參加問題に迄進展し大會を前にして我スポーツ界は異常の波紋を生じ居るが、今會議に參列した山本、松澤及び滿洲國神田代表は既報の如く十四日入港の長崎丸で歸來、午後二時四十分發列車で陸路東上したが山本博士は御承知の事情で今度が混亂してゐるから何も聞いて與れるなと興奮の面持で語る

今日の情勢では滿洲國は客分として參加するも不可能の模樣である、併し比島の態度は望みなしと諦めるは早計なるも大勢はどう見ても不利である、一部に日本の大會脱退を說く向があるが向は今後の形勢を見て態度を決しても遲くはない、又小國を糾合し新に別個の大會を組織せよとの說あるも今云ふべきではあるまい、憲法解釋につき比島に矛盾があるやうだ、自分の公報につき大分間違つて傳へられるが萬事は歸京して協會と協議決定する事にならう

報告講演會

四氏熱辯を揮ふ

上海圓卓會議を語る

極東オリムピック大會滿洲國參加問題解決のため赴滬中の久保田完三、小川增雄兩氏歸滿第一聲の報告講演會は十四日午後四時二十分より本社樓上に於いて有志參集の上座談會の形式で開催、定刻

村田 本社々長開會の辭を述べ兩氏の連日の奮闘を謝し、引き續き滿洲體協代表

久保田 完三氏は東京、マニラ兩地における詳細なる經過報告後問題の上海圓卓會議の内容に移り頑強なる支那側の反對態度と比島側の變節とに依り山本博士の不斷の努力も空しく、遂に上海引き揚げの止むなきに至れる過程を詳述し次いで協和會代表

小川 增雄氏は別働隊として赴滬し輿論喚起に努めし苦心を述べ、久保田氏同樣比島側の不誠實をなぢり「今回の結果はスポーツ界の一大痛事ではあるが、日滿提携の再認識或はまた大亞細亞聯盟の結成と言ふやうな點から考へるとき我々は成功したと考へる、然し我々は未だなすべきことが多分にあると考へ、今後益々努力したいと思ふ」と結論し

林田 體協主事は今回の失敗の原因は一に日本體協がバックの力が足りなく内部抗爭に依る協會の弱腰に依るものである

と體協に對し一矢を酬い、參集者一同兩氏に種々質問し午後六時半盛會裡に閉會したが會議の全貌明かとなり、參集一同今後とも滿洲國のため支援をなしますと固く誓ふところあつた

春季劍道大會

滿鐵運動會劍道部では來る二十六日午前九時より滿鐵大連道場に於いて春季劍道大會を開催することゝなつたが參加希望者は所屬名、段級、身長、體重、氏名、年齡を明記の上來る十五日までに滿鐵本社地方部學務課體育係波多江知路氏宛申込れたしと尚從來同日擧行して居た滿鐵各支部對抗試合は來る七月頃奉天に於いて開催することに變更した

フル・マラソン畫報

寫眞、上から賞品授與式、蔡大嶺引返點到着の杉山選手、一、二、三着に入賞の左より旅順中學横佩（一着）東力（二着）草薙（三着）選手、本社掲示板前の群衆、一部入賞者右より近藤（一着）杉山（二着）佐藤（三着）下はテープを切る横佩選手

南蠻彩船 (103)

鈴木氏亨作　布施長春畫

道中 (三)

「路銀？そりや、夕べ寢る前に、しつかり腹にくゝりつけて、ゐなしつたぜ」

「くゝりつけてゐたに相違ないんだが、それがさ、見えなくなつたんだから不思議なんだよ」

「そんな筈はないでせう。昨夜親方がくゝりつけてゐたのを、ちやんとこの眼が見てゐたんですぜ」

「それがねえんだから、不思議だと云つてるんだ」

「だつて、別に泥棒が入つてたといふ形跡も、ないぢやアありませんか」

「さうなんだ」

庄右衛門は血眼になつて、部屋中を探して廻つた。

然し、胴巻らしいものも、路銀もどこにも見つからなかつた。

「泥棒が、やつぱり入つて來やがつたのかな！」

「さうかもしれませんぜ、親方、泥棒が！」

助八の聲は、案外大きかつた。

「泥棒、泥棒！」

宿屋が急にざわめいて來た。

ばた〳〵とかけつける足音がする。

女中が、番頭が、庄右衛門の部屋に顏を出した。

「泥棒は何處で御座います」

彼等は、色を失つてゐた。

「胴巻がなくなつたんだ。落した覺がないんだが、さうかと云つて泥棒の入つた形跡もなし、百兩の路銀を入れた胴巻が、ゆうべしつかり腹にくゝりつけて寢たと思つてゐたのに、きれいに拔かれてゐるんだ。さいつて別に變つた樣子もなしさ……」

道の庄右衛門も、胴震ひしてゐた。

「いやぢやありませんか。泥棒なんて！おゝこわ」

女中が、自分のことのやうに云つた。

「入つた樣子もなければ、出ていつた樣子もない。こりやア相當なもんだ！」

番頭が云つた。

「他人事ぢやないぜ」

と、助八が一本きめつけた。

「こりや旦那、直ぐ、代官樣へ訴へて、手配して貰ふより仕樣がありませんぜ」

「騷いでやつてくれ」

命令するやうに助八が云つた。

「聲はすれども姿は見えぬと云ふことがありますが、盜まれたことが判つてゐながら、入つたのが判らないなんて、まるで、なんだか霧のやうな泥棒ぢやありませんか」

女中は、氣の毒さうに云つた。

「一刻も早く、代官所へ行かねばならない」

番頭が起ち上つた。

女中もあさからつゞいた。

「だが、助ッ、こんな不思議なことはないな」

「全く、ゆうべ腹にくゝりつけたに相違ないのが、胴巻ぐるみ拔かれるなんて餘程巧な泥棒ですな」

「さういへば、親方はよく寢てゐましたぜ」

「今度といふ今度は、散々な目に逢つた。楓の阿魔は殺して了ふし、伊勢詣りの路銀は胴巻ぐるみ拔かれてしまふし、仕方がねえ歸るさしやう」

「親方、本當に今年は、へいまばかりですな。これから國へ歸つて、この敵を討たねばなりませんな」

×　×　×

同じ日の朝、木津川に沿ふたそゝり立つ巖石の道を、かいゝかるさんを穿いた一人の男が急いでゐた。

彼は矢のやうな速さで、見てるまに、岸から岸と、嶮しい道を歩いてゐた。

「ざまあ見ろ、庄右衛門の奴が、今頃は泣き面かいて困つてゐるだらう！」

嘯くやうに云つて、にいゝにんまりした。

彼は石川五右衛門であつた。